

富川市街地活性化基本構想

平成27年3月

日 高 町

< 目 次 >

I. 目的と方法

I-1. 目的	1
I-2. 方法	2
I-3. 進め方	3

II. 現況及び社会条件の調査、分析

II-1. 現況調査	4
II-2. 社会条件調査	22

III. 地区が抱える課題と問題点の抽出、分析

III-1. 市街地環境評価	36
III-2. 市街地形成の課題	42
III-3. まちづくり上の留意点の整理	45

IV. 整備方針の検討

IV-1. 第1回ワークショップ	66
IV-2. 第2回ワークショップ	71
IV-3. 第3回ワークショップ	76
IV-4. 検討街区の抽出	82

V. 重点整備地区の整備基本方針

V-1. 拠点施設の基本コンセプト	83
V-2. 拠点施設の整備方針	83
V-3. 機能構成	85
V-4. 拠点施設の主な機能、配置の考え方	86
V-5. 財源整備手法	95

資料編

配置の考え方（C街区）

富川市街地活性化基本構想策定委員会設置要綱

富川市街地活性化基本構想策定委員会名簿

富川市街地活性化基本構想策定部会名簿

I. 目的と方法

I-1. 目的

調査対象区域である富川市街地は、日高町門別地区の西側に位置し、人口は門別地区の51%（全町の44%）を占め、鉄道ではJR日高本線富川駅、道路網では高規格道路日高富川IC、国道235号及び国道237号が交わる交通の要衝に位置し、日高地方を訪れる観光客の西の玄関口として「まちの顔」の役割を果たしてきました。

しかしながら、近年、居住人口の減少、高齢化、歩行者交通量の減少、空き店舗や空地の増加により、中心市街地としてのにぎわいが失われようとしています。

このため、富川市街地を日高町の活性化の中心拠点として位置づけ、住民の暮らしを支える生活の拠点、並びに地域間における交流の拠点としての施設整備など、総合的なまちづくりを検討するべく「富川市街地活性化基本構想」（以下、「本基本構想」と記す）を策定します。

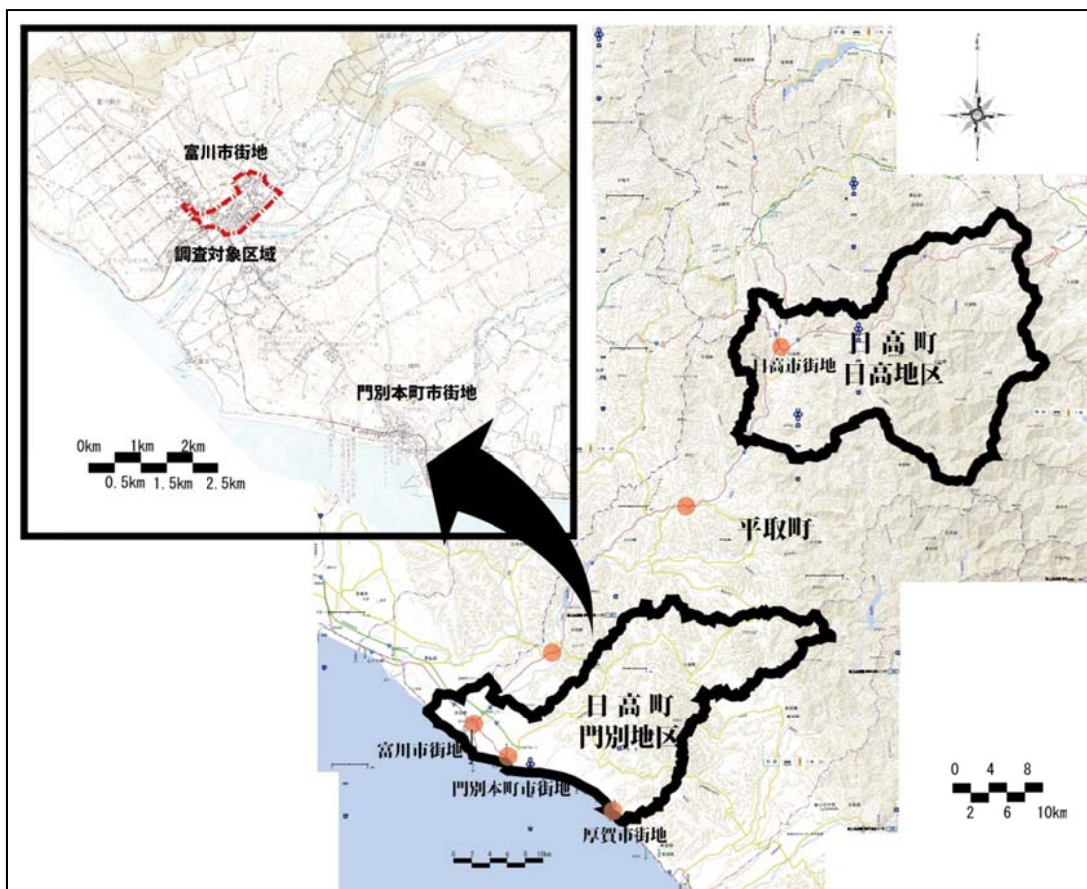


図1 富川市街地の位置

I-2. 方法

本基本構想の策定方法は、住民の暮らしを支える生活の拠点を検討するにあたって、以下の3つの会議を設置し、住民が実際に必要な施設となるよう、検討結果を一つずつ積み重ねることによって、効果的に会議を開催します。

①富川市街地活性化基本構想策定委員会（以下、「委員会」と記す）

日高町富川市街地を中心とする総合的なまちづくりの基礎となる本基本構想の策定に向け、幅広い分野から活性化の基本方向等について検討し、地域の特性や住民の意向を踏まえるために開催します。

本基本構想策定においては、特に拠点施設の内容について検討するものとし、基本的には、次の「富川市街地活性化基本構想策定部会」で構想の原案を作成します。

②富川市街地活性化基本構想策定部会（以下、「部会」と記す）

部会は、基本構想の原案の作成及び本基本構想策定等に係る重点課題の検討などの役割を担うものとし、主に以下の2点についてワークショップ方式*により検討を行います。

- ・「住民の暮らしを支え、町内全域から人が集い交流する施設」とは、どのようなものか
- ・「この交流施設を配置するにふさわしい街区」とは、どこか

③富川市街地活性化基本構想内部検討会（以下、「内部検討会」と記す）

内部検討会は、部会で作成された基本構想の結果に対して、役場内における関係部署において以下の視点で検討を行うことにより、実現可能な内容に整理する役割を担います。

- ・公共が整備等を行うにあたって妥当なものとなっているか
- ・建設整備等を行うにあたっては、主に合併特例債による財源措置を想定しており、当制度により建設整備が可能かどうか

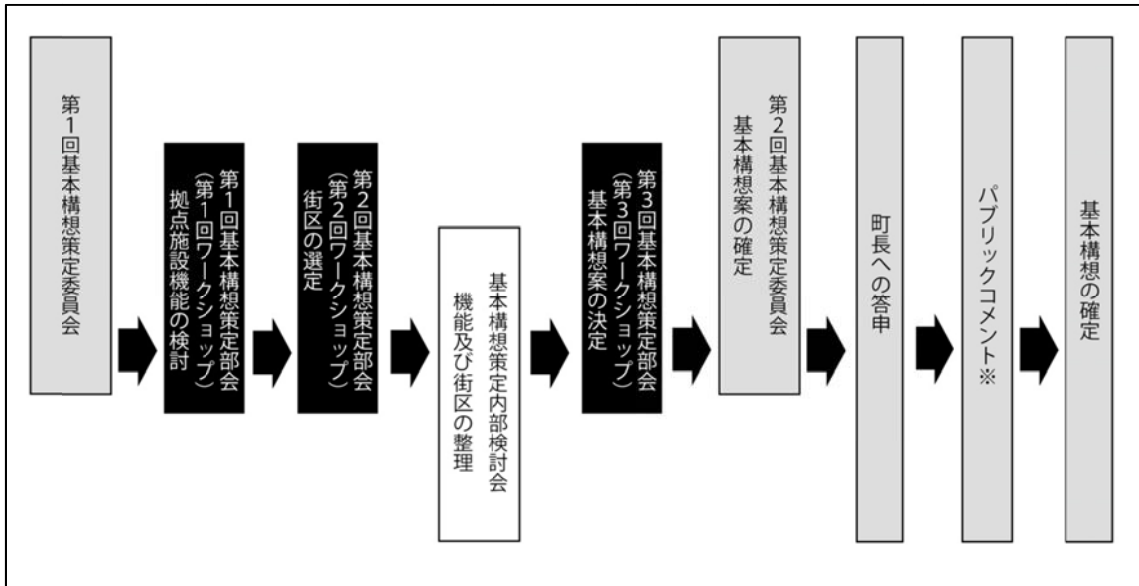
※ワークショップ方式：

- ・地域に関わる様々な人が、計画の作成過程に参加するまちづくりの手法です。通常、まちづくり計画などに関しての意思決定は行政で行いますが、ワークショップでは住民など地域とともに考えていく手法の一つです。
- ・ワークショップ形式を採用することにより、「住民がまちづくりに参加できる」ことや、「様々な意見が出されて、より良いまちづくりを目指す」ことができます。

I-3. 進め方

進め方は以下の流れで会議を開催することにより、基本構想の内容について「作成」、「整理」及び「決定」していくものとします。

図2 基本構想策定の進め方



※パブリックコメント：

- ・行政の政策立案過程で住民の意見を募る制度です（意見募集手続き）。行政が実施しようとする政策について、あらかじめ意見を募り、それを意思決定に反映することを目的とします。

Ⅱ．現況及び社会条件の調査、分析

Ⅱ－１．現況調査

(1) 人口世帯等の状況

①人口・世帯数

日高町の人口は、昭和55年が18,875人に対して、30年後の平成22年が13,615人と27.9%の減少となっています。一方、世帯数では、昭和55年から平成22年まで、6,008世帯から6,046世帯の間で推移しているものの、人口が減少しているため世帯平均人員は3.14人から2.25人へと減少し、核家族化が進行しています。

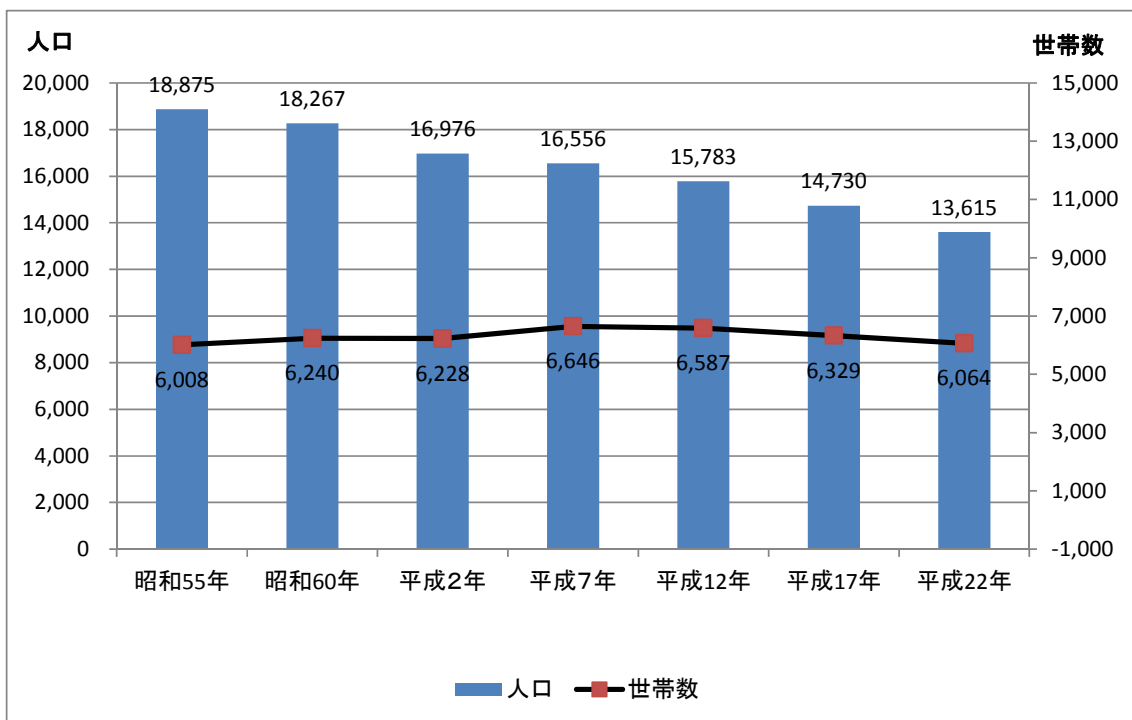


図3 人口・世帯数の推移

資料：各年国勢調査

②少子化・高齢化の進行

世代別人口構成の推移について、65歳以上の老年人口は昭和55年が9.6%に対し、平成22年が28.3%と約20ポイント上昇しています。一方で、15歳未満の年少人口は、昭和55年が23.6%に対し、平成22年が12.4%と約10%減少している状況となっており、少子高齢化が進行しています。

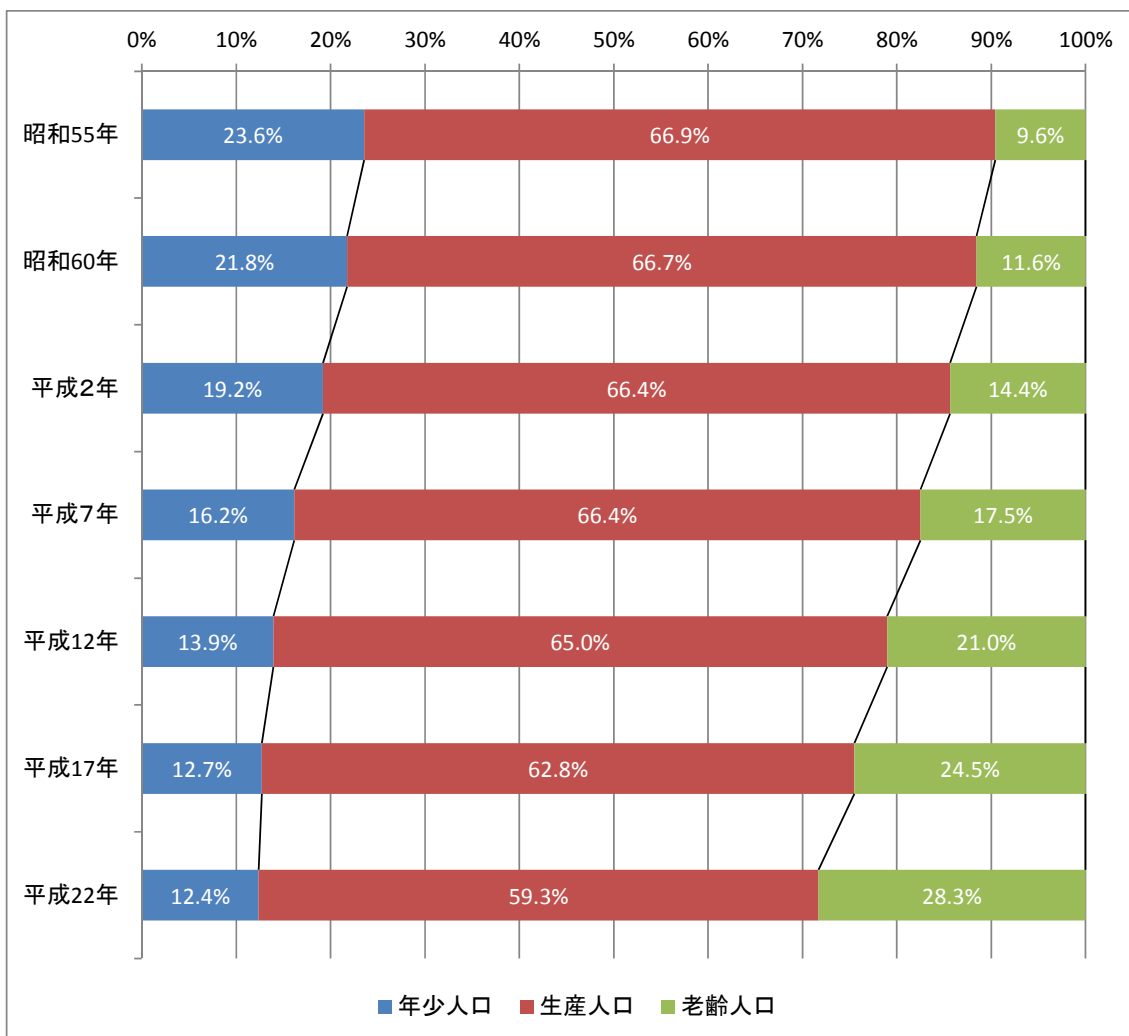


図4 世代別人口構成比の推移

資料：各年国勢調査

③地区別人口

富川市街地は、人口及び世帯数とも町全体の44%程度を占めるとともに、背後の農村地区（富川周辺）を含めると日高町の半数を超え、最も人口が集中する地区となっています。

その他の地区では、門別本町は12%程度、日高地区市街が10%程度となっています。

表1 都市計画区域内外の地区別人口

地区名		町名など	人口	構成比	世帯数	構成比
都市計画区域内	富川市街地	富川東、富川西、富川南、富川北	5,808	44.2%	2,829	43.8%
	富川周辺	富川駒丘、平賀、富浜、福満	1,294	9.8%	661	10.2%
	門別本町	門別本町、緑町、旭町	1,586	12.1%	810	12.5%
	小計		8,688	66.1%	4,300	66.6%
都市計画区域外	門別地区農村	幾千世、庫富、広富、豊郷、清島、賀張、美原、豊田、正和、三和	1,716	13.1%	750	11.6%
	門別地区厚賀	厚賀町	1,116	8.5%	541	8.4%
	日高地区市街	本町東、本町西、栄町東、栄町西、新町、宮下町、松風町、山手町、若葉町	1,379	10.5%	736	11.4%
	日高地区郊外	日高、千栄、富岡、三岩	240	1.8%	131	2.0%
	小計		4,451	33.9%	2,158	33.4%
合 計			13,139	100.0%	6,458	100.0%

資料：平成25年3月末住民基本台帳

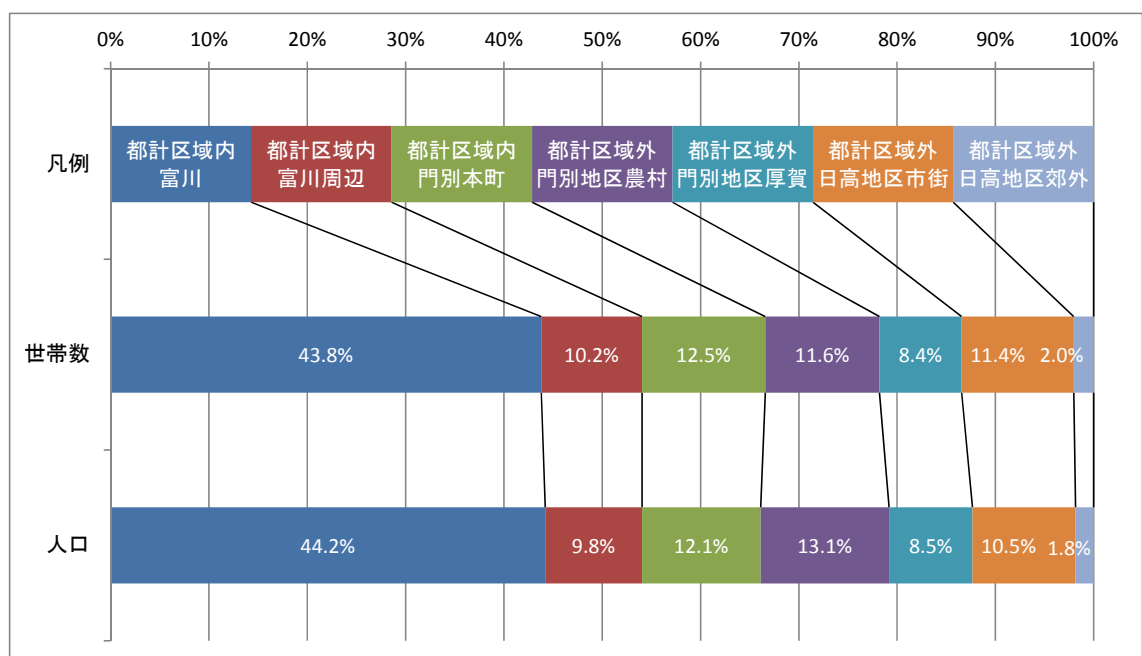


図5 都市計画区域内外の地区別人口・世帯数

資料：平成25年3月末住民基本台帳

④ 常驻地及び従業地・通学地

平成 17 年の国勢調査において、旧門別町及び旧日高町から周辺市町村へ流入・流出する通勤者数及び通学者数を整理すると以下のとおりとなります。

旧門別町は、平取町、苫小牧市、むかわ町及び新ひだか町間が多く、旧日高町では、平取町との間で流入流出が見られるものの、大部分は町内で完結する状況となっています。

旧門別町と旧日高町間ではごく少数となっているため、日高町としての結びつきを強めるまちづくりが必要です。

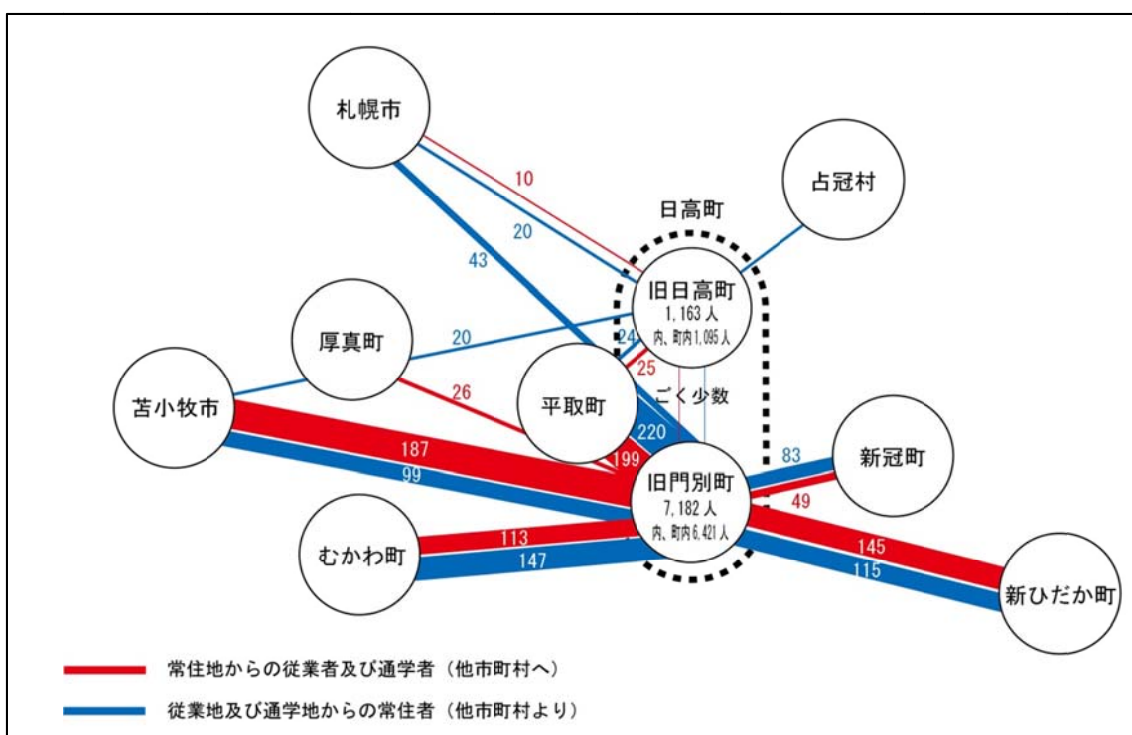


図 6 日高町と周辺市町村間の流入・流出

資料：平成 17 年国勢調査

注意：旧門別町と旧日高町の状況を把握するため、平成 17 年国勢調査データを使用

(2) 商業

商業統計による小売店舗事業所数の推移は、日高町全体で平成6年が218件に対し、平成24年が111件と、18年間で半減しています。また、同様に年間販売額は、平成6年が233億に対し、平成24年が111億と、18年間で半減しています。その他、日高町全域に対する富川市街地が占める割合は、年間販売額が58.6%^{*1}、売り場面積が67.3%^{*2}となっています。

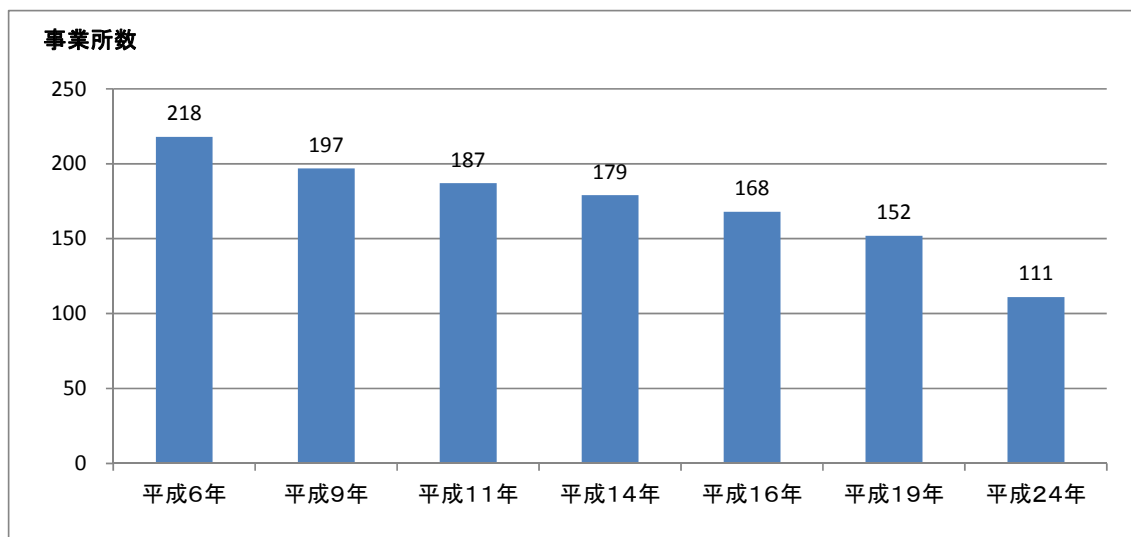


図7 小売店舗事業所数の推移（商業統計）

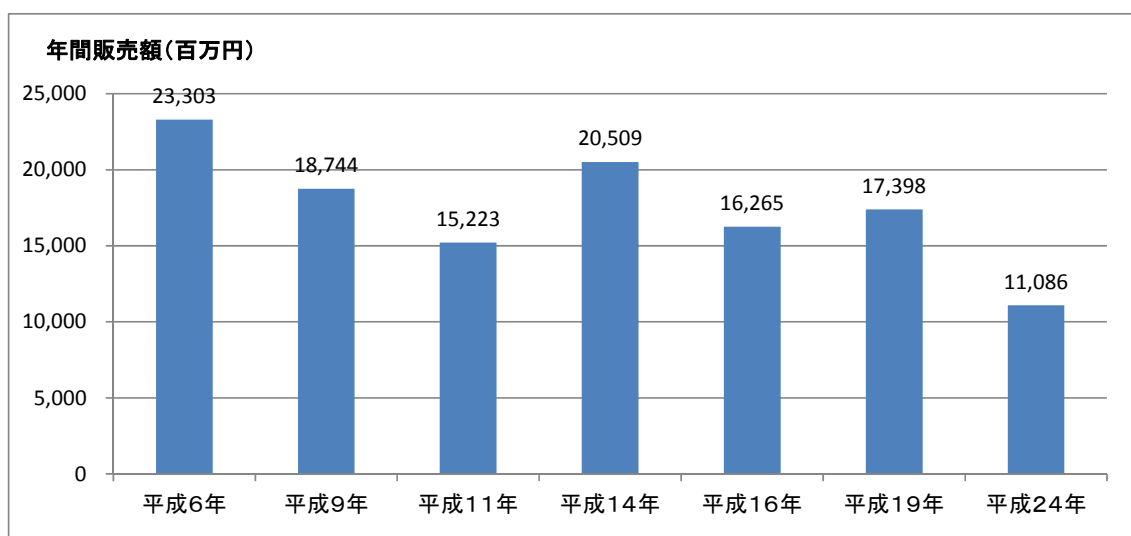


図8 年間販売額の推移（商業統計）

資料：商業統計

※1、※2：平成19年商業統計メッシュデータ

※1：富川市街地 10,195.03 百万円 ÷ 全町 17,398 百万円 = 58.6%

※2：富川市街地 13,154 m² ÷ 全町 19,535 m² = 67.3%

(3) 土地利用現況調査

土地利用現況として、調査対象区域の道路用地、公園・緑地用地、水路、未利用地及び農地の状況を整理すると、以下のとおりとなります。

①道路用地

道路用地は、国道 235 号が苫小牧方面と浦河方面を東西に連絡するとともに、これと接続する国道 237 号は、日高自動車道日高富川 IC 及び日高地区を南北に連絡しています。また、道道は一般道道富川停車場線が国道 235 号と JR 富川駅を連絡している状況にあります。

一方、町道は、富川北平賀 16 号線の一部区間と富川南 26 号線が都市計画道路として整備済みとなっており、地域の幹線道路として機能しているほか、他の町道は道路用地が適正に確保されている箇所と、道路用地が不足して私道により連絡している箇所があります。

②公園緑地用地

日高町内の公園は、いずれも都市計画決定されていないものの、調査対象区域及び周辺には大小様々な公園が分布しています。

大規模な公園は、調査対象区域の西側の傾斜地に総合公園規模の「富川自然公園」、東側の沙流川河川敷地には「富川さるかわせせらぎ公園」が配置されています。住区基幹公園レベルの身近な公園として国道 235 号北側では、近隣公園規模の「富川ふれあい広場」、街区公園規模では「富川児童公園」と「新栄団地公園」が配置されていますが、中央部においては、街区公園規模の公園が未整備となっています。また、国道 235 南側は、街区公園規模の「とみかわ大町公園」と「河原団地公園」の 2 公園が配置されていますが、近隣公園規模及び東部において街区公園規模の公園が不足している状況となっています。

表 2 調査対象区域及び周辺の管理公園

公園名	所有者	面積(m ²)	適用が考えられる公園種別	日高町公園条例での位置づけ
富川自然公園	日高町	153,259.00	総合公園	—
富川さるかわせせらぎ公園	北海道開発局	5,961.43	河川緑地	○
富川ふれあい広場	日高町	25,815.00	近隣公園	○
富川児童公園	日高町	1,746.00	街区公園	○
新栄団地公園	日高町	1,699.00	街区公園	—
とみかわ大町公園	日高町	1,746.00	街区公園	—
河原団地公園	日高町	3,019.00	街区公園	—

資料（名称・所有者・面積）：門別町都市計画マスタープラン(H16.3)

③水路

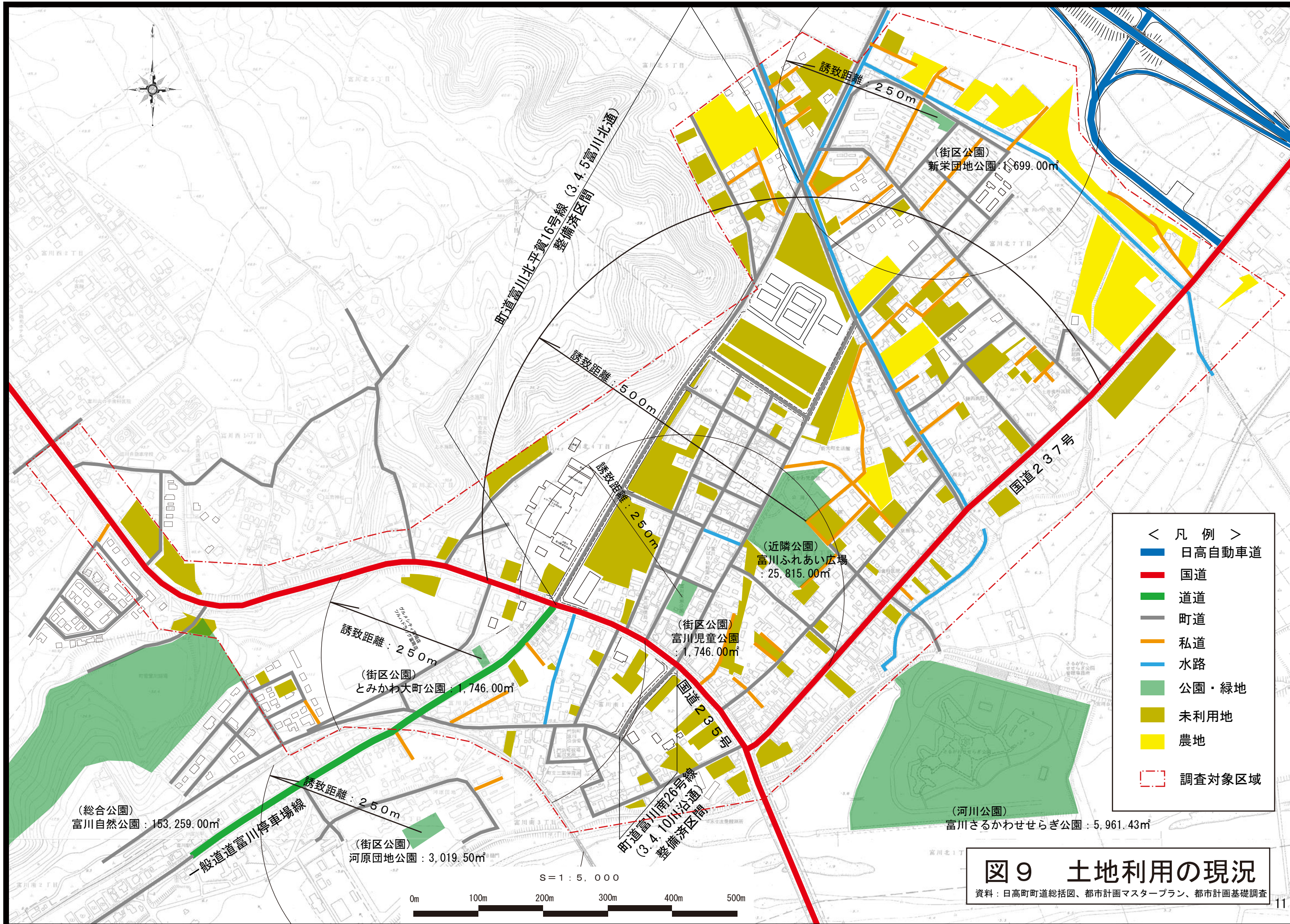
調査対象区域内の水路は、大部分が町道沿いに配置されているものの、一般道道富川停車場線の付近等一部、宅地内を縦断する箇所も見られる状況となっています。

④未利用地

調査対象地区内の未利用地は、町道富川北平賀 16 号線沿道や国道 235 号南東部、区域北側において多数分布していることから、市街地の活性化に向けた有効活用の検討が必要とされます。

⑤農地

調査対象区域内の北側には、比較的規模が大きい農地が多く分布しています。



- < 凡例 >
- 日高自動車道
 - 国道
 - 道道
 - 町道
 - 私道
 - 水路
 - 公園・緑地
 - 未利用地
 - 農地
 - 調査対象区域

図9 土地利用の現況
 資料：日高町町道総括図、都市計画マスタープラン、都市計画基礎調査

(3) 建物用途別現況調査

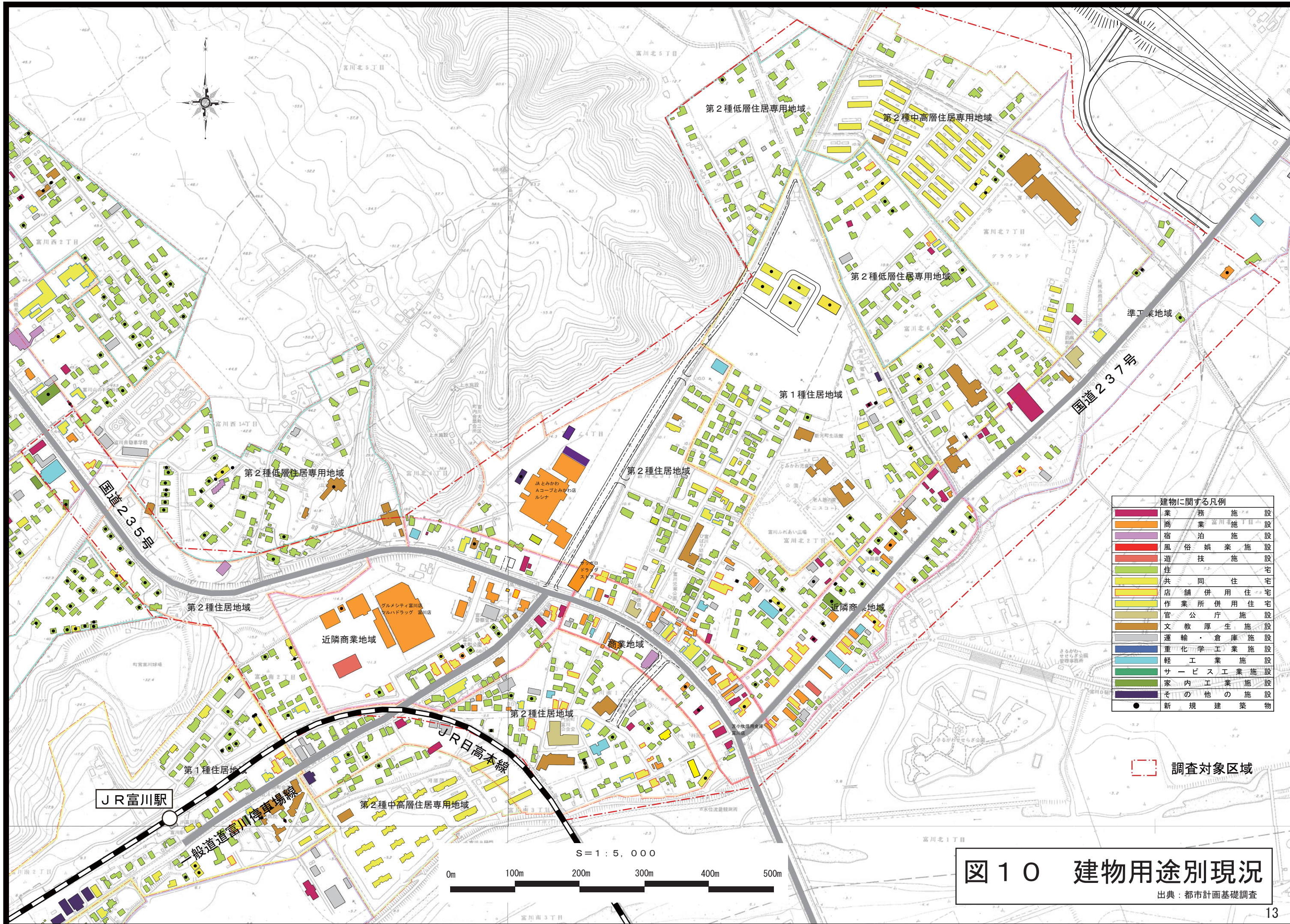
比較的規模が大きい商業施設は、国道 235 号と一般道道富川停車場線の交差点周辺に分布しており、日高町の商業拠点を形成しています。また、小売店舗及び業務施設は、国道 235 号と 237 号の沿道に分布し、文教厚生施設や官公庁施設は、国道沿道から離れた富川ふれあい広場周辺や富川公会堂周辺に分布しています。その他、幹線道路から離れた街区には、戸建住宅及び集合住宅が広く分布しています。

調査対象地区の建物用途別棟数は、全 931 棟の内、72.6%にあたる 676 棟が専用住宅、9.6%にあたる 89 棟が共同住宅及び 4.7%にあたる 44 棟が専用店舗施設となっています。また、延床面積は、全体 130,188 m²の内、48.0%にあたる 62,466 m²が専用住宅、14.0%にあたる 18,273 m²が専用店舗施設、13.3%にあたる 17,256 m²が共同住宅となっています。

表 3 建物用途別現況 (棟数・延べ床面積)

建 物 用 途	棟数(棟)	構成比	面積(m ²)	構成比	備考
自 治 体 施 設	6	0.6%	1,483	1.1%	
業 務 施 設	30	3.2%	6,090	4.7%	
宿 泊 施 設	3	0.3%	1,324	1.0%	
遊 技 施 設	2	0.2%	1,088	0.8%	
専 用 店 舗 施 設	44	4.7%	18,273	14.0%	
専 用 住 宅	676	72.6%	62,466	48.0%	
共 同 住 宅	89	9.6%	17,256	13.3%	
店 舗 併 用 住 宅	42	4.5%	7,958	6.1%	
事 務 所 併 用 住 宅	28	3.0%	5,915	4.5%	
飲 食 店 併 用 住 宅	4	0.4%	994	0.8%	
教 育 施 設	7	0.8%	7,341	5.6%	
合 計	931	100.0%	130,188	100.0%	

資料：都市計画基礎調査集計値



建物に関する凡例

[Red]	業務施設
[Orange]	商業施設
[Purple]	宿泊施設
[Pink]	風俗娯楽施設
[Light Red]	遊技施設
[Light Green]	住宅
[Yellow]	共同住宅
[Light Yellow]	店舗併用住宅
[Light Green]	作業所併用住宅
[Light Blue]	官公庁施設
[Light Green]	文教厚生施設
[Light Blue]	運輸・倉庫施設
[Light Blue]	重化学工業施設
[Light Blue]	軽工業施設
[Light Green]	サービス工業施設
[Light Green]	家内工業施設
[Light Blue]	その他の施設
●	新規建築物

調査対象区域

図10 建物用途別現況

出典：都市計画基礎調査

(4) 社会的状況調査

①富川地区町内会及び会館・集会施設

調査対象区域の町内会は、主に5つの町内会から構成されており、中でも国道235号沿道の大町1～7区と北側の栄町1～6区の規模が大きい状況です。会館・集会施設は、国道235号の南側に役場支所機能を有する「日高町水・暮らしサービスセンター」や、富川ふれあい公園北側の「新光町生活館」、国道235号の北側の丘陵地に「富川生活館」が立地しています。

②公共交通の状況

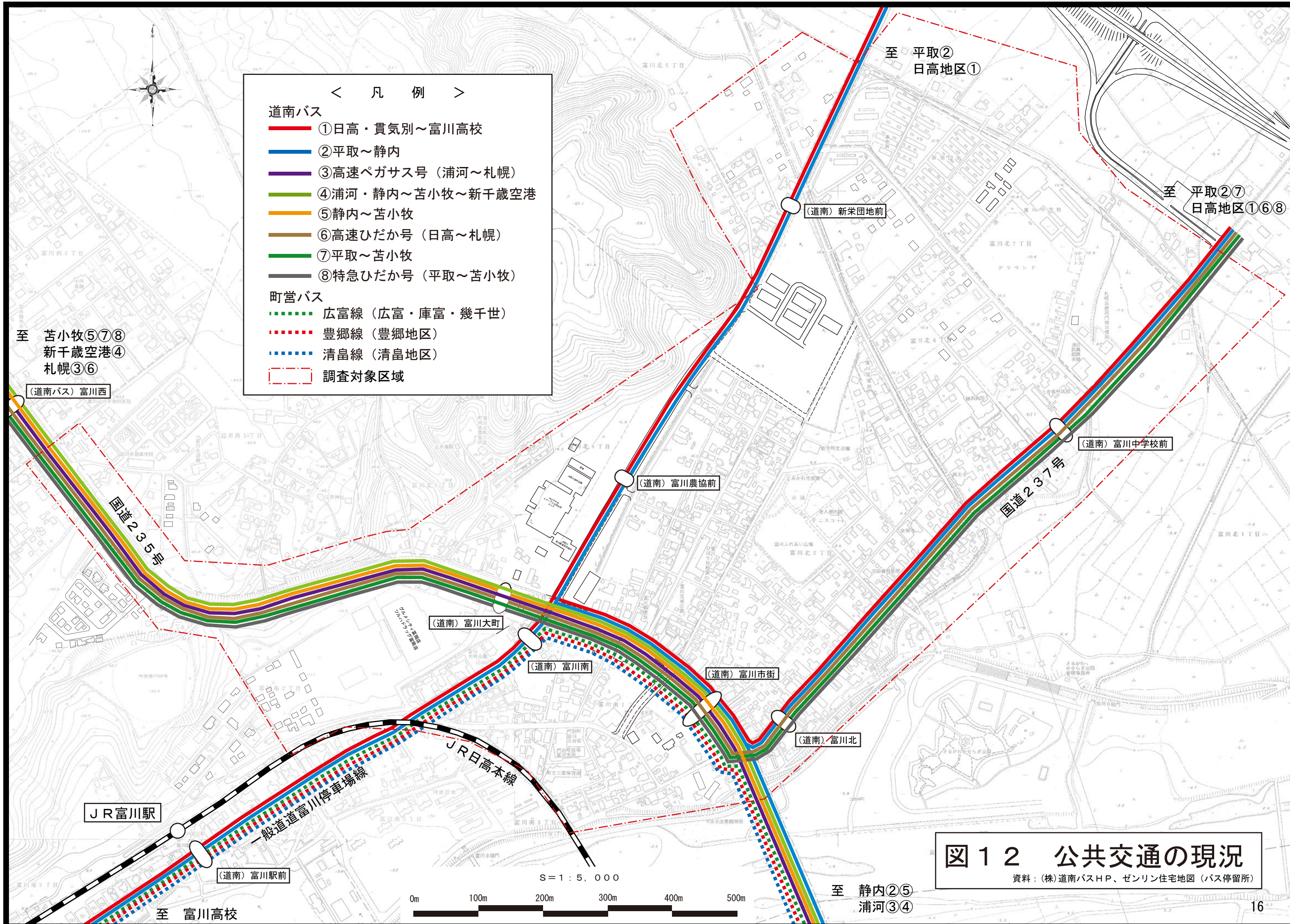
公共交通は、調査対象区域の南側に沿ってJR日高本線が配置され、調査対象区域外の南西にJR富川駅が立地しており、停車本数は上り下り合計で15便となっています。

民間路線バスは、道南バス(株)が、静内・浦河方面、平取・日高方面及び苫小牧・札幌方面について、8路線86便を運行しています。また、門別地区においては、町営バス3路線12便を運行し、道南バス(株)を含め全便が国道235号を運行している状況です。

表4 バス路線別運行便(平日)

バス路線		便数	備考
道南バス	①日高・貫気別～富川高校	13	
	②平取～静内	3	
	③高速ペガサス号(浦河～札幌)	15	
	④浦河・静内～苫小牧～新千歳空港	2	
	⑤静内～苫小牧	6	
	⑥高速ひだか号(日高～札幌)	2	
	⑦平取～苫小牧	2	
	⑧特急ひだか号(日高～苫小牧)	43	
	計	86	
町営バス	①広富線(広富・庫富・幾千世地区)	5	
	②豊郷線(豊郷地区)	5	
	③清畠線(清畠地区)	2	
	計	12	
合計		98	

資料：各社時刻表



- < 凡 例 >
- 道南バス**
- ① 日高・貫気別～富川高校
 - ② 平取～静内
 - ③ 高速ペガサス号（浦河～札幌）
 - ④ 浦河・静内～苫小牧～新千歳空港
 - ⑤ 静内～苫小牧
 - ⑥ 高速ひだか号（日高～札幌）
 - ⑦ 平取～苫小牧
 - ⑧ 特急ひだか号（平取～苫小牧）
- 町営バス**
- 広富線（広富・庫富・幾千世）
 - 豊郷線（豊郷地区）
 - 清島線（清島地区）
 - 調査対象区域

至 苫小牧⑤⑦⑧
新千歳空港④
札幌③⑥

至 平取②
日高地区①

至 平取②⑦
日高地区①⑥⑧

JR富川駅

(道南)富川駅前

(道南)富川大町

(道南)富川南

(道南)富川市街

(道南)富川北

(道南)富川中学校前

(道南)新栄団地前

(道南)富川農協前

国道235号

国道237号

JR日高本線

一般道富川停車場線

至 富川高校

至 静内②⑤
浦河③④

S=1:5,000

0m 100m 200m 300m 400m 500m

図12 公共交通の現況
資料：(株)道南バスHP、ゼンリン住宅地図（バス停留所）

(5) 公共・公益施設状況調査

公共・公益施設は、国道 235 号と一般道道富川停車場線の交差点付近にAコープとみかわ店やグルメシティ富川店などの大型商業施設が立地しています。その他、医療・福祉施設、学校・教育施設、会館・文化施設、行政施設及び金融・郵便施設などが、広く分布している状況です。

建築物の状況としては、富川二葉保育所、富川青少年会館、土井歯科医院が耐用年数を超過している状況です。

表 5 公共・公益施設の建物状況

	名 称	構 造	階層	耐震検査	床面積	取得日	取得事由	耐用年数	経過年数	
公共施設	富川二葉保育所	鉄骨造	平屋	未	751.00	S54.01.23	新築	34	35	超過
	とみかわ児童館	コンクリートブロック	平屋	適合	330.00	S59.10.29	新築	38	29	—
	とみかわ児童館(倉庫)	木造	平屋	適合	26.00	S59.10.29	新築	15	29	超過
	とみかわ老人憩いの家	鉄骨造	平屋	適合	494.00	S63.12.11	新築	34	25	—
	子育て支援センターわくわく館	木造	平屋	適合	134.00	H20.03.31	新築	22	6	—
	日高町水・くらしセンター、公会堂	鉄筋コンクリート造	階層	適合	1,352.00	S57.11.01	新築	50	31	—
	富川中学校(屋体)	鉄骨造	平屋	適合	1,414.00	S55.03.31	新築	34	34	—
	富川中学校(校舎)	鉄筋コンクリート造	階層	適合	3,996.00	S54.03.31	新築	47	35	—
	富川中学校 大規模改造	鉄筋コンクリート造	階層	適合	0.00	H13.03.31	改築	47	13	—
	富川中学校 大規模改造	鉄筋コンクリート造	階層	適合	0.00	H14.03.31	改築	47	12	—
	富川青少年会館	鉄骨造	平屋	未	572.00	S44.10.31	新築	34	44	超過
	新光町生活館	コンクリートブロック	平屋	未	331.00	S56.12.05	新築	38	32	—
	新光町生活館(調理室)	コンクリートブロック	平屋	未	16.07	H03.03.12	増築	38	23	—
民間施設	グルメシティ富川店	簡易耐火造	平屋	—	5,113.00	H03	—	34	23	—
	Aコープとみかわ店	簡易耐火造	平屋	—	4,982.00	H08	—	34	18	—
	サッポロドラッグストアー富川店	簡易耐火造	平屋	—	927.00	H16	—	34	10	—
	苫小牧信用金庫富川支店	耐火造	階層	—	440.00	S41	—	50	49	—
	富川郵便局	耐火造	階層	—	445.00	S60	—	50	30	—
	富川ひばり幼稚園	簡易耐火造	平屋	—	920.00	H02	—	38	24	—
	沼田歯科医院	木造	階層	—	102.00	H01	—	24	26	超過
	鎌田病院	耐火造	階層	—	3,034.00	S58	—	50	32	—
	メイプル歯科	木造	平屋	—	132.00	H21	—	24	5	—
	鎌田歯科医院	木造	階層	—	221.00	H8	—	24	18	—
	土井歯科医院	木造	平屋	—	184.00	S55	—	24	35	超過

出典：公共施設の建物状況は日高町調べ

民間施設の建物状況は都市計画基礎調査（平成 22 年 10 月 1 日時点）により作成
耐用年数は、国税庁による「構造・用途」の建物耐用年数から最大値を採用

(参考：民間施設の構造別対応年数)

民間施設の構造	構造・用途※	耐用年数
耐火造	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造(事務所用)	50
簡易耐火造	金属造(事務所用)	22~38
	金属造(店舗用)	19~34
木造	木造(事務所用)	24

※: 国税庁の建物耐用年数

(6) 現地踏査

景観資源、歴史資源及び景観阻害要素、不足要素について、現地踏査から整理すると以下のとおりとなります。

①景観資源

- 1-a.眺望ポイント3か所（まち並み、森林、河川敷地、牧歌的風景など）
- 1-b.良好な公園緑地空間（富川ふれあい広場、富川児童公園など）
- 1-c.良好な住環境
- 1-d.デザイン性のある大型店舗
- 1-e. 親水性のある水路
- 1-f.樹林地（西側斜面、一部宅地）

②歴史資源

- 2-a.寺院3か所（西光寺、東照寺、興福寺）
- 2-b.記念碑4カ所

③景観阻害要素、不足要素

- 3-a.変電所及び高圧線
- 3-b.用悪水路による接道不良宅地、土地利用の分断
- 3-c.公園施設等が不足（新栄団地公園、とみかわ大町公園）

- < 凡 例 >
- 文字** 景観資源
- 1-a. 眺望ポイント
 - 1-b. 良好な公園緑地空間
 - 1-c. 良好な住環境
 - 1-d. デザイン性のある大型店舗
 - 1-e. 親水性のある水路
 - 1-f. 樹林地
- 文字** 歴史資源
- ▲ 2-a. 寺院
 - ▲ 2-b. 記念碑
- 文字** 景観阻害要素、不足要素
- 3-a. 変電所及び高圧線
 - 3-b. 用悪水路による接道不良宅地、土地利用の分断
 - 3-c. 公園施設等が不足
- 調査対象区域

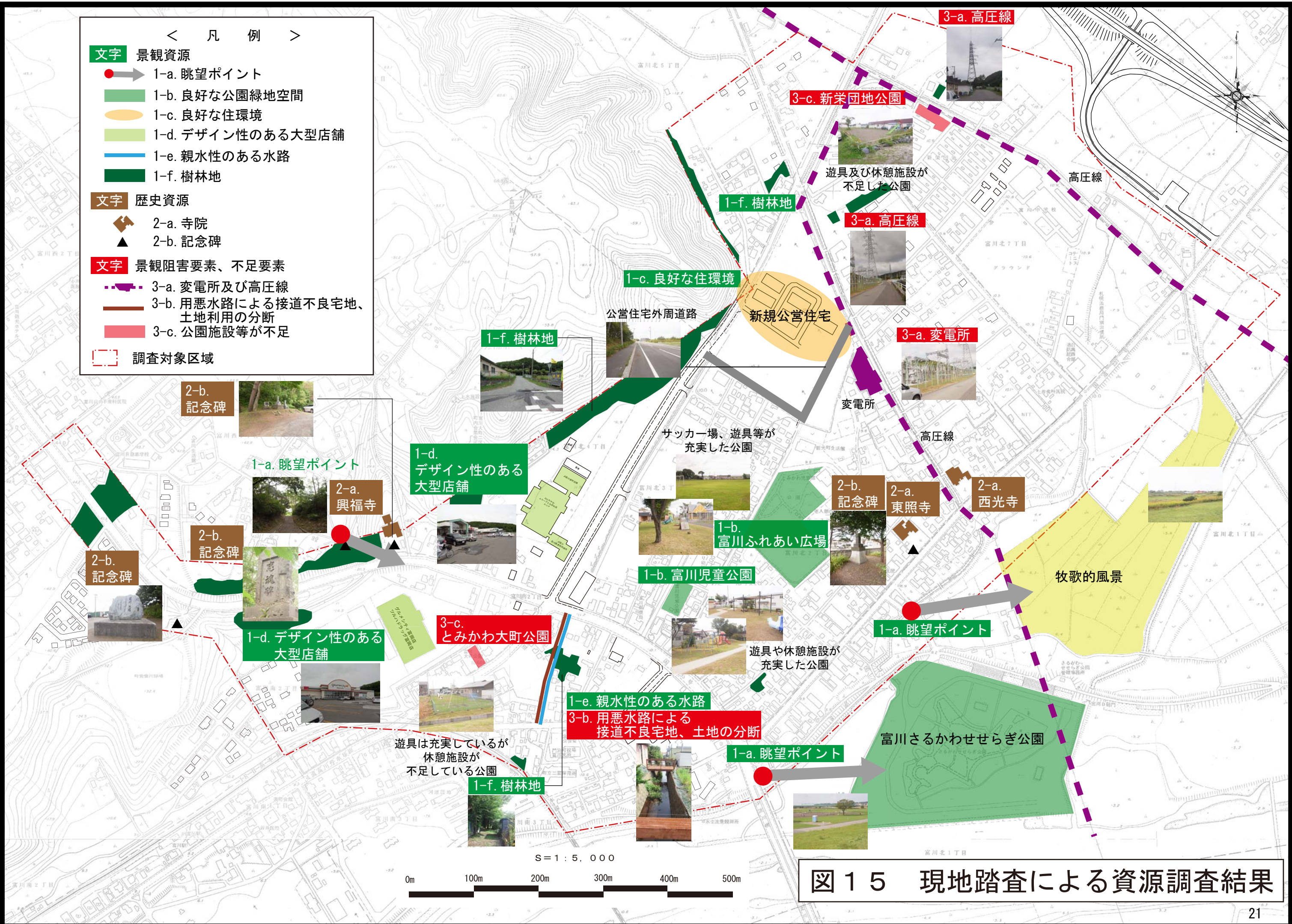


図15 現地踏査による資源調査結果

Ⅱ－２．社会条件調査

(1) 上位関連計画

①日高町総合振興計画（平成 20 年 3 月：日高町）

1)計画期間

- ・平成 20 年度から 29 年度まで

2)町の課題

- ・人口の減少及び高齢化の進行
後継者不足、生産力の低下による少子高齢化に対応した保健・医療・福祉サービスの提供が必要
定住人口の確保に向けた環境整備として、就業機会を確保するための取り組みが必要
- ・産業の低迷
農業は担い手の育成、経営の組織化及び効率化、水産業は養殖事業による水産資源の維持拡大及び安定供給、商工業は活性化が課題
- ・町財政の悪化
地方交付税に頼らない身の丈にあった財政運営体制の抜本的な改善が必要
- ・市街地の散在
門別本町地区は門別地域の中心として、富川地区は、苫小牧方面の玄関口及び交通の要衝としての特性を活かしたまちづくりが必要
その他、東の厚賀地区、北の日高地区による 4 地区それぞれの特色を生かした産業の振興及び生活環境の整備を図ることが必要

3)まちづくりの基本姿勢

- ・町民と行政の協働によるまちづくり
- ・地域特性を活かしたまちづくり
- ・自助と自立による、身の丈にあったまちづくり

4)将来人口

- ・平成 29 年度：12,400 人

5)将来のまちづくり像

「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」

6)まちづくり像を実現するための事業

将来のまちづくり像を実現するために必要な事業を抽出すると以下の内容があげられます。

表6 総合計画に位置づけがある交流促進に関連する事業（抽出）

I 安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり	高齢者福祉の充実	介護予防・生活支援事業	
		老人クラブ連合会への支援	
		高齢者団体への支援	
	子育て支援の充実	放課後児童健全育成事業	
		児童公園の整備	
		一時保育事業	
		託児サービスへの支援	
II 産業が元気なまちづくり	商工業の振興	商業コミュニティ施設の運営	
		地場産品推進協議会への支援	
	日高町商工会への支援		
	観光業の振興	各種イベントの開催	
III 豊かな心を育む教育・文化のまちづくり	社会教育の充実	生涯学習推進体制整備事業	
		図書ネットワークシステムの整備	
		青少年教育、家庭教育振興事業	
		青少年交流センターの整備	
		社会教育関係団体への支援	
			産業学習推進制度の充実
	スポーツ振興	地域スポーツクラブの推進	
	文化の振興	町民芸術鑑賞事業	
		文化関係団体の育成及び支援	
IV 快適で安全なまちづくり	公共交通	青少年の健全育成	
		青少年団体活動への支援	
		生活路線維持費補助金	
			広富・豊郷線運行事業補助金
			厚賀・太陽線運行事業補助金
	市街地の活性化	市街地アクセス環境の整備促進	
	環境保全・循環型社会の構築	葬祭場の建設	

②門別町都市計画マスタープラン（平成 16 年 3 月：門別町）

門別町都市計画マスタープランは、まちづくりのテーマを「人と自然がささえあう、やすらぎとるおいのまちづくり」としており、これを実現していくために、以下に示す分野別のまちづくり方針を定めています。

1)各地区の特色を生かした市街地整備と連携軸形成

- ・富川地区は、全町の中心市街地として位置づけられていることから、にぎわいのある中心商業ゾーンを形成するとしています。
- ・富川地区、富川東地区及び門別本町地区を連携する都市軸として、国道 235 号及び国道 237 号を位置づけるとしています。

2)にぎわいの核となる交流拠点の形成

- ・中心商業ゾーンをにぎわい拠点として位置づけ、既存のスーパーマーケットを中心とする商業ゾーンの充実・強化を図るとともに、既存商店街の環境整備や新たなにぎわいの核づくりを目指しています。

3)都市づくりの方針（にぎわいの拠点となる商業ゾーンの形成）

- ・富川地区の国道 235 号沿道の地区については、既存の商業集積を生かした中心商業ゾーンとして位置づけ、利便性の高いコンパクトな商業空間の形成を目指しています。
- ・既存のスーパーマーケットや、これに隣接した娯楽施設や店舗及び飲食施設の立地については、車利用の商業・娯楽ゾーンとして位置づけ、より魅力ある機能の形成を目指しています。

4)富川地区整備構想（商業地の土地利用方針のみ抜粋）

- ・富川地区の将来像を「にぎわいと活力を生みだすまち」しており、まちの発展を先導していくようなまちづくりを目指しています。
- ・国道 235 号沿道の中心商業ゾーンについては、歩いて楽しめることのできるような魅力ある商業空間の形成を図るとともに、バリアフリー化を推進するとしています。
- ・国道 237 号沿道については、車利用者が使いやすい駐車場等の整備検討を図るとともに富川さるかわせせらぎ公園との連携強化を図るとしています。
- ・既存のスーパーマーケットや娯楽施設及びホームセンター等が立地する地区は、敷地の緑化や歩行者の安全性の確保推進を図るとしています。
- ・若者や町民が集まるにぎわいの核づくりを図る上で、バスターミナル等の交通拠点機能やコミュニティセンター等の生活サービス機能及びまちなかの住宅機能等の一体形成に努めるとしています。

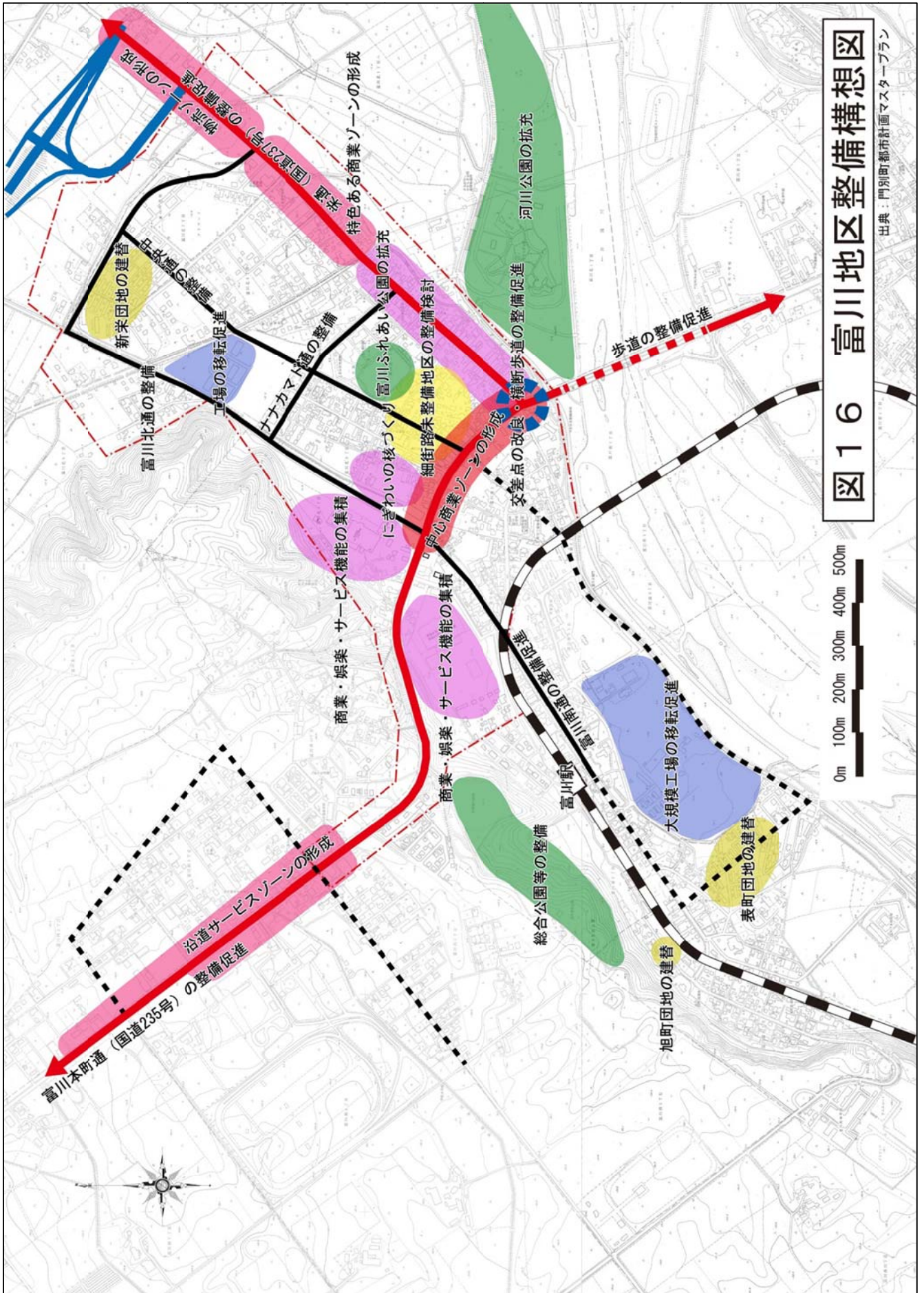


図16 富川地区整備構想図

出典：門別町都市計画マスタープラン

③日高町防災ガイドマップ（平成21年3月：日高町）

日高町防災ガイドマップでは、調査対象区域において洪水（最大5.0m未満）、水防警戒区域、浸水実績、地すべり、がけ崩れ等危険区域、土石流危険渓流が設定されており、これに対して、避難所、行政施設等が緊急時の施設として指定されています。

屋内避難場所（富川市街地）

富川生活館 富川公会堂 富川青少年会館 とみかわ児童館 新光町生活館 とみかわ老人憩いの家 新栄団地集会所 富川中学校

屋外避難場所（富川市街地）

町営富川球場

緊急時の連絡先（富川市街地）

日高町水・くらしサービスセンター 消防本部・消防署 富川交番 鎌田病院 小川医院 富川駅前クリニック

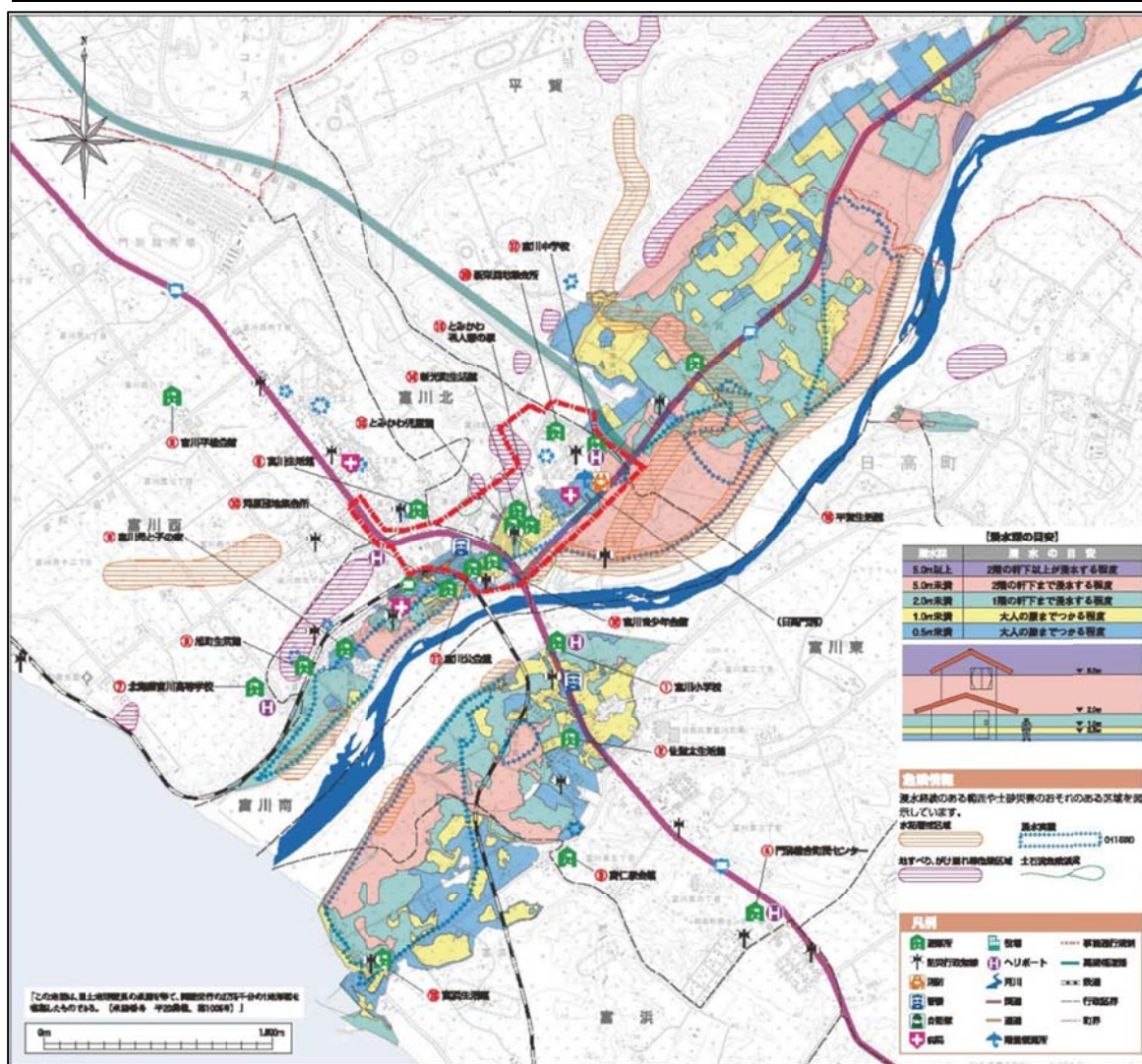


図17 防災ガイドマップ洪水マップ（富川地区）

出典：日高町防災ガイドマップ

④日高町津波ハザードマップ（平成24年12月：日高町）

日高町津波ハザードマップでは、調査対象区域において津波による浸水が予想されていない状況にあります。調査対象区域周辺の避難場所は富川生活館、一時避難場所は町営富川球場及び富川自動車学校が位置づけられています。

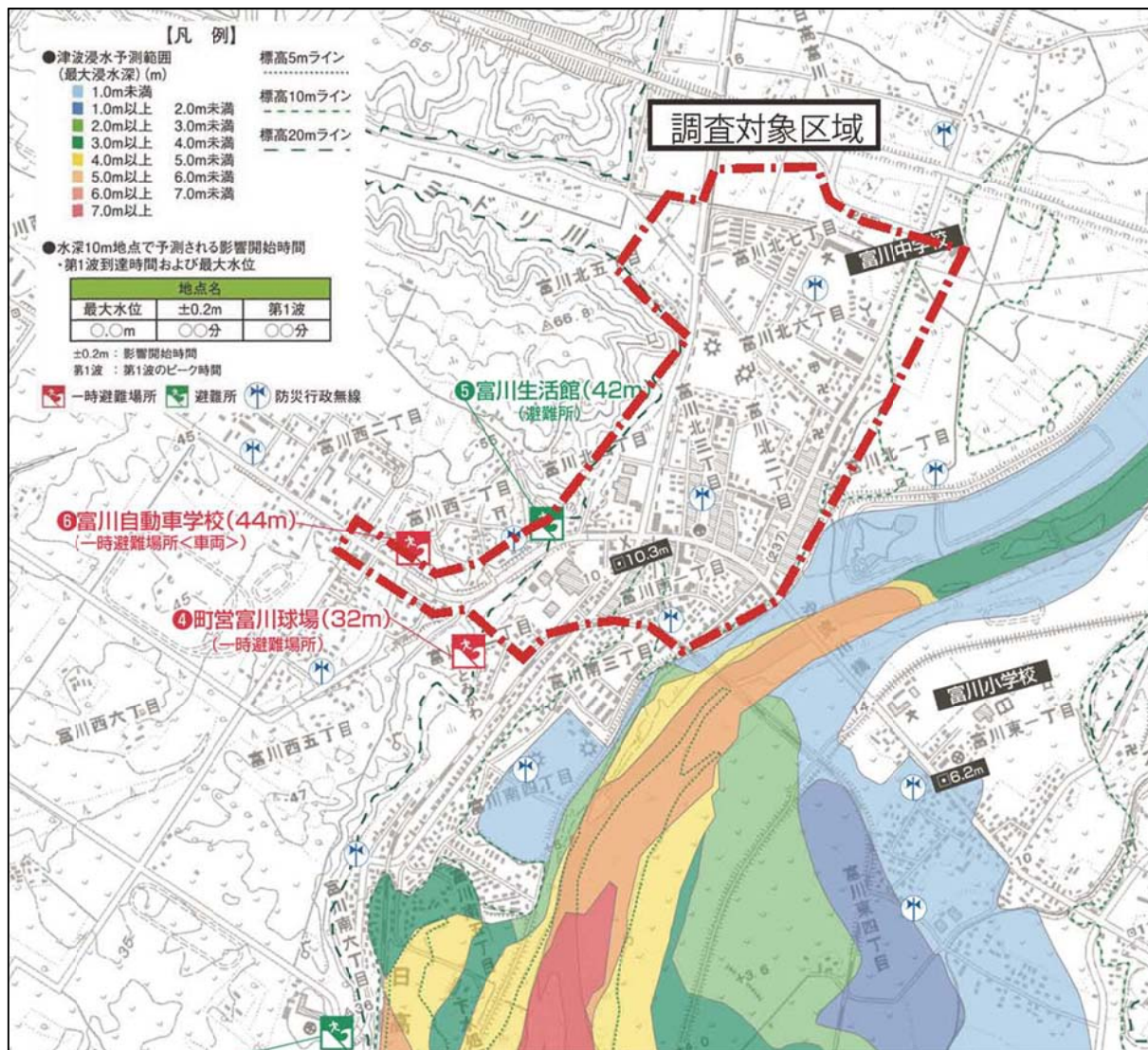


図18 津波ハザードマップ（富川地区）
出典：日高町津波ハザードマップ

⑤富川町市街地活性化構想検討会報告書

(平成 24 年 3 月：富川市街地活性化構想検討会議)

- ・観光施設（道の駅）と拠点施設（バスターミナル、大きな駐車場、集会室、スポーツ施設、町の出先機関、無料休憩所、図書コーナー等）は別に整備することが望ましいとしています。
- ・観光施設は、観光客の流れのルート上に整備すべきである。「とねっこの湯」周辺に整備することが望ましいとしています。
- ・拠点施設は、高齢者の買物の利便性を考慮して、大型店の周辺に整備することが望ましいとしています。
- ・第 1 候補は、グルメシティ富川店横、または、A コープとみかわ店の向かいの用地、もしくは、第 2 候補として現苫小牧信金から町道富川南 26 号線までの区域が考えられるとしています。
- ・空き店舗を取り壊し、その土地を町が購入して公共駐車場を整備することが考えられるとしています。
- ・路上駐車場対策が課題としています。
- ・富川西地区に大きな公園並びに国道と並行する町道を整備して、袋小路の市街地形態の解消を図ることが考えられるとしています。
- ・ふれあい広場内に「とみかわ児童館」と「わくわく館」並びに「新光町生活館」を統合した大規模な「子ども館」を建設して、芝生と築山がある公園を整備することが考えられるとしています。
- ・保育所と日高町水・くらしサービスセンターのエリアに、「二葉保育所」と「わかば保育所」を統合して、新たに保育所を整備して 0 才児保育や時間外保育の充実を図ることが考えられるとしています。
- ・国保病院に産婦人科や小児科を開設することが考えられるとしています。
- ・産婦人科は外来及び検診のみの診療体制とすることが考えられるとしています。
- ・ホームページや町広報を利用して、「塾」や「習い事」などの有料広告を募ることが考えられるとしています。
- ・トップアスリートが町を登用して、少年団から高校までの一貫した指導体制を構築して、オリンピック出場レベルの教育を目指すことが考えられるとしています。
- ・観光協会や民間組織において、町から補助金を交付することにより、ガイドブックやフリーペーパーなどの発行を目指すことが考えられるとしています。
- ・平成 24 年度の市街地活性化構想については、町民を交えた検討会議へ進むが、“まちづくり”の核となる人材を発掘する（商工青年部など次代のリーダーをメンバーに加える）ことが必要としています。

⑥平成 25 年度まちづくりセミナー(平成 26 年 3 月:富川市街地活性化構想検討会議)

1)富川中心市街地活性化構想の方向性

○計画の目的

- ・既存施設と将来建設する施設を結び付け、効果的で効率的な仕組みづくり
- ・高齢者をはじめ、各世代が住みやすいまちづくり

○目標

- ・買物客の苫小牧、札幌方面等への流出の拡大を抑え、地元商店街への利用促進を進めるとしています。
- ・商店街空き店舗を活用し、地域の活性化を図るとしています。
- ・高齢者等の「足」の確保を図るとしています。

○目的達成の手段

- ・市街地の核となる町民の拠点施設を建設するとしています。
- ・空き店舗を利用した小規模な地域交流施設を建設するとしています。
- ・利用しない空き店舗の取り壊しと共同駐車場を設置するとしています。
- ・住宅地と市街地を結ぶ地域公共交通を設置するとしています。

○目標達成のため必要な事項

富川市街地交流拠点施設の建設、空き店舗再離島事業の実施、コミュニティバス（市街地バス）の設置

○スケジュール

- ・平成 23 年度
：検討協議会の検討、構想素案のとりまとめ（町長への報告）
- ・平成 24～25 年度
：検討委員対象セミナー開催、検討委員、商工青年部役員対象セミナー開催
- ・平成 26 年度
：基本構想策定

2)富川市街地交流拠点施設整備の方向性

○内容

- ・富川市街地に若い世代を中心とする住民交流ができ、地域の核となる公共施設
- ・建設されることにより周辺の活性化が期待される施設

○施設の目的

- ・体育、レクリエーション活動、サークル活動、各種会議、金融機関、小売店、バス利用者の休憩所、公共駐車場

○建設予定地の考え方

- ・富川市街地の中心に、日高自動車道日高富川 IC へのルート上が考えられるとしています。
- ・交差点のある国道沿道が考えられるとしています。
- ・周りに歩道が設置されているなど、利用者の安全が確保されている場所が考えられるとしています。
- ・現在、町有地であることにこだわらないことが考えられるとしています。
- ・施設の建設により周辺の市街地が活性化する可能性がある場所が考えられるとしています。

○費用

- ・国、道の補助金は可能な限り活用することが考えられるとしています。
- ・北海道開発局の道路関係事業を可能な限り利用することが考えられるとしています。
- ・補助残は起債によって対応することが考えられるとしています。
- ・当面は、費用の件は棚上げし、施設の内容についての検討を進めることが考えられるとしています。

○スケジュール

- ・平成 23 年度
 - ：内部協議～検討会議による協議、構想案のとりまとめ（町長への報告）
- ・平成 24～25 年度
 - ：内部協議～検討委員対象セミナー開催、検討委員、商工青年部役員対象セミナー開催
- ・平成 26 年度
 - ：基本構想策定～外部も含めた検討委員会の開催（年 3 回）、策定業務委託
 - ：富川市街地ポケットパーク整備
- ・平成 27～28 年度
 - ：基本設計、実施設計

⑦日高町公営住宅等長寿命化計画（平成22年3月：日高町）

日高町公営住宅等長寿命化計画は、長期的な視点及び予防的な観点から公営住宅等の長寿命化のための維持管理を実現し、更新コストの削減と事業量の平準化を図りながら、住宅及び住宅地の整備を図ることを目的に計画を策定しています。

門別富川及び門別本町の公営住宅供給戸数の概要は、以下のとおりです。

表7 公営住宅の団地別供給戸数（門別富川、門別本町のみ抜粋）

団地名	戸数	計画期間 (H22～H31)	構想期間 (H32～41)
公営住宅(門別富川地区)	新栄	144	144
	北通	8	48
	河原	124	124
	表町	74	44
	旭町	4	4
	元町	16	0
	神社	12	12
	富浜	8	3
	小計	390	379
公営住宅(門別本町地区)	若草	40	44
	泉町	70	70
	小計	110	114
合計	500	493	465



図19 公営住宅位置図（門別富川、門別本町）
出典：日高町公営住宅等長寿命化計画

(2) 交通、土地利用などの整理

①幹線道路網

日高町の幹線道路網は、太平洋沿岸部の富川市街地、門別本町市街地及び厚賀市街地を連絡して苫小牧、浦河方面へ接続する国道 235 号、山間部の日高市街地と札幌方面、士幌町へ接続する国道 274 号が配置されており、国道 237 号が平取町経由で富川市街地と日高市街地を連絡しています。また、自動車専用道路は、門別地区に日高自動車道の日高富川 IC と日高門別 IC が設置され、道東自動車道の占冠 IC が日高地区に隣接する占冠村にあります。その他、道道は国道を補完する形で配置されています。

②一般交通量調査結果（平成 22 年一般交通量調査）

一般交通量調査による幹線道路の交通量は、国道 235 号が 8,600 台／日から 8,900 台／日、門別地区と日高地区を結ぶ国道 237 号は、国道 235 号と日高富川 IC 間が 11,000 台／日程度と最も多く、他の区間は 3,000 台／日から 5,000 台／日となっています。一方で、日高地区の国道 274 号は 1,200 台／日程度となっており、道東自動車道の開通による交通動線の変化により交通量が減少したと思われます。



図 2 1 平成 22 年度一般交通量調査結果

資料：一般財団法人 交通工学研究所

③都市計画道路の状況

都市計画道路の整備状況は、国道 235 号である 3・4・1 富川本町通が未整備となっているほか、3・4・5 富川北通、3・4・7 中央通、3・4・8 ナナカマド通において少しずつ整備が進められている状況です。調査対象地区の整備状況は、総延長 6,040m の内、43%にあたる 2,580m が整備済みとなっています。

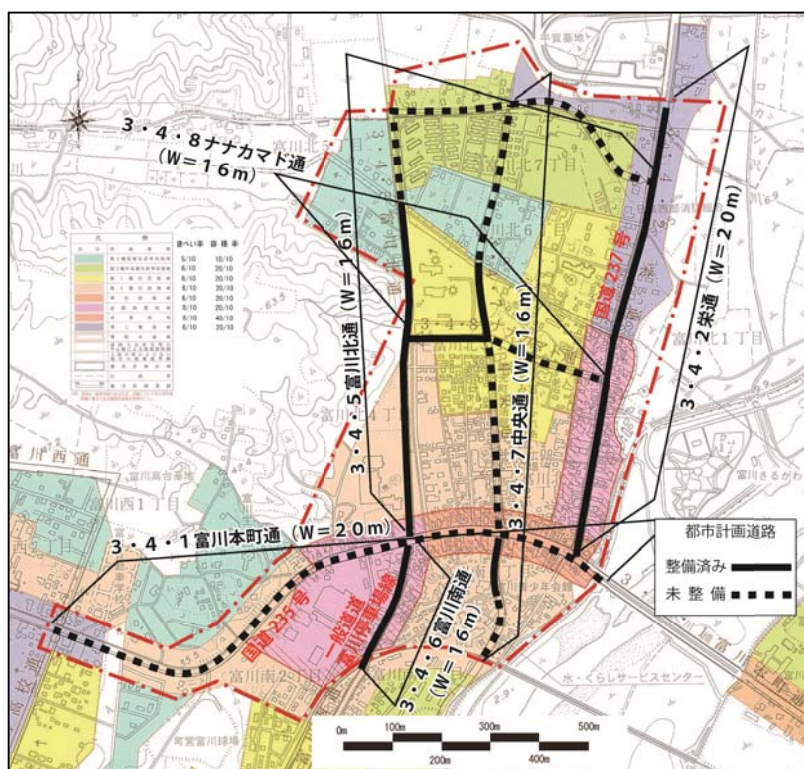
表 8 都市計画道路の整備状況（調査対象地区内）

都市計画道路名称	計画幅員 (m)	計画延長 (m)	整備済延長 (m)	未整備延長 (m)	整備率
3・4・1 富川本町通	20	1,370	0	1,370	0.0%
3・4・2 栄通	20	1,040	1,040	0	100.0%
3・4・5 富川北通	16	1,620	750	870	46.3%
3・4・6 富川南通	16	300	300	0	100.0%
3・4・7 中央通	16	1,250	310	940	24.8%
3・4・8 ナナカマド通	16	460	180	280	39.1%
合計	—	6,040	2,580	3,460	42.7%

注意)：道路延長は CAD 計測値

④都市計画用途地域

調査対象地区の都市計画用途地域は、商業地域が国道 235 号沿道、近隣商業地域が国道 237 号沿道及び国道 235 号と一般道道富川停車場線交差点の南東に指定されています。その他、日高富川 IC 周辺は準工業地域となっているほか、国道及び道道沿道以外では、第 2 種低層住居専用地域、第 2 種中高層住居専用地域、第 1 種住居地域及び第 2 種住居専用地域に指定されています。



Ⅲ. 地区が抱える課題と問題点の抽出、分析

Ⅲ－１. 市街地環境評価

市街地環境評価について、「Ⅰ. 現況及び社会条件の調査・分析」結果から、保全環境要素、環境阻害要素及び不足環境要素について整理すると以下のとおりとなります。

(1) 保全環境要素

調査対象区域内の保全環境要素は、以下のとおりです。

①歴史

歴史的な資源は、寺院3か所と記念碑4か所が点在している状況で、このような歴史的資源は、市街地の貴重な資源として捉え、保全していく必要があります。

②景観物

景観物は、調査対象区域西側斜面や一部の宅地において樹林地が残されているほか、富川ふれあい公園や富川児童公園などの身近な公園、河川（ミドリ川）や水路が配置されています。市街地整備等に当たっては、親水公園や公園緑地など環境資源としての活用を検討することが望まれます。

③眺望

眺望は、調査対象区域西側の高台において眺望が確保されているほか、国道237号東側には牧歌的風景が残されています。先の歴史的な資源や景観物資源と一体的に考えた魅力の創出を検討していくことが望まれます。

④建築物

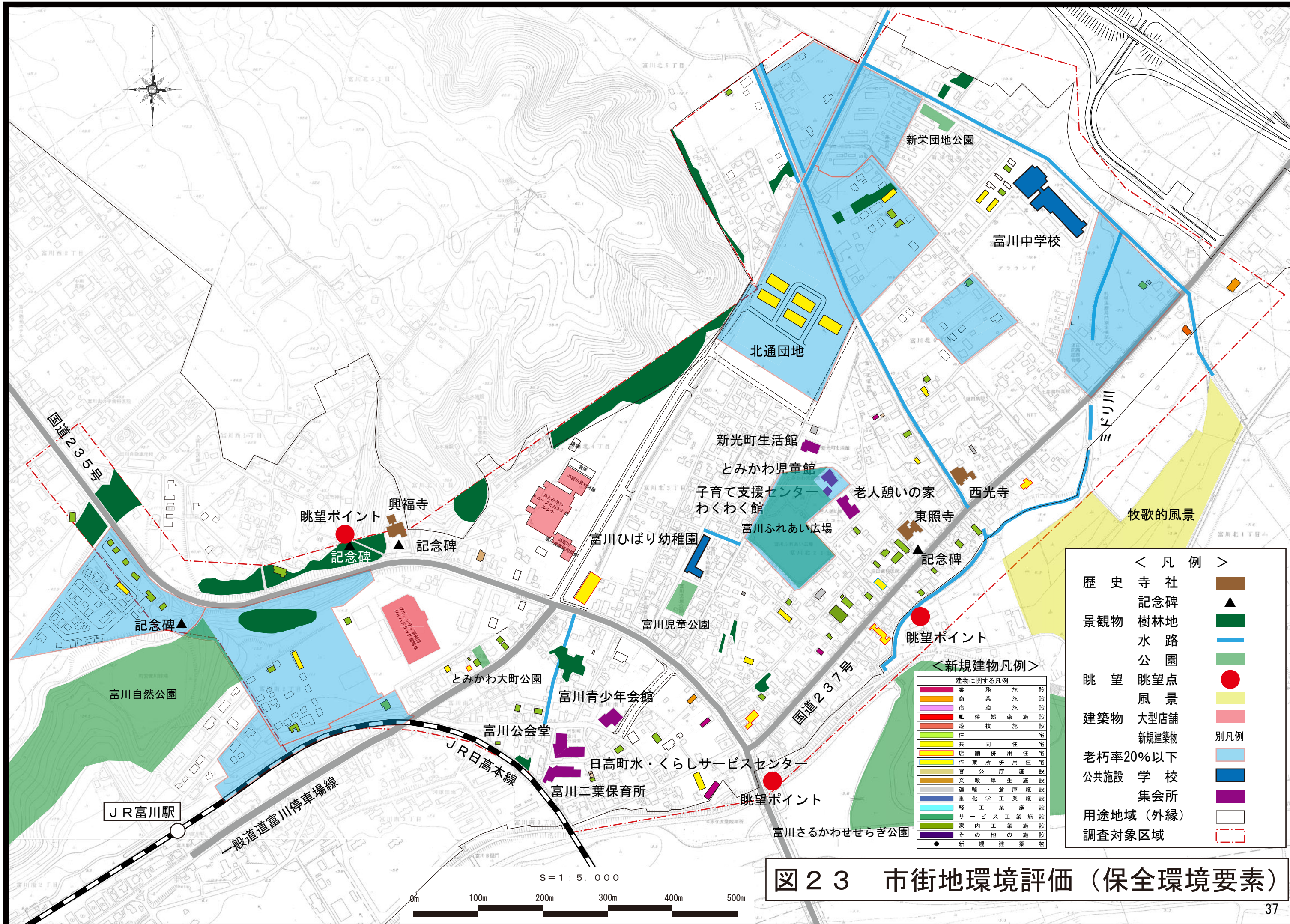
建築物は、日高町の商業拠点であるデザイン性のある大型店舗と新規建築物がまとまった箇所があります。

大型店舗は、日高町の商業拠点として国道235号と一般道道富川停車場線の交差点周辺にAコープとみかわ店やグルメシティ富川店が立地しており、保全すべき環境要素として考えられます。

新規建築物がまとまっている箇所は、調査対象区域北側の公営住宅北通団地で、外周道路も含め面的な整備が行われています。公営住宅の建替事業や比較的まとまった未利用地等活用し、良好な住環境を創出していくことが望まれます。

⑤公共施設

国道235号南側が日高町水・くらしサービスセンター、富川公会堂、富川青少年会館及び富川二葉保育所などが立地しているものの、青少年会館等は耐用年数を超過している状況です。国道235号北側においては、富川ふれあい広場を中心に子育て支援センター、幼稚園及び老人憩いの家、北部には富川中学校等の耐震改修済みや新築の施設が立地しています。



< 凡例 >

歴史	寺社	■
記念碑	▲	
景観物	樹林地	■
水路	公園	■
眺望	眺望点	●
風景	大型店舗	■
建築物	新規建築物	■
老朽率20%以下	別凡例	■
公共施設	学校	■
集会所	■	
用途地域(外縁)	■	
調査対象区域	■	

< 新規建物凡例 >

建物に関する凡例	
■	業務施設
■	商業施設
■	宿泊施設
■	風俗娯楽施設
■	遊技施設
■	住宅
■	共同住宅
■	店舗併用住宅
■	作業所併用住宅
■	官公庁施設
■	文教厚生施設
■	運輸・倉庫施設
■	重化学工業施設
■	軽工業施設
■	サービス工業施設
■	家内工業施設
■	その他の施設
●	新規建築物

図23 市街地環境評価(保全環境要素)



(2) 環境阻害要素

調査対象区域の環境阻害要素は、以下のとおりです。

①洪水マップ

災害の注意喚起は、沙流川等に関するものとして「浸水予想」、「水防警戒区域」、「浸水実績」が沙流川及び国道 237 号沿道に指定されています。また、調査対象区域西側の山地、傾斜地に関するものは、「地すべり・がけ崩れ等危険区域」、「土石流危険溪流」が指定されています。このような危険が推測される箇所については、内容を十分に周知するとともに、従前の対策を十分に立て、災害訓練など日ごろの防災活動を実施していく必要があります。

②高圧線・変電所

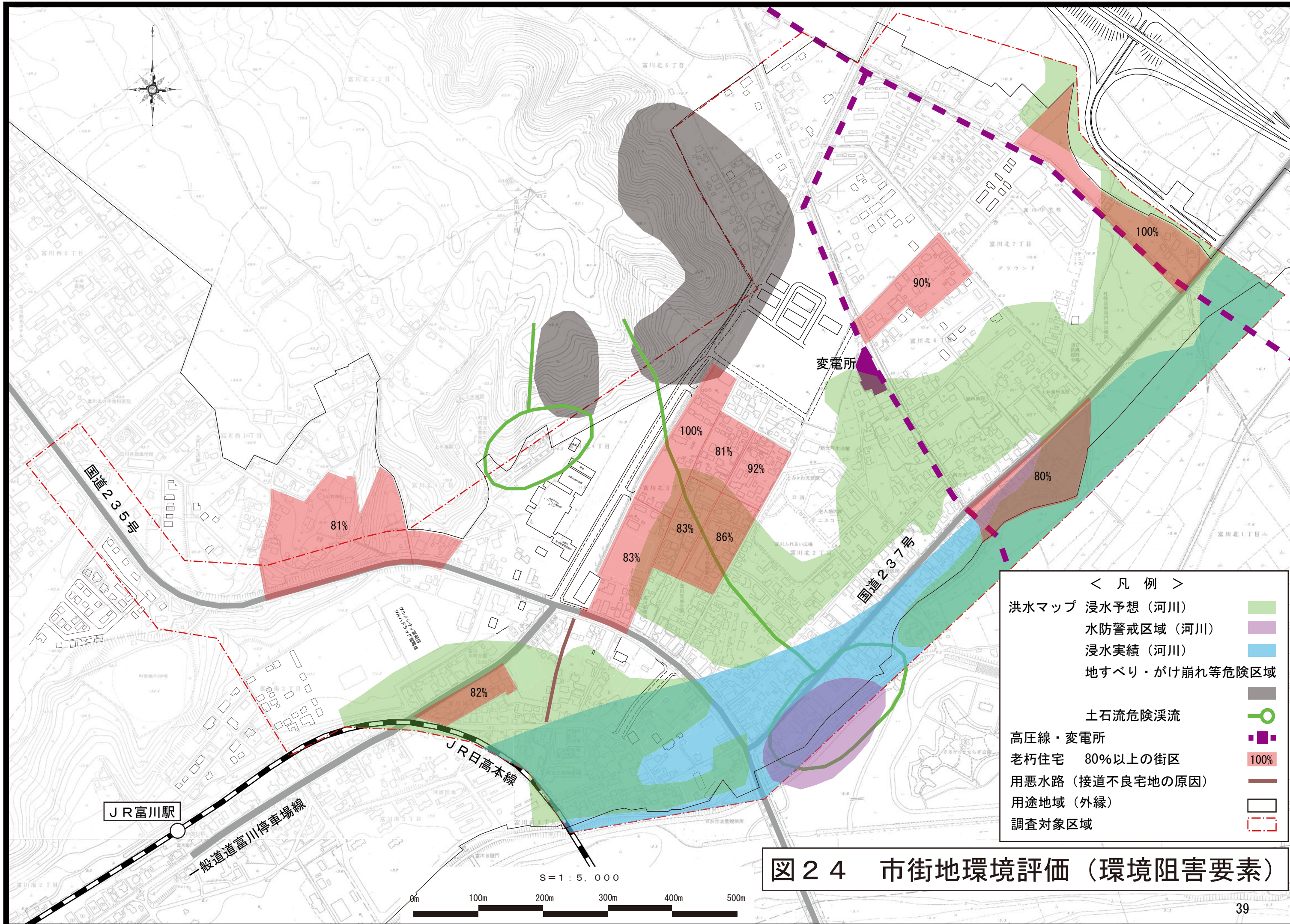
高圧線は、区域北側において 2 ルート設置され、中央には変電所が設置されています。沿道に一定幅の緩衝地帯を設けるなど、環境への影響をできるだけ低減していく必要があります。

③老朽住宅

老朽住宅が 8 割以上の街区は、国道 235 号北側に 6 街区まとまっています。また、調査対象区域全体において老朽住宅が点在していることから、建物の更新を促していく必要があります。

④用悪水路

一般道道富川停車場線付近の用悪水路は、街区を縦断して接道不良宅地の原因となっている箇所も見られることから、暗渠化等による阻害要素の解消策を検討していく必要があります。



< 凡例 >

洪水マップ 浸水予想 (河川)	
水防警戒区域 (河川)	
浸水実績 (河川)	
地すべり・がけ崩れ等危険区域	
土石流危険溪流	
高圧線・変電所	
老朽住宅 80%以上の街区	
用悪水路 (接道不良宅地の原因)	
用途地域 (外縁)	
調査対象区域	

図24 市街地環境評価 (環境阻害要素)

(3) 環境不足要素

調査対象区域の環境不足要素は、以下のとおりです。

①道路混雑度

国道 237 号の道路混雑度は、平成 24 年の日高門別 IC の供用開始により 1.15 から減少していると思われるものの、国道 237 号を補完する都市計画道路の整備により、交通の分散化を促進する必要があります。

②バス停留所不足エリア

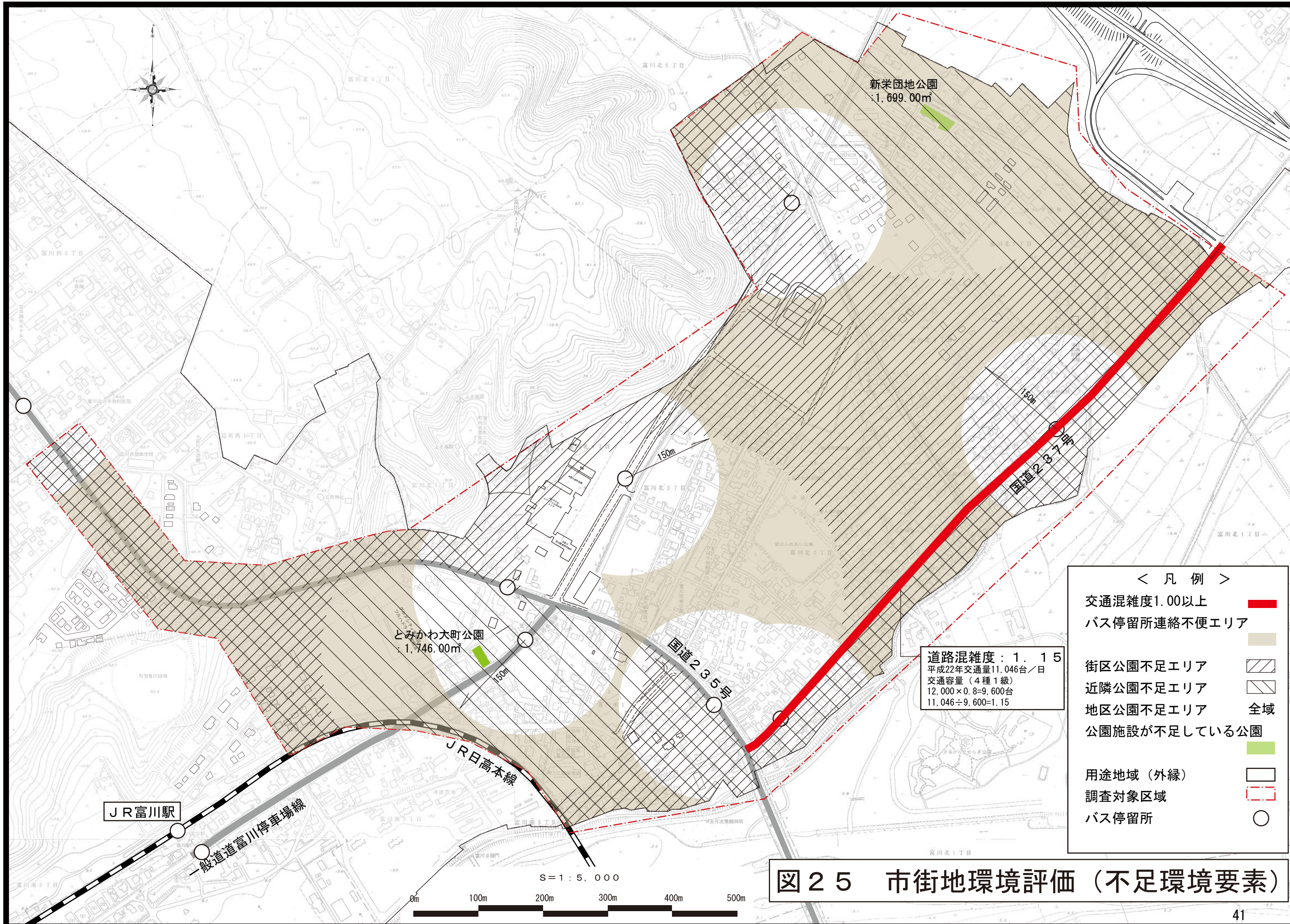
バス停留所設置安全基準による市街部配置間隔 300m（半径 150m）を目安に、バス停留所配置の状況を見ると、国道 235 号の北側中央部や南側西部において、バス停留所 300m 圏外となっているエリアが見られます。バス停留所の適正配置や予約型バス等により、利便性の向上を図っていく必要があります。

③公園不足エリア

公園は、国道 235 号北側が中央部において街区公園が不足しており、南側では全域が近隣公園不足エリア、東部及び西部が街区公園不足エリアとなっています。公園が不足するエリアについては、公共施設の集約配置後の空地进行を有効利用することや、市街地に残されている空地や自然資源、歴史資源を有効に活用して、地域が愛着を持てる公園づくりを行っていく必要があります。

④公園施設が不足している公園

新栄団地公園と大町公園は、敷地規模が 1,700 m²と標準規模 2,500 m²を下回り、かつ、老朽化した滑り台、ブランコ等の遊具のみが配置されるなど、高齢者等の休憩施設やみどり等が不足しています。再整備や隣接する空地と一体整備を行うことにより、街区公園としてふさわしい公園としての検討を行う必要があります。



新栄団地公園
1,699.00m²

とみかわ大町公園
1,746.00m²

道路混雑度：1.15
平成22年交通量11,046台/日
交通容量（4種1級）
12,000×0.8=9,600台
11,046÷9,600=1.15

＜ 凡 例 ＞	
交通混雑度1.00以上	
バス停留所連絡不便エリア	
街区公園不足エリア	
近隣公園不足エリア	
地区公園不足エリア	全域
公園施設が不足している公園	
用途地域（外縁）	
調査対象区域	
バス停留所	

図25 市街地環境評価（不足環境要素）

Ⅲ－２．市街地形成の課題

良好な市街地環境を形成するための課題を以下のとおり整理します。

（１）富川市街地資源の活用

調査対象区域及び周辺は、寺院や記念碑及び眺望ポイント、富川自然公園やさるかわせせらぎ公園による地域の代表となる公園及び富川ふれあい公園や富川児童公園による住宅地にとって身近な公園など、優れた歴史資源や景観資源を有しています。これらの資源と沙流川河川緑地や市街地内の小河川及び水路による親水空間等を活用した歩行者ネットワーク形成により、（仮称）富川歴史散策路など独自性のある地域を創出していく必要があります。

（２）公営住宅建替え事業の推進

公営住宅については、工場跡地を活用した北通団地への集約配置を行っており、これに伴う公営住宅建替え事業は、住宅の建設だけではなく屋外の基盤施設整備も併せて行っている状況です。北通団地と新栄団地については、道路、公園及び緑化などを含めた総合的な整備により、周囲を含めた居住環境の向上を推進していく必要があります。

（３）公共施設の再整備

富川青少年会館など耐用年数を超過した公共施設については、全町的なまちづくりに必要となる機能や、富川市街地のコミュニティー形成に必要な機能の集約など、総合的な視点による再配置、再整備の検討が必要です。

（４）災害を想定した施設整備

調査対象区域は、沙流川の沿岸地域で、かつ、西側に傾斜地を抱えていることもあり、浸水及び地すべり等の災害に対する注意が必要です。従って、公共施設の再配置、再整備にあたっては、災害が想定される箇所をできるだけ避け、かつ、災害時の避難場所としての機能を代替できるものを検討する必要があります。

（５）老朽住宅の更新

調査対象区域には、老朽化率が高い街区がまとまって存在する箇所があることから、都市計画道路の整備や区画道路の必要幅員の確保など都市基盤施設整備を行っていく必要があります。また、公共施設の再配置等による土地の利用度の向上等により、建物の更新を促していくなど、良好な市街地形成を促進していく必要があります。

(6) 都市計画道路の整備推進

富川市街地における都市計画道路の整備状況は、43%が整備済みとなっていますが、3・4・2 栄通（国道 237 号）の自動車交通を分散化する 3・4・5 富川北通や 3・4・8 ナナカマド通の整備を検討することが必要です。

(7) 公共交通

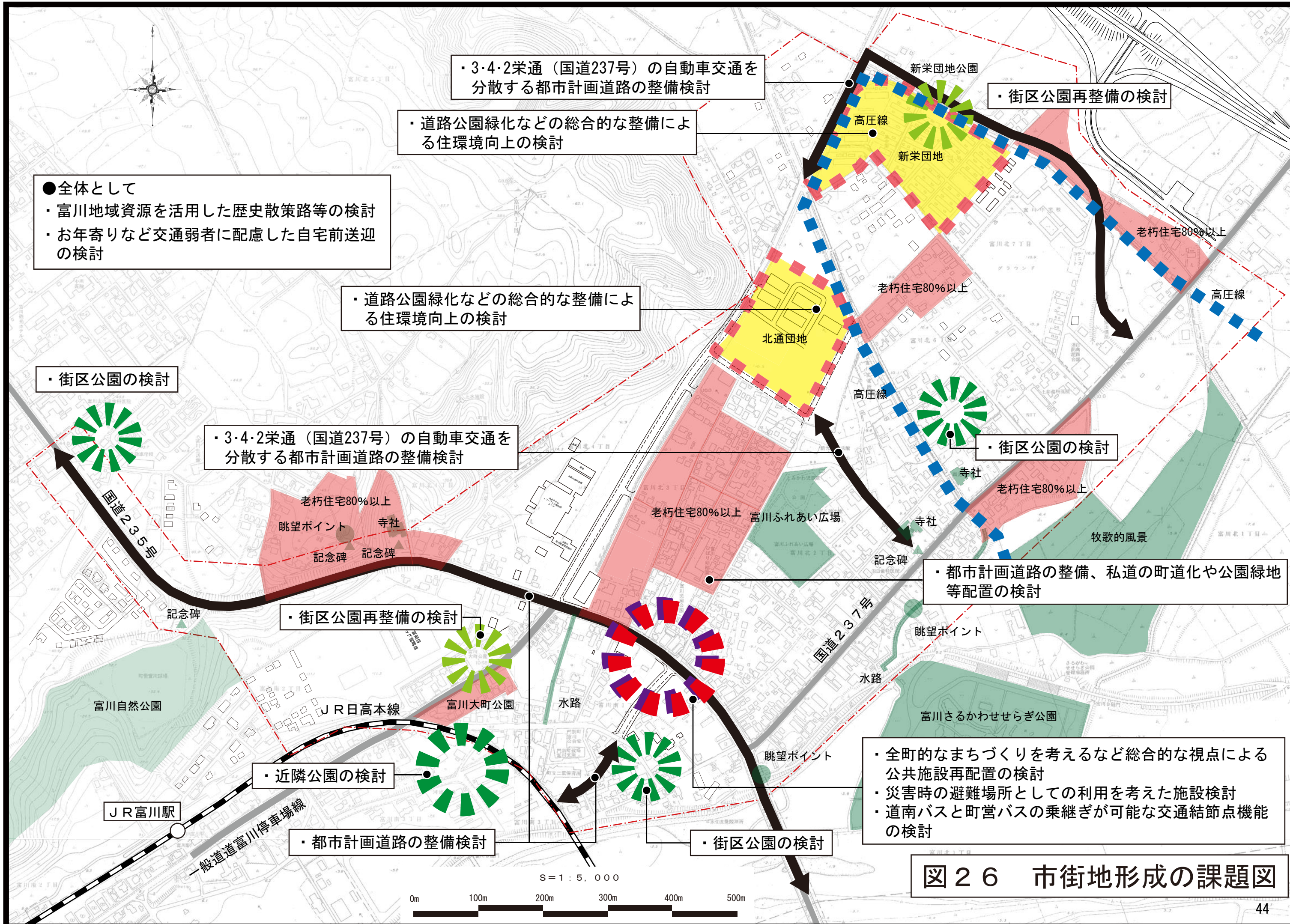
国道 235 号は、道南バス 8 路線と町営バス 3 路線が運行し、バス利便性が高いと地区と考えられるものの、路線ごとにバス停留所が異なるため、バス乗車位置や道南バスと町営バスの乗継ぎ方法がわかりにくい状況となっています。

このため、バス路線について全体が把握でき、かつ、道南バスと町営バスの乗継ぎが可能な交通結節点機能を確保することにより、公共交通のネットワーク形成を図っていく必要があります。また、町営バスについては、お年寄りなど交通弱者が、気軽に外出しやすい環境を確保していく必要があることから、現在の停留所方式から予約型バスや乗合タクシーなどの自宅前送迎方式への転換を検討する必要があります。このことは、富川市街地のバス停留所不便エリアを解消するものと考えられます。

(8) 公園の新整備及び再整備

公園配置の状況は、国道 235 号北側の中央部で街区公園、南側全域で近隣公園、南側の東部及び西部で街区公園が不足する状況となっており、これらエリアでの公園整備が必要です。一方、既存公園は、新栄団地ととみかわ大町団地公園の公園規模が標準より小さく、また、公園施設も不足する状況です。

このため、地域の要望を十分に反映した新規公園整備や公園再整備を進めることにより、愛着が持てる公園づくりを行っていく必要があります。



●全体として

- ・富川地域資源を活用した歴史散策路等の検討
- ・お年寄りなど交通弱者に配慮した自宅前送迎の検討

・3・4・2米通（国道237号）の自動車交通を分散する都市計画道路の整備検討

・道路公園緑化などの総合的な整備による住環境向上の検討

・街区公園再整備の検討

・道路公園緑化などの総合的な整備による住環境向上の検討

・街区公園の検討

・3・4・2米通（国道237号）の自動車交通を分散する都市計画道路の整備検討

・街区公園の検討

・街区公園再整備の検討

・都市計画道路の整備、私道の町道化や公園緑地等配置の検討

・近隣公園の検討

・都市計画道路の整備検討

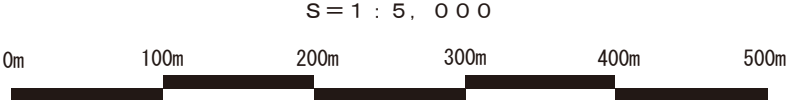
・街区公園の検討

・全町的なまちづくりを考えるなど総合的な視点による公共施設再配置の検討

・災害時の避難場所としての利用を考えた施設検討

・道南バスと町営バスの乗継ぎが可能な交通結節点機能の検討

図26 市街地形成の課題図



Ⅲ－３．まちづくり上の留意点の整理

上位関連計画等から、富川市街地の役割及びこれを担うために配置を検討する機能は以下のとおりです。

(1) 富川市街地の役割

富川市街地は、旧日高町との合併後においても全人口の半数近くを有し、かつ、中核都市である苫小牧方面から見ると日高地区と門別本町市街地方面の分岐点に位置しています。

また、門別町都市計画マスタープランでは、中心市街地として位置づけられているとともに、門別地区を縦断する国道 235 号や、旧日高町に連絡する国道 237 号については、各地区を連携する都市軸として位置づけられています。

このため富川市街地は、以下の 3 点によりまちの発展を先導する「にぎわいと活力を生みだすまち」を形成し、全町的な求心力を高めます。

- 若者や町民が集まるにぎわいの核づくり＝拠点施設
- 住民にとって、より魅力ある新たな商業機能を取り入れた商業娯楽ゾーン
- まちなか居住を含んだ利便性の高い多様性のある住宅地ゾーン

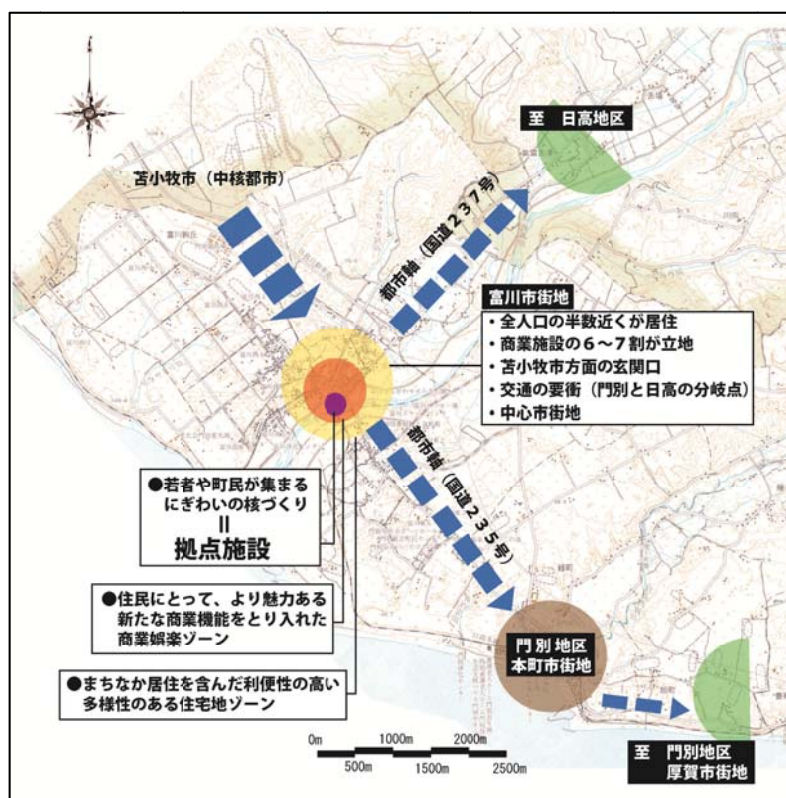


図 2 7 富川市街地の役割

(2) 拠点施設の空間イメージ

富川市街地の役割の内、「若者や町民が集まるにぎわいの核づくり」（拠点施設）について、以下の空間イメージを設定します。

表9 拠点施設の空間イメージ

役割	項目	現況施設	空間イメージ
若者や町民が集まるにぎわいの核づくり	A. 行政サービス機能	日高町水・くらしサービスセンター	全町的な行政サービスの拠点となるイメージ
	B. 集会機能	富川公会堂	日高地区と門別地区の地域資源を活かしたイベントの開催や全町的な新たな拠点となるイメージ
	C. スポーツ機能	富川青少年会館	若者や子どもにとっても魅力あるスポーツ機能を有するイメージ
	D. 休憩機能	もんちゃんプラザ	中心市街地として、やすらぎと潤い・にぎわいと活力を感じる休憩機能を有する
	E. 交通ターミナル機能	なし	自家用車の駐車場は勿論、公共交通に頼らざるを得ないお年寄りや子どもの生活交通を確保する交通ターミナルとしてのイメージ
	F. 金融サービス機能	苫小牧信用金庫富川支店	商業・娯楽ゾーンとの連携を考えながら、既存の大型店等を補完するイメージ

(3) 拠点施設等の事例（計画を含む）

拠点施設空間イメージの事例として以下を整理します。

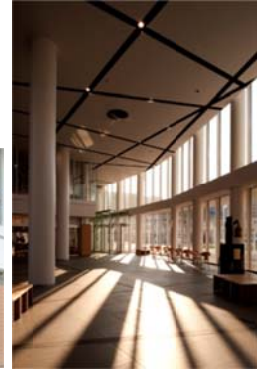
① 稚内駅前地区第1種再開発事業「キタカラ」



JR稚内駅



観光協会



キッズルーム



まちなか情報コーナー



ショップ&グルメ



シネマコンプレックス



コンビニ



宗谷バス駅前ターミナル



多目的交流ロビー

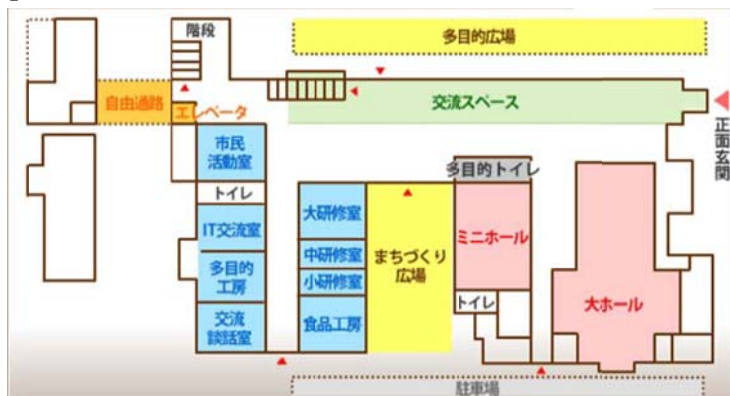


グループホーム

サービス付き高齢者住宅



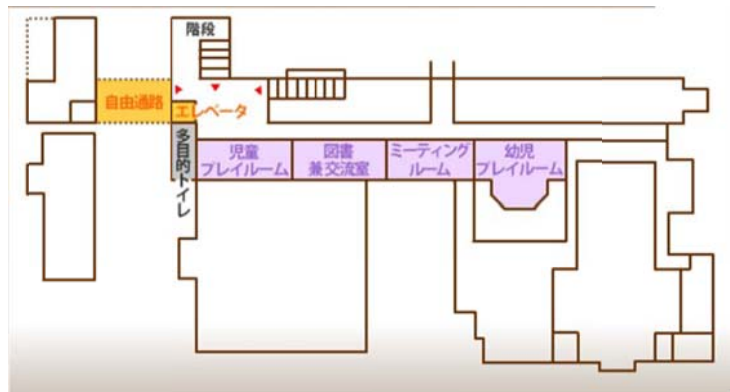
②砂川市地域交流センター「ゆう」



大ホール



間口13m、奥行11m、高さ8.5mの舞台では
様々な演出が創造されます



ロビー



市民の出会いと憩いの空間です

多目的工房



工作・工芸体験ができる多目的工房

幼児プレイルーム



遊び以外にグループ学習にも利用できます

研修室



大きな会議に適したゆったりとした研修室

IT交流室



インターネット売場のIT交流室

交流談話室



畳の上でゆっくりお楽しみ頂けます

食品工房



お菓子作りやそば打ちができる食品工房

図書兼交流室



子どものための図書、
絵本があります

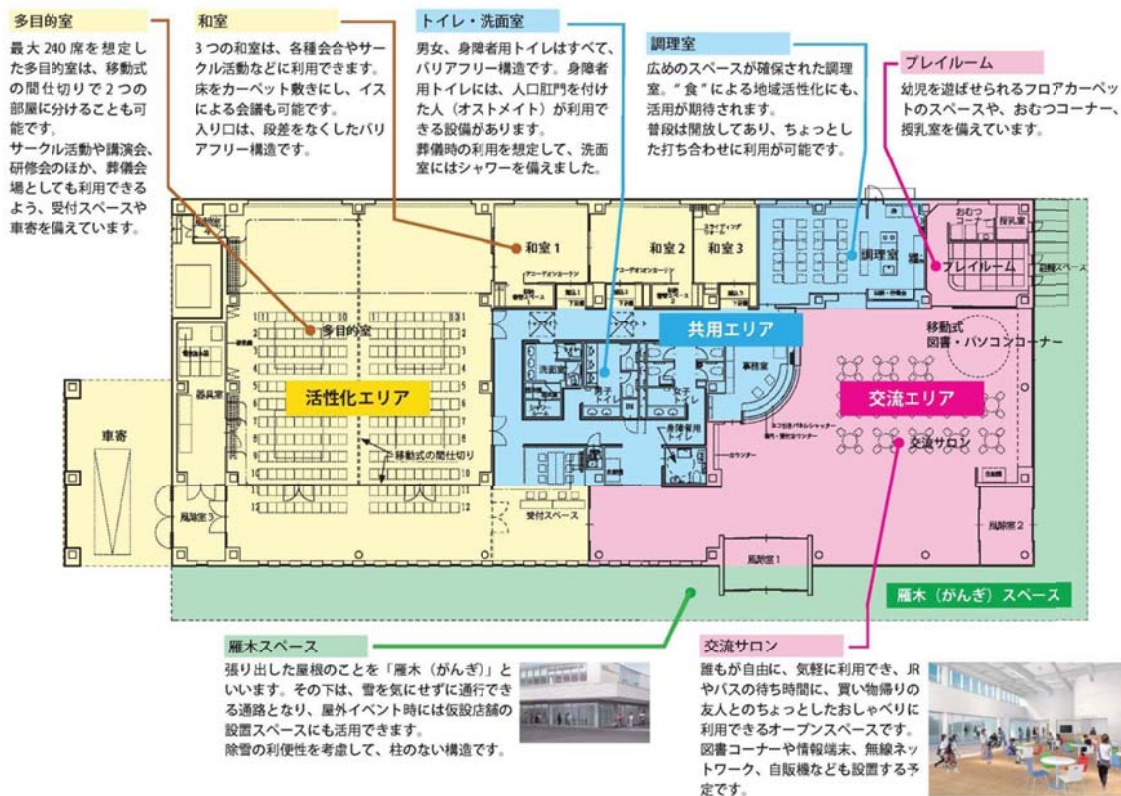
まちづくり広場 (屋外)



冬にはイルミネーションが映える空間です

③奈井江町交流プラザ「みなクル」

「みなクル」は、「子どもからお年寄りまで気軽に立ち寄ることができる交流拠点」、さらには「農商工連携、高齢者の生活支援」を目的に建設されています。



活性化エリア

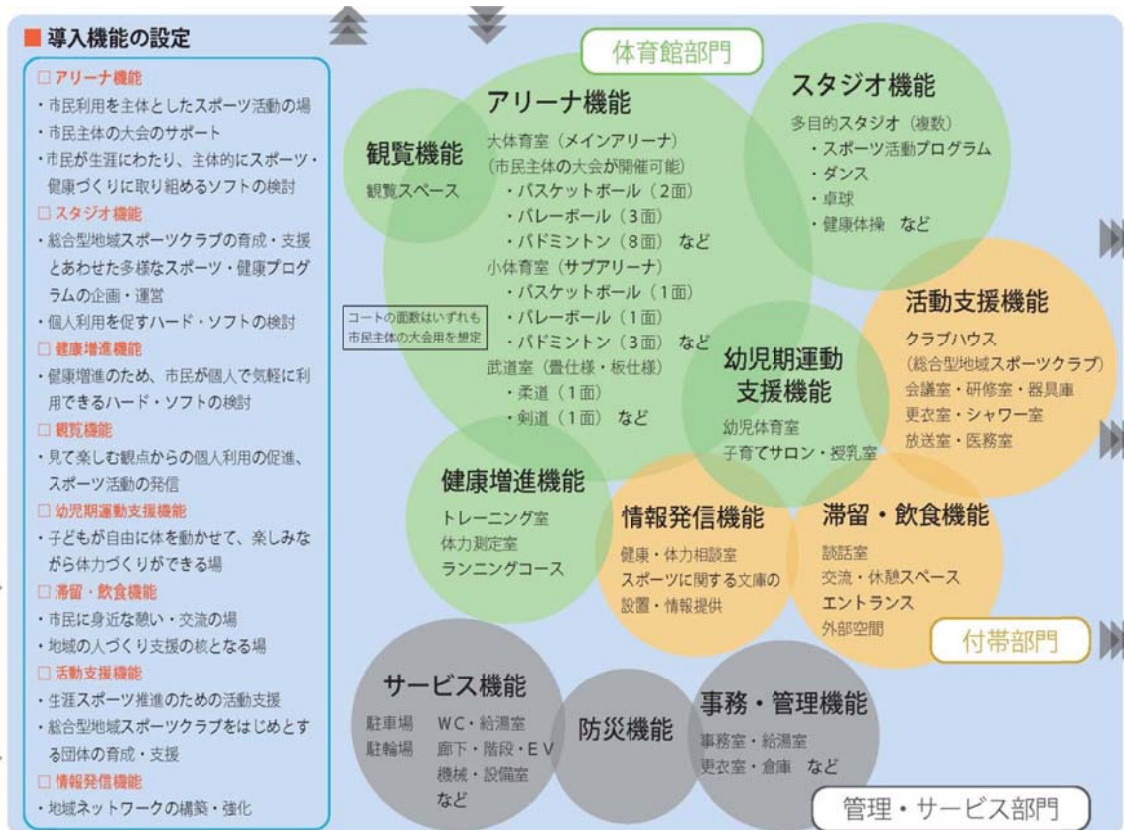


交流エリア



④門真市体育館・生涯学習施設

1)体育館建設基本計画



2)生涯学習複合施設



⑤子どものアミューズメント

●札幌どーむ



札幌ドーム屋内3階スペースにある、巨大な遊びの空間！「キッズパーク」は元気に遊べる「スポーツ」と「ファンタジー」がテーマの大型複合遊具です。小さなお子さま向けの「ベビーコーナー」も併設。プロ野球・Jリーグの試合観戦でご来場の際（※）や、イベントが開催されない日も無料でご利用いただけます。

キッズパークについて

■対象年齢

大型複合遊具：3歳～小学4年生
ベビーコーナー：2歳以下



●北海道立サンピラーパーク（名寄）

屋内 児童遊具

通年

このコンビネーション遊具は、「サンピラー交流館」の正面玄関を入ったところのインドアプレイガーデンにあります。

遊具の近くには、テーブルとベンチの休憩コーナーを設けていますので、大人の方も安心してお待ちいただけます。

サンピラー交流館の開館時間内は、夏・冬ともに一年中楽しめます。



営業期間	年末年始を除いて、毎日営業。
営業時間	サンピラー交流館の営業時間に準じます。
利用料金	無料

多目的ホール（夏）



夏期

多目的ホールは、「サンピラー交流館」内にあります。夏期はボールプール等の遊具や軽スポーツ（卓球・バトミントン等）が楽しめます。

営業期間	4月下旬～9月中旬
営業時間	※冬期はカーリングホールになります。
利用料金	サンピラー交流館の営業時間に準じます。 無料



●東さっぽろ イーアス (株)ボーネルンド)



Discovery Town
ディスカバリー・タウン

ごっこあそびが楽しめるマーケットや、列車やくるまが走り回る山、組み立てあそびのワークショップなど、発見にあふれたゾーン

Baby Garden
ベビー・ガーデン

0-2歳

6ヵ月から2歳までの小さい子どもが、発達段階に応じたあそびを楽しめるゾーン

Active Ocean
アクティブ・オーシャン

デンマーク生まれの運動遊具をつかって、跳ぶ・転がる・走るなどたくさんの動きが生まれ、全身のバランス感覚が育まれます

Central Port
セントラル・ポート

ちょうど中心にある、大きな大きなボールプール。すべり台からボールの海にすべり出し、全身で泳いでみよう

Sand Beach
サンド・ビーチ

山をつったり、バケツで運んだり、子どもを夢中にさせる「砂場」をインドアで再現したコーナー

BørneLund Shop
ボーネルンドショップ

本物のおもちゃ道具だけを世界中から厳選しました。キドキドで体験したあそびを、おうちでもお楽しみいただけます。

⑥多目的ホール

座席が可動することにより、多目的な利用ができるホールの事例

●函館大谷短期大学

最大 222 席の大講堂の座席は可動式で、後部に収納することができるため、さまざまな行事をはじめ、講義、講演や演劇、発表会、コンサートなどが開催できます。



●滋賀県立県民文化センターピアザホール

面積 556 m²で、映画館として収容人数 426 人収容できます。



(3) 事例を踏まえた拠点施設の機能

拠点施設等の事例から空間イメージを具体化すると以下の機能が考えられます。

①行政サービス機能：A

1)現況

- ・行政サービス機能は、日高町役場水・くらしサービスセンターが該当します。当該施設の構造、耐用年数及び経過年数は、以下のとおりです。

●日高町水・くらしサービスセンター
：鉄筋コンクリート造、経過年数／耐用年数＝31年／50年

2)検討案

- ・交通結節点機能集約による利便性を活用した全町的な行政サービス機能の配置
- ・観光協会等による全町的な観光情報の発信
- ・商店街、大型商業施設の近接性を活用した商工会議所等によるまちなか情報の発信

②集会機能：B

1)現況

- ・集会機能は、富川公会堂が該当します。当該施設の構造、耐用年数及び経過年数は、以下のとおりです。

●富川公会堂（大、中、小集会室、研修室、調理室）
：鉄筋コンクリート造、経過年数／耐用年数＝31年／50年

2)検討案

- ・多目的ホール（500人規模、座席可動式、映画鑑賞可）、間仕切りにより大、中、小研修室としても使用可能
- ・展示場（6次産業化による商品開発）や齋場としての活用
- ・各種工房など（食品工房、多目的工房、IT交流室、交流談話室）

③スポーツ機能：C

1)現況

- ・スポーツ機能は、富川青少年会館（体育室、研修室、和室）及び富川母と子の家が該当します。当該施設の構造、耐用年数及び経過年数は、以下のとおりです。

●富川青少年会館
：鉄骨造、経過年数／耐用年数＝44年／34年
●富川母と子の家
：木造、経過年数／耐用年数＝39年／22年

2)検討案

- ・1年を通して、体を動かす”遊び”の屋内空間
- ・多目的ホール（バレー、バスケット、テニス、バトミントンができる体育館）
- ・キッズパーク、幼児プレイルーム

④休憩機能：D

1)現況

- ・休憩機能は、もんちゃんプラザふれあいひろば（無料休憩所）が該当します。
当該施設の構造、耐用年数及び経過年数は、以下のとおりです。

●もんちゃんプラザふれあいひろば（無料休憩所：日高町商工会）
：木造、経過年数／耐用年数＝50年／24年

2)検討案

- ・アトリウム（各機能を一体的に結び付ける潤いのある快適な空間）、兼バス待合所
- ・図書兼交流室（子供のための図書、絵本に特化） など

⑤ターミナル機能（交通結節点機能）：E

1)現況

- ・国道235号に道南バス停留所が設置されているのみで、ターミナル機能はありません。

2)検討案

- ・道南バス8路線、町営バス3路線の発着を想定したターミナル機能

表10 発着交通手段及びバス路線

交通手段	バス路線（①～⑧は図29の番号に対応）
路線バス	道南バス ①日高・貫気別～富川高校 ②平取～静内 ③高速ペガサス号（浦河～札幌） ④浦河・静内～苫小牧～新千歳空港 ⑤静内～苫小牧 ⑥高速ひだか号（日高～札幌） ⑦平取～苫小牧 ⑧特急ひだか号（日高～苫小牧） 町営バス ・広富線（広富・庫富・幾千世地区） ・豊郷線（豊郷地区） ・清島線（清島地区）
タクシー	・タクシー乗降及び溜り（タクシープール）を検討
自家用車	・中心市街地としての立地特性に配慮して台数を検討

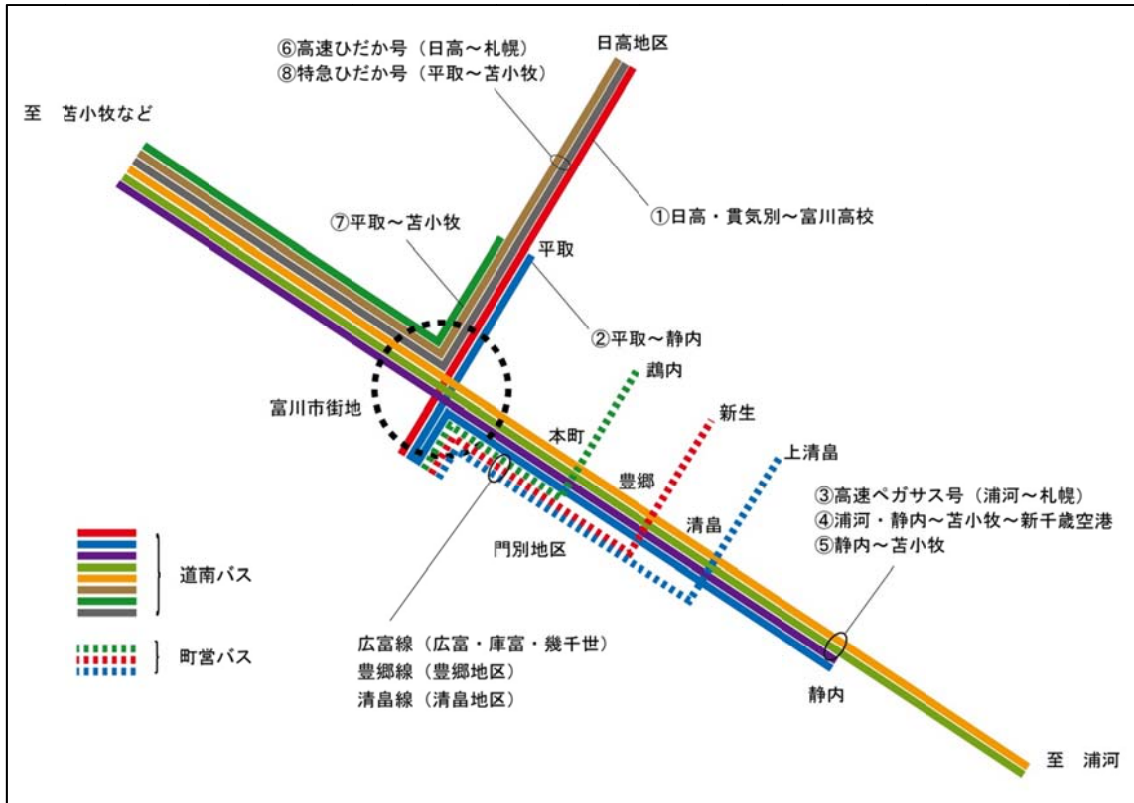


図 2 8 日高町関連バス路線図 (パターン図)

- ・路線バスの発着台数は、滞留がピークとなる台数から以下を見込みます。また、タクシーは最小限必要となる台数を確保します。なお、ターミナルの配置を検討する上では、国道とのバスアクセスは信号交差点での連絡を条件とし、この場合、信号機の新設は難しいものとして考えます。

表 1 1 必要バース数 (バース：発着スペース)

道南バス	
・仕様：大型バス (12 m × 2.5 m)	3 バース
町営バス	
・仕様：ワゴン車 (6 m × 2 m)	3 バース
タクシー	
・乗降で 2 バース、その他、タクシープール (2 台程度)	

表 1 2 必要バース数の設定

■道南バス必要バース数の設定

設定車両：大型バス

時間帯	日高・真気別～平取～富川高校		平取～静内		高速ベガサス号		浦河・静内～苫小牧～新千歳空港		静内～苫小牧		高速ひだか号		平取～苫小牧		特急ひだか号		必要バース数 5分程度の滞留を想定
	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	
06時台	6:50																1バース
07時台		7:39	7:42		7:45				7:36		7:45		7:05				3バース
		7:56															
08時台	8:11	8:31	8:41		8:50		8:35										2バース
	8:13																
09時台		9:26				9:50									9:08		1バース
10時台					10:10					10:23							1バース
11時台						11:40				11:40							2バース
12時台					12:10					12:10				12:45			2バース
13時台	13:38					13:40											2バース
14時台					14:40												1バース
15時台	15:30	15:51													15:46		1バース
16時台	16:34			16:07	16:10	16:00				16:25							2バース
17時台					17:20		17:35	17:05			17:25						2バース
18時台	18:00	18:06			18:10	18:40											2バース
19時台					19:20												1バース
20時台						20:00											1バース
停留所名	富川市街		富川市街		富川大町		富川大町		富川市街		富川大町		富川大町		富川大町		最大3バース

■町営バス必要バース数の整理

設定車両：10人乗りワゴン車

時間帯	広富線		豊郷線		清島線		必要バース数
	上り	下り	上り	下り	上り	下り	
06時台							
07時台							
08時台	8:22		8:22		8:22		3バース
09時台	9:56		9:56		9:56		3バース
10時台							
11時台							
12時台							
13時台							
14時台		14:03		14:03			2バース
15時台							
16時台		16:03		16:03			2バース
17時台							
18時台		18:06		18:06			2バース
19時台							
20時台							
停留所名	富川市街						最大3バース

⑥金融サービス商業機能：F

1)現況

- ・金融サービス機能は、苫小牧信用金庫富川支店が該当します。当該施設の構造、耐用年数及び経過年数は、以下のとおりです。

●苫小牧信用金庫富川支店
：鉄筋コンクリート造、経過年数／耐用年数＝49年／50年

2)検討案

- ・苫小牧信用金庫富川支店
- ・コンビニエンスストア、ショップ&グルメ（小規模）

⑦各種機能規模の想定

各種機能規模として、現況施設の規模を参考にそれぞれの施設面積を想定すると以下のとおりとなります。

表 1 3 各種機能規模

拠点施設の機能	現況施設	想定規模
A. 行政サービス機能	日高町 水・くらしサービスセンター	現状の機能が十分に確保できる 規模を想定 600 m ²
B. 集会機能	1,352 m ²	座席数 500 人程度を想定 1,700 m ²
C. スポーツ機能	富川青少年会館 572 m ²	現状規模程度 600 m ²
D. 休憩機能	もんちゃんプラザ 120 m ²	300 人程度 800 m ²
E. 交通ターミナル機能	なし	道南バス、町営バス、タクシー、 一般駐車場
F. 金融サービス機能	苫小牧信用金庫富川支店 250 m ² (1 階)	ミニ商業を加え設定 500 m ²
合計	2,484 m ²	4,200 m ²

(4) 検討街区の設定

若者や町民が集まる賑わいの核づくりを行うために、拠点施設の整備を検討する候補地の条件としては、以下の内容が考えられます。

●広域性：

富川市街地は、国道 235 号と国道 237 号の広域性をもった幹線道路を有するため、拠点施設が国道に面することにより、「連絡しやすさ」、「開発インパクト」並びに「街並み景観」等を向上させていくことが考えられます。

●商業娯楽ゾーンとの連携：

富川市街地には、A コープとみかわ店及びグルメシティ富川店周辺に商業娯楽ゾーンが形成されているため、これらとの連携を考慮し、近接して拠点施設を配置することが考えられます。

この拠点施設候補地の条件を基に検討街区を設定すると以下のとおりとなります。

表 1 4 候補地の設定

候補地	規模	位置	検討街区としての特徴
A 街区	9,100㎡ (7,200㎡+飛び地 1,900㎡)	国道235号と一般 道道富川停車場 線との交差部	<ul style="list-style-type: none"> 既存大型店(グルメシティ富川店及びAコープとみかわ店)との連携が図りやすい 国道235号に広く面しており、街並みづくりへの貢献が期待される 本街区は老朽建物が多く、再開発により健全な市街地形成が図られる
B 街区	8,000㎡	国道235号と町道 富川北平賀16号 線との交差点付 近	<ul style="list-style-type: none"> 農協に近接しており、連携を図りやすい 未利用地が多く、権利調整が他の街区より容易 後背にも未利用地が有るため、拡張性がある 山林による緑や良好な集合住宅地が近い
C 街区	8,400㎡	国道235号と国道 237号との交差点 付近	<ul style="list-style-type: none"> 国道235号と国道237号の交差点部に位置し、連絡性が高く、開発へのインパクトや街並みづくりへの貢献が期待される 空地が多く点在するため、再開発による健全な市街地形成が図られる 金融サービス施設の苫小牧信用金庫富川支店が配置されているため、これとの連携が考えられる

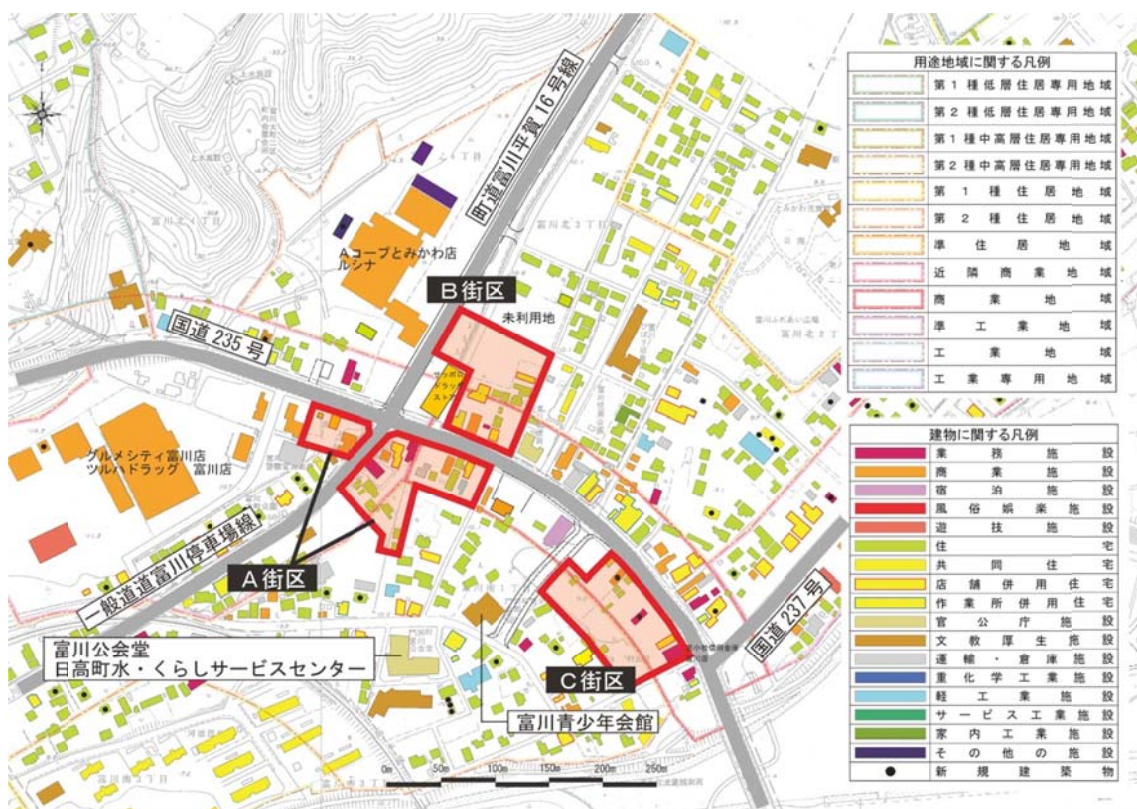


図 2 9 候補地の位置

(5) イメージ図の作成

拠点施設の機能及び想定した規模について、A街区からC街区の検討街区においてイメージ図を作成すると 62 頁から 65 頁のとおりとなります。なお、C街区においては、バスターミナルについて国道 235 号と町道富川南 1 号線の交差点のみに連絡する「スイッチバック案」と、同交差点と国道 235 号と町道富川南 26 号線の交差点の 2 箇所を連絡する「通り抜け案」の 2 案を設定します。なお、国道 235 号と町道富川南 26 号線の交差点部には、信号機を移設することが前提条件となります。

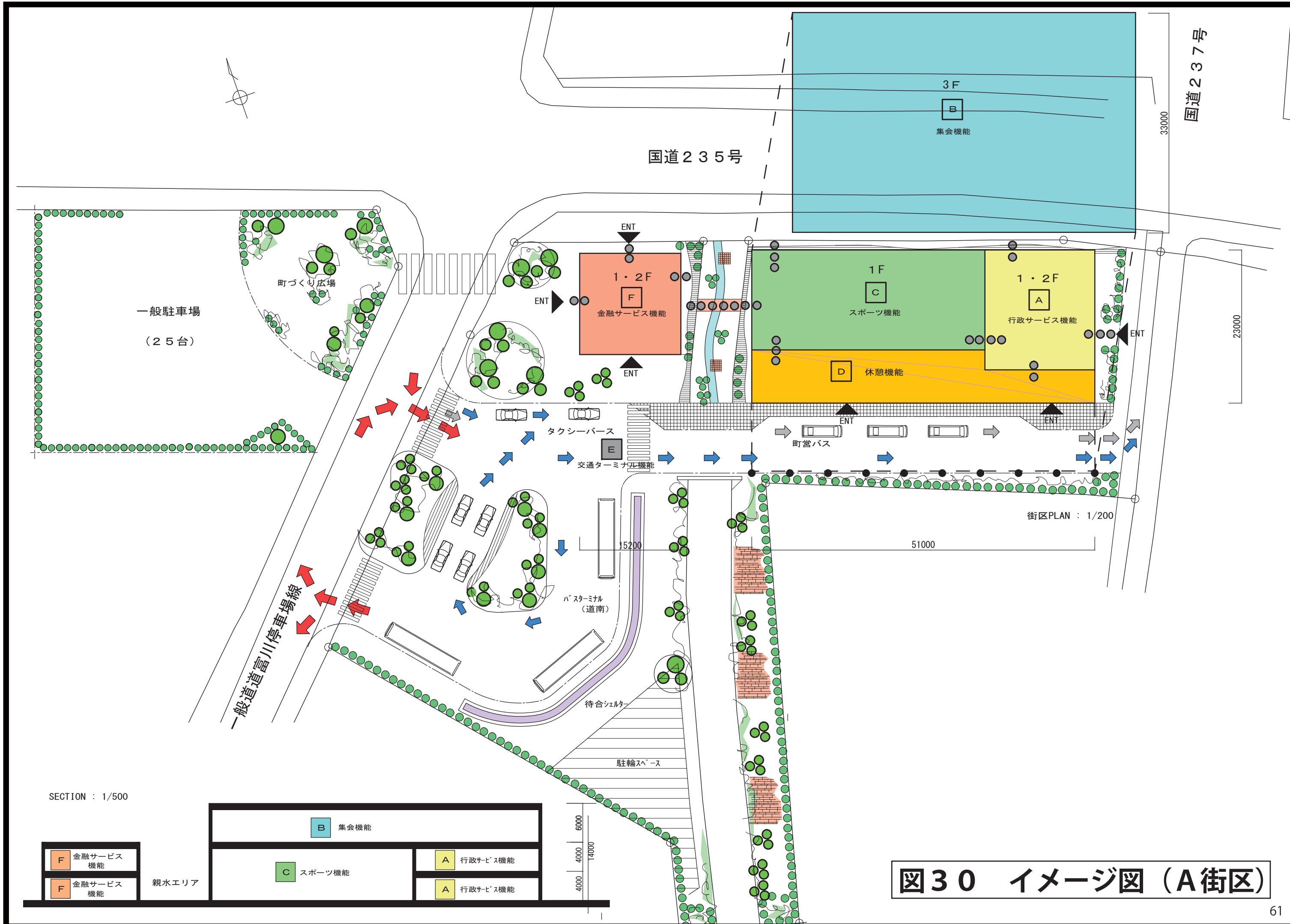
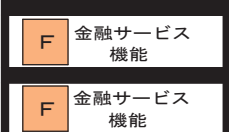
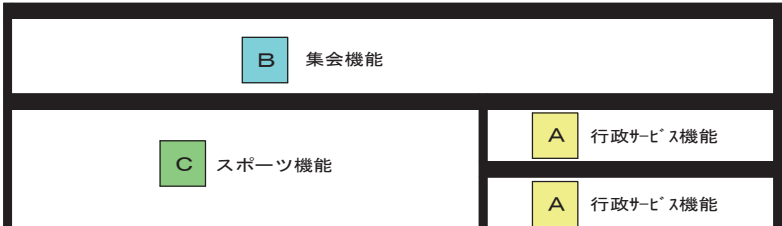


図30 イメージ図 (A街区)

SECTION : 1/500



親水エリア



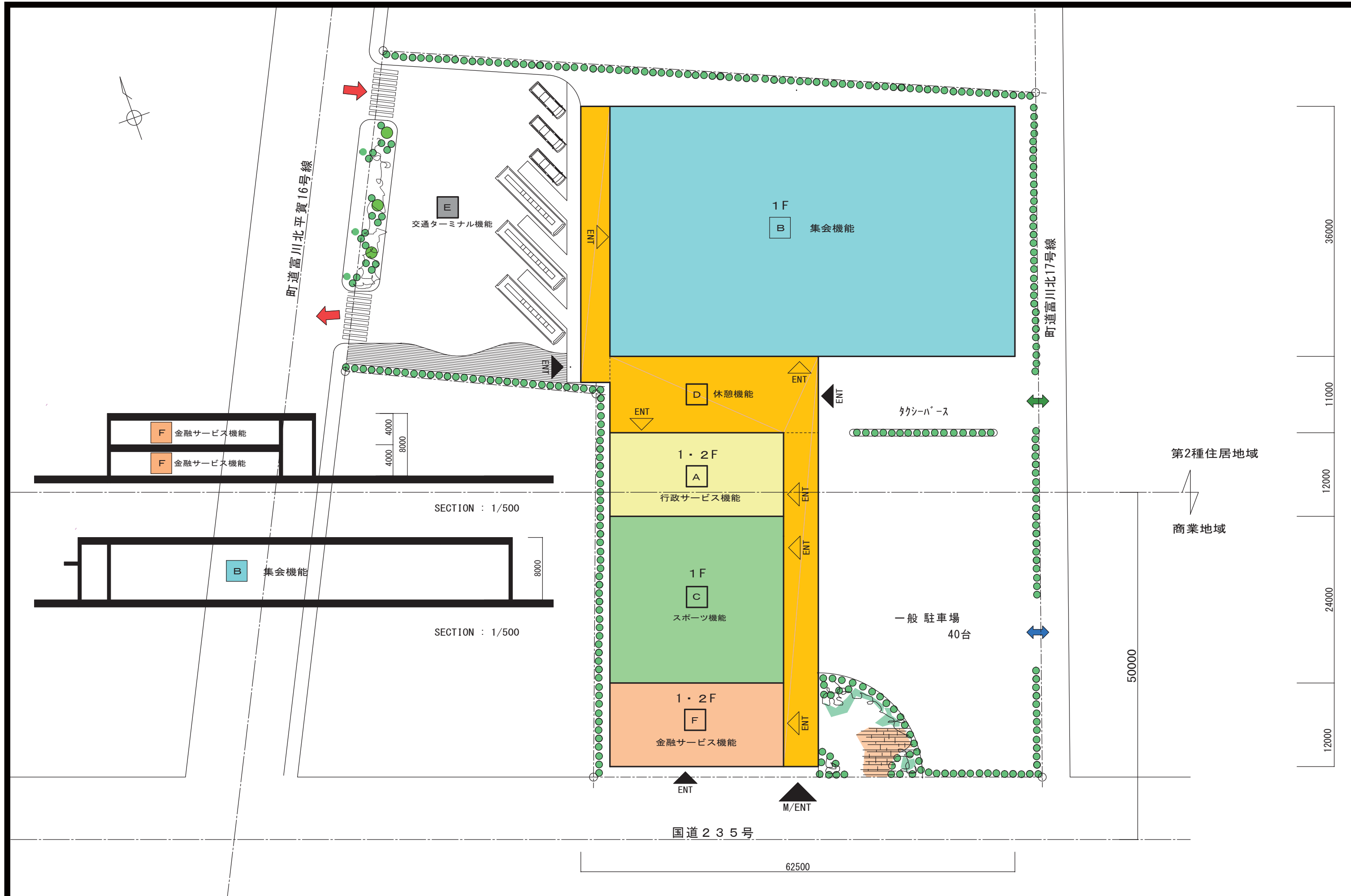
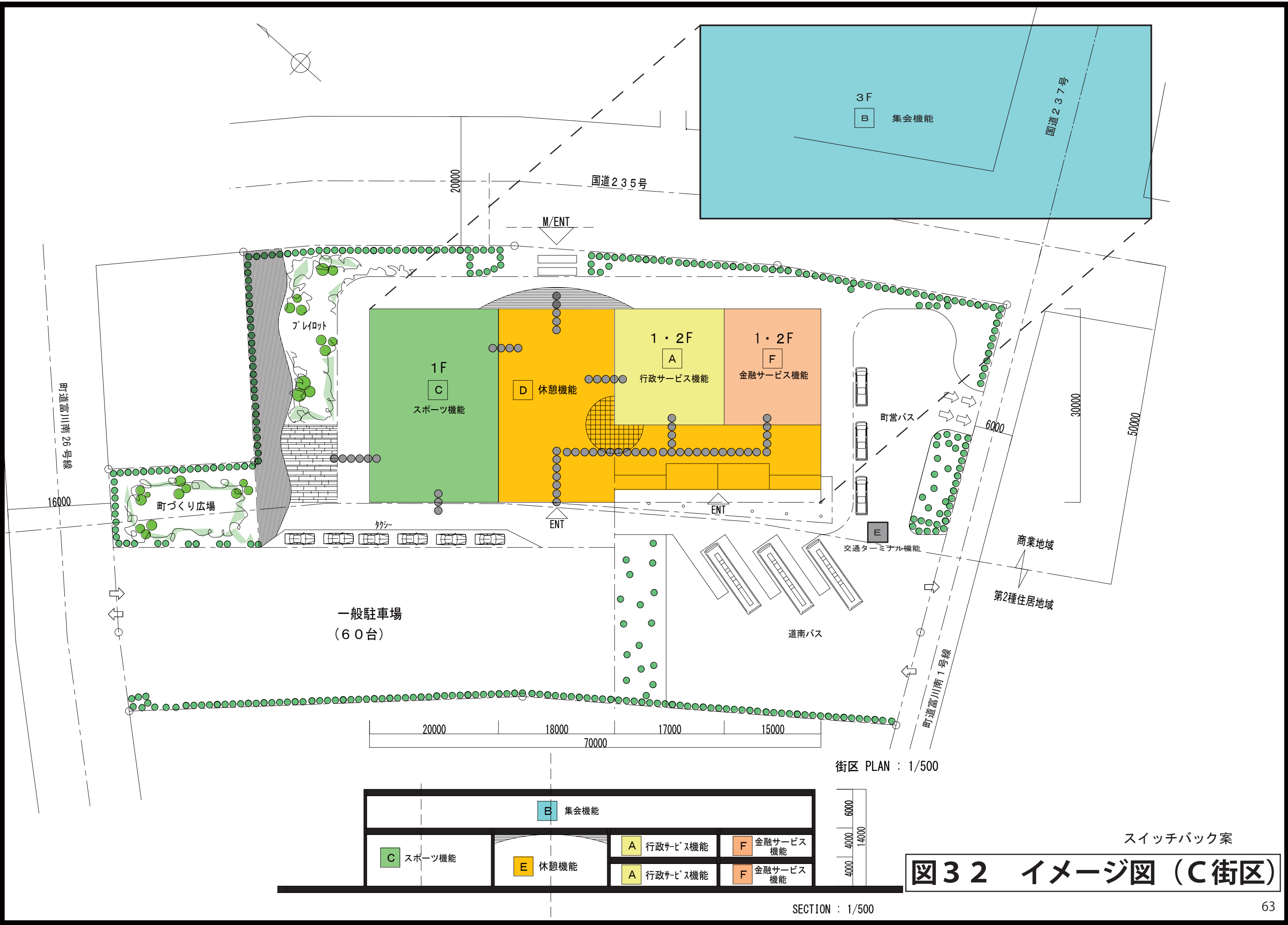


図31 イメージ図 (B街区)

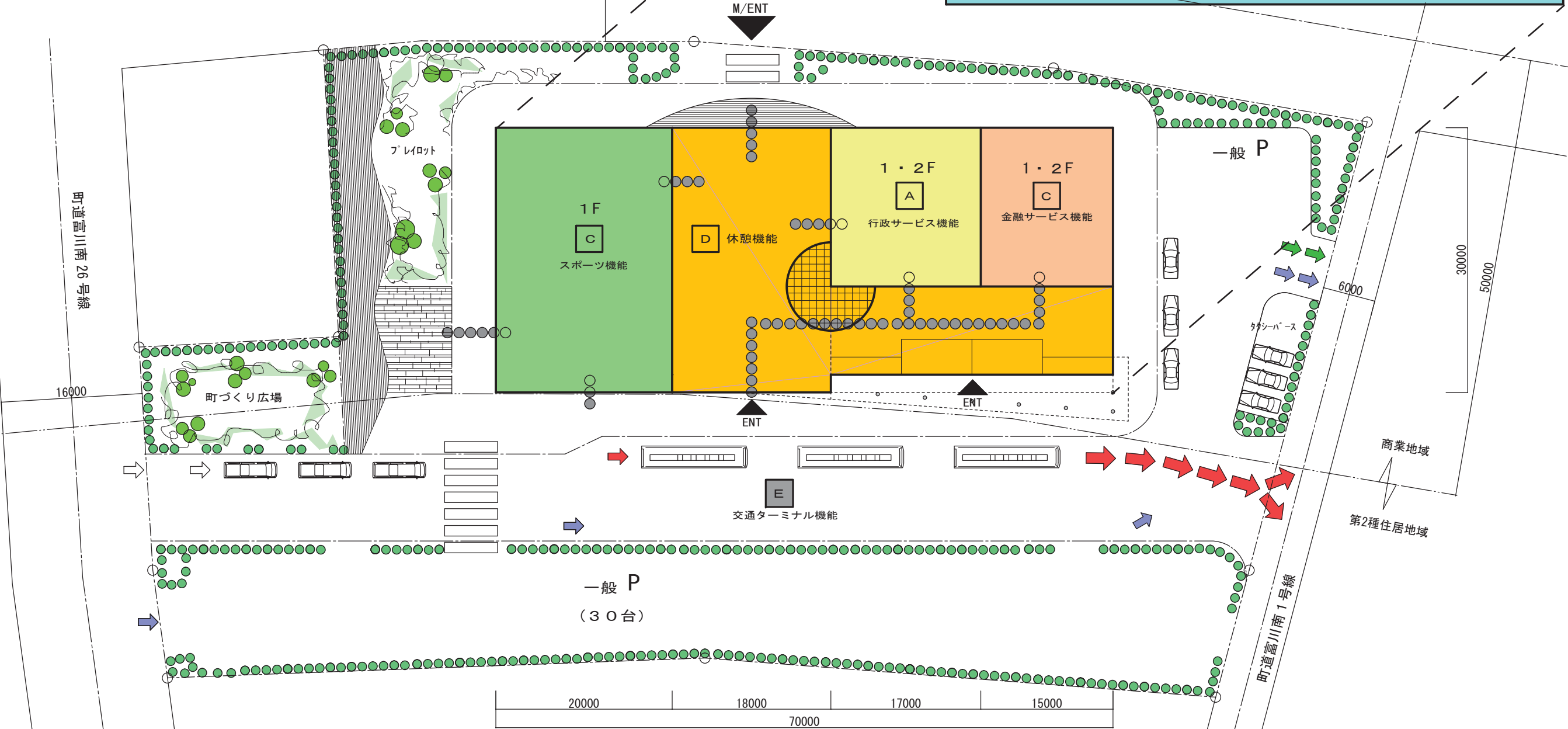


B 集会機能		A 行政サービス機能		F 金融サービス機能	
C スポーツ機能	E 休憩機能	A 行政サービス機能	F 金融サービス機能	F 金融サービス機能	F 金融サービス機能

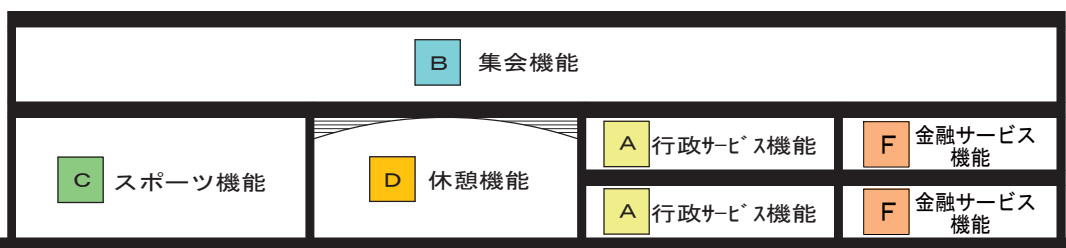
図32 イメージ図 (C街区)

スイッチバック案

信号機の移設



街区 PLAN : 1/500



SECTION : 1/500

通り抜け案

図33 イメージ図 (C街区)

IV. 整備方針の検討

ここでは、「若者や町民が集まるにぎわいの核づくり」のために町内の若者を中心として組織した基本構想策定部会（部会）が、ワークショップ方式により検討などを積み重ねることにより、地域のニーズを反映した基本構想案の策定経過を整理します。

部会は、第3章で整理した「拠点施設の機能」、「検討街区の設定」及び「各街区のイメージ図」をたたき台として、以下の検討フローに基づき実施しました。

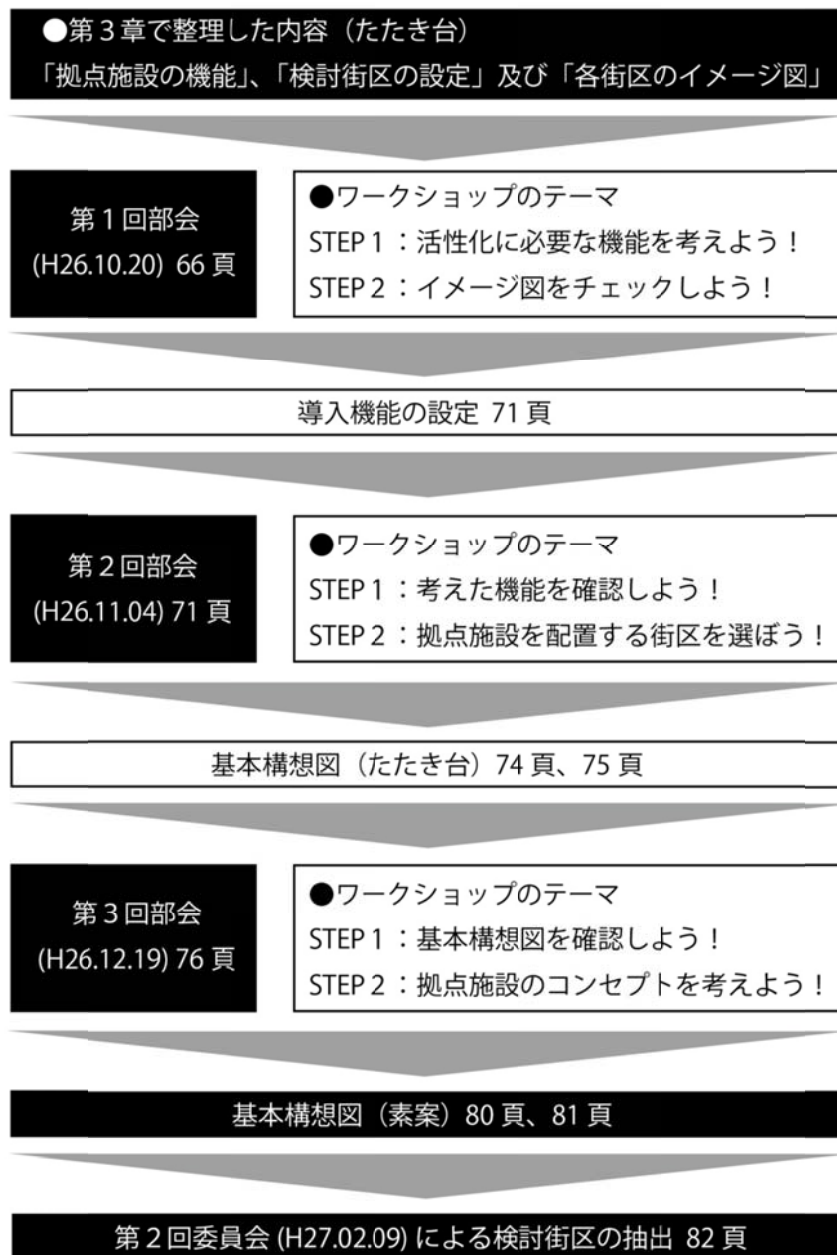


図34 ワークショップ会議での検討フロー

IV-1. 第1回ワークショップ

(1) 日時・参加者

日 時 平成26年10月20日(月) 午後6時30分から8時30分

場 所 富川公会堂 大会議室

参加人数 富川市街地活性化基本構想策定部会員22名

講師 慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所 村瀬博昭

テーブルマネージャー 小樽商科大学商学部 岡島正幸 田口昭吾 天田微果

藤田菜央 堀内雄太

(2) 検討テーマ

**活性化に必要なキ/ウを考えよう！
イメージ図をチェックしよう！**

ワークショップの風景



(3) ワークショップ結果

●村瀬博昭講師の講評

- ・初めは突拍子もないことから最後には大変素晴らしいものになっている
- ・グループを跨ぐとより良いものが見えてきている 大きなスクリーン、パブリックビューイング =町長が一押しの映画館
- ・非常に過去にはないぐらい実現可能なまとめが出たと思う
- ・ちち、はは、こ、じじばば 項目出しが特徴
- ・遊びで屋内遊具など、今後、日高町を背負っていく出席している若い世代に必要なものは、入れるべきと考える
- ・ちょっと寄って系、出会い系など面白い意見 出会いは町民同士の出会い、一丸となってスクリーンで映し出されたスポーツを応援
- ・子供系、親子の交流拠点 子供を連れてこれない場所に何度も来られない
- ・行きやすい交流拠点として、子供は中心から外せない
- ・娯楽系、交流系 昼は親子で、夜は自分が楽しむ
- ・学び系みたいなものも、出てきている

●A、B、C及びDグループからの発表

[Aグループ]

- ・体育系 水遊び、アルパカ、足湯
- ・★最重要 子供と遊べる=カフェ、リラックス
- ・セレモニーホール

[Bグループ]

- ・★パブリックビューイング→オリンピック選手、誰かを応援
足場、相乗りタクシー、苦信、動く歩道
- ・出会い系、ちょっと寄って系

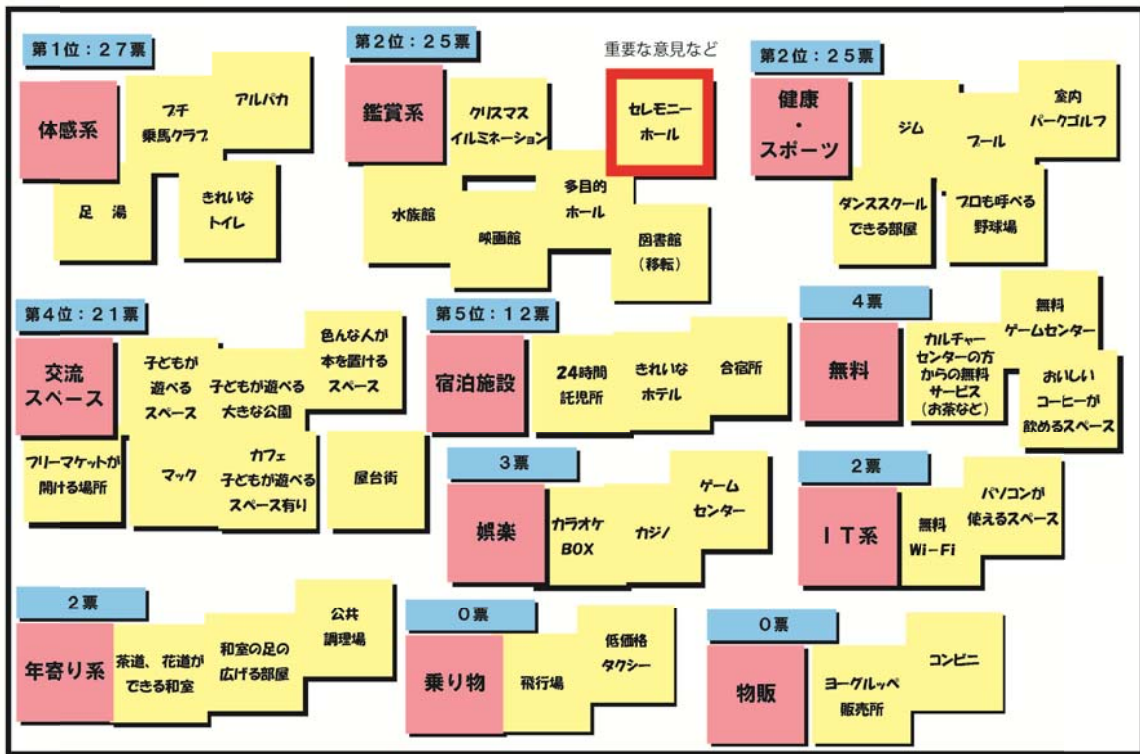
[Cグループ]

- ・遊び系・・・・・・屋内遊具
- ・交流系・・・・・・大きなスクリーン、競馬、町内情報発信

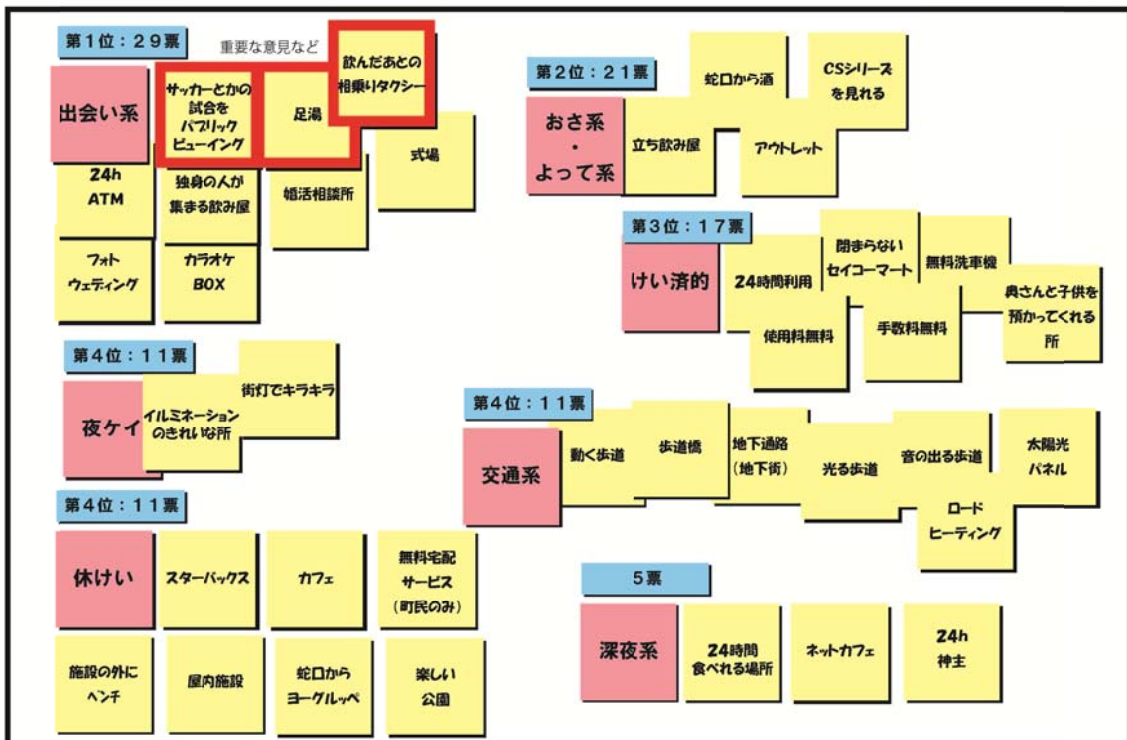
[Dグループ]

- ・子供中心、来たくなる公園、ロッククライミング、バッティング、スポーツ、親がTSUTAYAで子供の様子を見られる空間、
函館にある大きなTSUTAYA
- ・お年寄り、ぼーっとできる、休憩、マンション
- ・水族館、食べられる

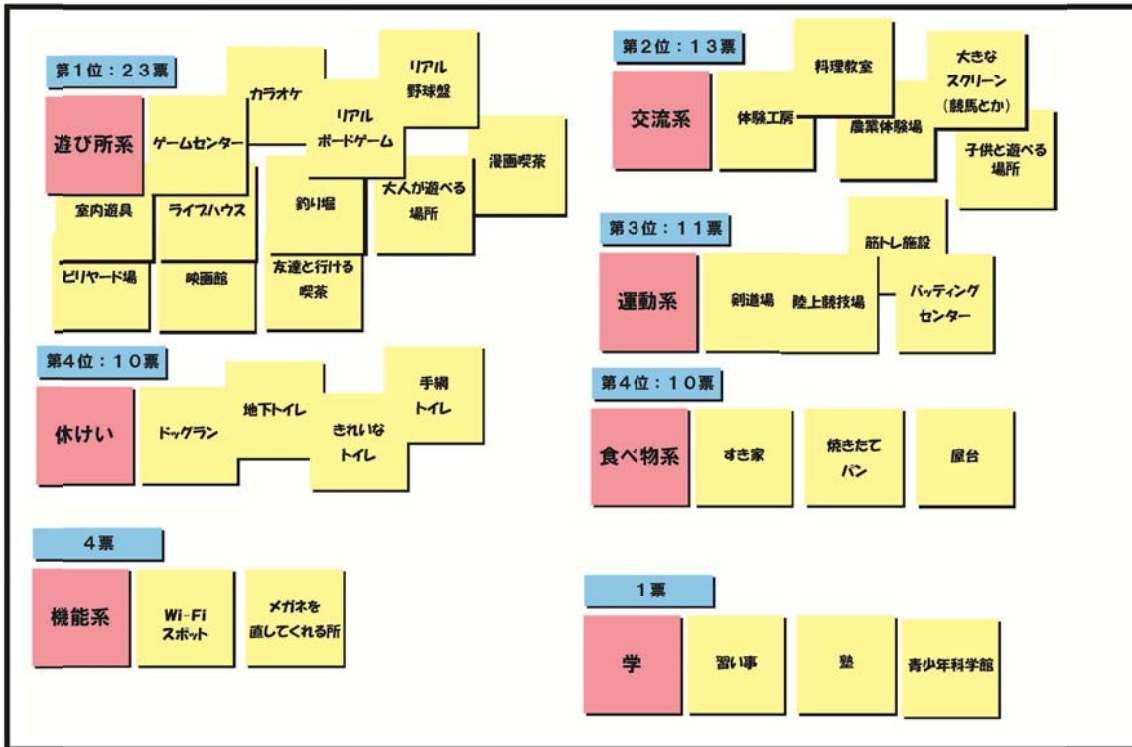
●Aグループ



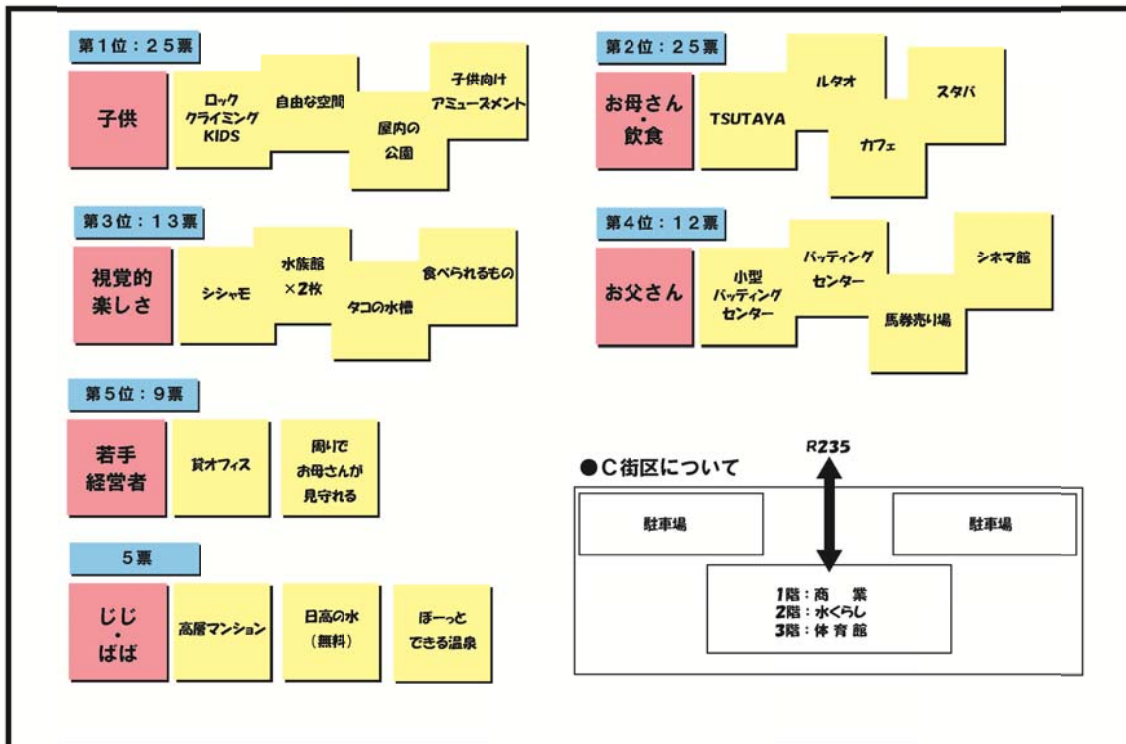
●Bグループ



●Cグループ



●Dグループ



(5) 導入機能の設定

たたき台		第1回ワークショップによるアイデア、意見：A, B, C, D:グループ名	ワークショップ結果を踏まえた拠点施設の機能
A. 行政サービス機能			A. 行政サービス機能
役場支所	・全町的な行政サービス機能の配置		役場支所 全町的な行政サービス機能の配置
観光協会	・日高町観光協会等による全町的な観光情報の発信	C農業体験場(斡旋)	観光協会 日高町観光協会等による 農業体験など 全町的な観光情報の発信
商工会議所	・商店街、大型商業施設の近接性を活用した日高町商工会によるまちなか情報の発信 など	B婚活相談所	商工会議所 商店街、大型商業施設の近接性を活用した日高町商工会によるまちなか情報の発信、 結婚相談所の開設
B. 集会機能			B. 集会機能
展示場	・多機能ホール(500人規模、座席可動式、映画鑑賞可)、展示場(6次産業化による商品開発)や斎場としても活用	Aセレモニーホール、A多目的ホール、B式場	展示場 多目的 セレモニー ホール(500人規模、座席可動式、映画鑑賞可)、展示場(6次産業化による商品開発)や 結婚式場 、葬祭場としても活用
研修室各種工房	・研修室、食品工房、多目的工房、IT交流室、交流談話室	A茶道華道ができる部屋、A和室の足の広げる部屋、A公共調理場、C体験工房、C料理教室	研修室各種工房 研修室、食品工房(調理室・料理教室開催)、多目的体験工房、IT交流室、交流談話室(和室、茶道、華道など)
C. スポーツ機能			D. 青少年アミューズメント機能 1年を通して、体を動かす”遊び”の空間(屋内)
スポーツ	・多目的ホール(バレー、バスケット、テニス、バトミントン)	Aジム、Aプール、Aダンススクールできる部屋、A屋内パークゴルフ、C筋トレ施設、CDパテティングセンター	スポーツ 多目的ホール(バレー、バスケット、テニス、バトミントン、 屋内パークゴルフ) ・健康ジム、温水プール、スタジオ(ダンス教室) ・ パテティングセンター
室内公園	・キッズパーク、幼児プレイルーム	A子どもが水遊びできるスペース、B楽しい公園、B屋内施設、C屋内遊具、DロッククライミングKIDS、D自由な空間、D屋内の公園、D子供向けアミューズメント、D周りでお母さんが見守れる	室内公園 子供向けアミューズメントとして室内遊戯広場や公園(コンビネーション遊具、 キッズロッククライミング)、水遊び場、お母さんが見守れる 休憩施設
遊戯場	なし	ABCカラオケボックス、Aカジノ、ACゲームセンター、Cライブハウス、C大人が遊べる場所、Cビリヤード場、A無料ゲームセンター、Cリアルボードゲーム、Cリアル野球盤、D馬券売り場、C釣堀	遊戯場 大人が遊べる機能として、カラオケボックス、カジノ、(無料)ゲームセンター(ビリヤード場、リアルボードゲームや 野球盤)、ライブハウス、ビリヤード場、馬券売り場、釣り堀など
D. 休憩機能			D. 休憩機能
休憩	・アトリウム(各機能おしを一体的に結び付ける潤いのある快適な空間、親水空間)、バス待合所	B足湯、A足湯、Dポットできる温泉	休憩 アトリウム(各機能おしを一体的に結び付ける潤いのある快適な空間、 親水空間、足湯)、バス待合所
広場	・屋外に住民参加で形づくっていくまちづくり広場(花壇、展示、イルミネーションなど)	Aクリスマスイルミネーション、Bイルミネーションのきれいな所、B街灯でキラキラ、B光る歩道、B音の出る歩道、B施設外にベンチ、Bフォトウェディング、B24h神主、B動く歩道、B歩道橋、B地下通路(地下街)、Bロードヒーティング、Aフリマが開ける場所	広場 屋内外に住民参加で形づくっていくまちづくり広場(花壇、展示、イルミネーションなど 光による演出)、エレベータ、エスカレーター
スクリーン	なし	Bサッカーとかの試合をパブリックビューイング、BCSシリーズを見られる、A映画館、C映画館、Dシネマ館	スクリーン 大型スクリーンやパブリックビューによる 日高の情報発信
水の演出	なし	AD水族館、Dシシャモ、Dタコの水槽、D食べられるもの	水の演出 水槽など水の演出
日高町ならではの	なし	B蛇口からヨーグルッペ、D日高の水(無料)、Aカルターセンターからの無料サービス(お茶など)	日高町ならではの 日高町ならではの 無料サービス
その他	なし	ACきれいなトイレ、C手網トイレ、C地下トイレ、AC無料Wi-Fi、A(誰もが)パソコンが使えるスペース、B24hATM、B24時間利用	その他 トイレ、インターネット、Wi-Fi利用が可能
E. ターミナル機能(交通結節点機能)			E. ターミナル機能(交通結節点機能)
バス	・幹線バス(道南バス)8路線、フィーダー系統バス(町営バス)3路線への連絡及び各乗継ぎに配慮	A低価格のタクシー、B飲んだあとの相乗りタクシー	バス 幹線バス(道南バス)8路線、フィーダー系統バス(町営バス)3路線への連絡及び各乗継ぎに配慮、 自宅前送迎としての乗合タクシー運行
タクシー	・タクシー乗降スペース		タクシー タクシー乗降スペース
自家用車	・自家用車駐車場の確保		自家用車 自家用車駐車場の確保
F. 金融サービス機能			C. 金融サービス商業機能
金融	・苫小牧信用金庫		金融 苫小牧信用金庫
コンビニ	・コンビニエンスストア	B閉まらないセイコーマート	コンビニ 24時間コンビニエンスストア
飲食	・グルメ(小規模)	Aおいしいコーヒーが飲めるスペース、Aヨーグルッペ販売所、BDスターバックス、BDカフェ、C漫画喫茶、C友達と行ける喫茶、B24時間食べられる場所、Cすき家、C屋台、C焼きたてパン、Dルタオ、Bネットカフェ	飲食 カフェ(スターバックス、漫画喫茶、ヨーグルッペ販売)、ファーストフード店(すき家など)、屋台(立ち飲み、独身、飲み放題)、パン屋、お菓子(ルタオなど)、居酒屋、その他24時間営業の飲食店
酒場	なし	B立ち飲み屋、B独身の人が集まる飲み屋、B蛇口から酒	
店舗	・ショップ(小規模)	Bアウトレット、TSUTAYA、Cメガネを直してくれる所、B無料洗車機	店舗 商業店舗(アウトレット、レンタルビデオ、メガネ屋、無料洗車場など)
●新しい機能		●新しい機能	●新しい機能
宿泊機能	なし	Aきれいなホテル、A合宿所	
住機能	なし	Dマンション高層	合宿ができるホテル集合住宅など住機能を併設、動物がいる子どもが遊べる大きな公園など
公園広場	なし	A子どもが遊べる大きな公園、Aブチ乗馬クラブ、Aアルパカ	
図書	・図書兼交流室(子供のための図書、絵本に特化)	A図書館、Aいろんな人が本をおけるスペース	図書 図書兼交流室(子供のための図書、絵本に特化)
学習機能	なし	C習い事、塾、青少年科学館	学習機能 習い事や塾、青少年科学館
二葉保育所は、現在の位置で配置を検討		子育て支援施設	●子育て支援機能
保育園	保育園は、安心・安全な環境に配置することが望ましいと判断して、全町的な活性化を目的とする本複合施設とは切り離して検討	A24時間託児所、B奥さんと子どもを預かってくれる所	保育園 認定保育所、一時保育所(24時間)
その他	なし	A飛行場、B使用料無料、B手数料無料、B太陽光パネル、B無料宅配サービス(町民のみ)、Aプロも呼べる野球場、Cドックラン	その他 飛行場、資料料無料、太陽光パネル、無料宅配サービス、正式な野球場、ドックランなど

IV-2. 第2回ワークショップ

(1) 日時・参加者

日 時 平成 26 年 11 月 4 日 (火) 午後 6 時 30 分から 9 時 00 分

場 所 富川公会堂 大会議室

参 加 人 数 富川市街地活性化基本構想策定部会員 23 名

講 師 慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所 村瀬博昭

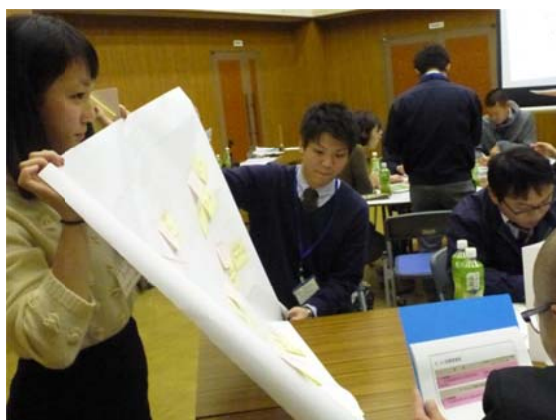
テーブルマネージャー 小樽商科大学商学部 田口昭吾 朝倉若菜 天田微果

菅沼康太 松本圭吾

(2) 検討テーマ

**配置する機能を確認しよう！
拠点施設を配置する敷地としてふさわしい街区を選ぼう！**

(3) ワークショップの風景



(4) 拠点施設に配置する機能

第1回ワークショップ結果を踏まえた拠点施設の機能		第2回ワークショップstep1で重要と考えた項目				「拠点施設」として整理する機能	「商業娯楽ゾーン」として整理する機能	「住居ゾーン」として整理する機能	「他地区で検討するもの」として整理する機能
		Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ				
A. 行政サービス機能		A. 行政サービス機能				A. 行政サービス機能			
役場支所	・交通結節点機能集約による利便性を活用した全町的な行政サービス機能の配置 ・日高町水・くらしサービスセンター	なし (行政サービス機能があると施設を利用しにくくなるのでは)	農業体験、結婚相談所の開設 大人だけでなく子供も農業体験	なし	なし	・「水」と「くらし」サービスセンター機能の内、「くらし」の機能 ・保健センター ・日高町観光協会 ・日高町商工会	-	-	「水」と「くらし」サービスセンター機能の内、「水」の機能
観光協会	・日高町観光協会等による 農業体験 など全町的な観光情報の発信								
商工会議所	・商店街、大型商業施設の近接性を活用した日高町商工会等によるまちなか情報の発信、 結婚相談所の開設								
B. 集会機能		B. 集会機能				B. 集会機能			
展示場	・多目的 セレモニー ホール(500人規模、座席可動式、映画鑑賞可)、展示場(6次産業化による商品開発)や 結婚式場 、葬祭場としても活用	セレモニーホール(多目的ホール)	式場にもスポーツする場所にも何にでも使用できるので、多目的セレモニーホールがいい	多目的(セレモニー)ホール	研修室、多目的ホール、調理室	・多目的セレモニーホール(展示、葬儀、挙式、映画:可動座席) ・研修室、各種工房	-	-	-
研修室各種工房	・研修室、食品工房(調理室・料理教室開催)、多目的体験工房、IT交流室、交流談話室(和室、茶道、華道など)								
D. 青少年アミューズメント機能		D. 青少年アミューズメント機能				D. 青少年アミューズメント機能			
スポーツ	・多目的ホール(バレー、バスケット、テニス、バドミントン、 屋内パークゴルフ) ・健康ジム、温水プール、スタジオ(ダンス教室) ・バレーセンター	子供向けアミューズメント、公園、水遊び場	子供たちが楽しめるロッククライミング設備と、近くにお母さんが見守れる休憩室があると良い(Dの足湯につなげて良い)	温水プール、バレーセンター	お母さんが子どもを見守れる室内広場、バレーセンター(管内にないため)	・多目的ホール(バレー、バスケット、テニス、バドミントン) ・子供向けアミューズメントとして室内遊戯広場(コンビネーション遊具、キッズロッククライミング) ・スタジオ(ダンス教室)	・バレーセンター ・大人が遊べる機能として、カラオケボックス、(無料)ゲームセンター(ビリヤード場、リアルボードゲームや野球盤)、ライブハウス、ビリヤード場、馬券売り場、釣り堀など	-	・健康ジム(総合町民センター、とねこの湯) ・温水プール ・屋内パークゴルフ ・カジノ
室内公園	・子供向けアミューズメントとして 室内遊戯広場 や 公園 (コンビネーション遊具、キッズロッククライミング)、水遊び場、お母さんが見守れる休憩施設								
遊戯場	・大人が遊べる機能として、カラオケボックス、カジノ、(無料)ゲームセンター(ビリヤード場、リアルボードゲームや野球盤)、ライブハウス、ビリヤード場、馬券売り場、釣り堀など								
D. 休憩機能		D. 休憩機能				D. 休憩機能			
休憩	・アトリウム(各機能おしを一体的に結び付ける潤いのある快適な空間、親水空間、足湯)、バス待合所	大型スクリーン(集会機能?)、トイレ、Wi-Fi	パブリックビューイングはやっぱり欲しい。地元一体感が出るだろう。競馬やスポーツに興味を持ち、将来地元で貢献する人材が輩出されるかも足湯があると嬉しい	パブリックビューイング、映画館、Wi-Fi+休憩所	日高町無料水	・アトリウム:休憩施設、足湯、イルミネーション、パブリックビュー、水槽、トイレ、インターネット環境(IT交流室、Wi-Fi)、花壇、展示板 ・日高町ならではのサービス ・エレベーター、エスカレーター:必要に応じて	-	-	-
広場	・屋内外に住民参加で形づくっていくまちづくり広場(花壇、展示、イルミネーションなど 光による演出)、エレベーター、エスカレーター								
スクリーン	・大型スクリーンやパブリックビューによる日高の情報発信								
水の演出	・水槽など水の演出								
日高町ならではの	・日高町ならではの無料サービス								
その他	・トイレ、インターネット、Wi-Fi利用が可能								
E. ターミナル機能(交通結節点機能)		E. ターミナル機能(交通結節点機能)				E. ターミナル機能(交通結節点機能)			
バス	・幹線バス(道南バス)8路線、フィーダー系統バス(町営バス)3路線への連絡及び各業種に配慮、 自転車の送迎	乗合タクシーは不要だがタクシーの運行は必要	大まかに方面を分けた相乗りタクシー、将来地元に貢献する自家用車駐車場	飲んだあとの相乗りタクシー、自家用車駐車場	駐車場	・バスターミナル(道南バス、町営バス) ・乗合タクシー、一般タクシー ・自家用車駐車場	・自家用車駐車場(商業等施設と兼用できる)	-	-
タクシー	・タクシー乗降スペース								
自家用車	・自家用車駐車場の確保								
F. 金融サービス商業機能		F. 金融サービス商業機能				F. 金融サービス商業機能			
金融	・苫小牧信用金庫	ファーストフード店	TSUTAYAやWi-Fiの要望が多いので、屋はネットカフェ、夜は飲み屋になるお店がいい	TSUTAYA、カフェ、ファーストフード(マック、すき家、ピザ宅配)	苫小牧信用金庫(金融機関が欲しい)、スターバックス、カフェ、TSUTAYA(どうしてもほしい)	・苫小牧信用金庫 ・コンビニエンスストアなど商業テナント ・ショップ&グルメ(小規模:カフェ、パン屋など) ・屋台ができるスペース	・コンビニエンスストア ・カフェ(スターバックス、漫画喫茶、ヨーグルツ販売)、ファーストフード店(すき家など)、屋台(立ち飲み、独身、飲み放題)、パン屋、お菓子(ルタオなど)、居酒屋、その他24時間営業の飲食店 ・商業店舗(アウトレット、レンタルビデオ(TSUTAYA)、メガネ屋、無料駐車場)	-	-
コンビニ	・24時間コンビニエンスストア								
飲食	・カフェ(スターバックス、漫画喫茶、ヨーグルツ販売)、ファーストフード店(すき家など)、屋台(立ち飲み、独身、飲み放題)、パン屋、お菓子(ルタオなど)、居酒屋、その他24時間営業の飲食店								
店舗	・商業店舗(アウトレット、レンタルビデオ、メガネ屋、無料駐車場など)								
●新しい機能		●新しい機能				●新しい機能			
図書	・図書兼交流室(子供のための図書、絵本に特化)	習い事や塾	地元の人が先生になるような交流ができる教室があればいい	学習機能	なし	・図書兼交流室(子供のための図書、絵本に特化) ・交流教室(地元の人が先生)	・習い事や塾	-	・青少年科学館
学習機能	・習い事や塾、青少年科学館								
・合宿ができるホテル集合住宅など住機能を併設、動物がいる子どもが遊べる大きな公園など									
●子育て支援機能		●子育て支援機能				●子育て支援機能			
保育園	・認定保育所、一時保育所(24時間)	一時保育所(24時間でも良い)	避難所を兼ねた、雑魚寝ができるような合宿所があるといい	宿泊機能(飲んだあと寝るところ)、託児所、太陽光	太陽光パネル	・一時保育所 ・太陽光パネル	・宿泊施設 ・太陽光パネル	・太陽光パネル	・動物がいる公園、子どもが遊べる大きな公園 ・合宿所 ・飛行場、使用料無料、太陽光パネル、無料宅配サービス、正式な野球場、ドックランなど
その他	・飛行場、使用料無料、太陽光パネル、無料宅配サービス、正式な野球場、ドックランなど								

(5) 街区の選定結果 青字：街区により差別化を図れるもの

第2回ワークショップstep2による拠点施設に必要な機能が実現できる敷地要件

項目	設備	アクセス	環境	その他
Aグループ	(22票) 既存商業施設との連携 (20票) 凍らない駐車場 (18票) 防災・防犯 (12票) Aコープとみかわ店との連携 (07票) 夏涼しく、冬暖かい (02票) エレベーター (02票) 外観がきれい (01票) ベビーカー (00票) 苫小牧信用金庫との連携	(26票) 出入り口が広い (17票) 駐車場が広い (16票) 国道との一体整備 (09票) 歩行者と自転車の分け (06票) 路線バスの連絡性 (03票) 一体的な敷地利用が可能 (02票) 国道に面している広さ (01票) 自動車交通動線 (00票) 歩行者交通動線、交通拠点性	(22票) 清潔感 (21票) 緑が多い (21票) 街灯が明るい (15票) 分煙対策 (11票) 騒音対策	(29票) 老朽建物地区の更新 (23票) 権利調整が有利 (20票) 空地が点在する状態の解消
Bグループ	(24票) 外観が派手 (22票) 広い (20票) 既存商業施設との連携 (15票) 広い歩道 (12票) 大きな看板屋時計 (08票) ムードのある照明 (06票) 防犯 (05票) 防災無線 (04票) 街灯多数 (02票) 鐘 (00票) 大きめの窓、苫小牧信用金庫との連携、ベビーカーの貸し出し、バス時間になる何か(お知らせする)	(38票) 広い駐車場 (22票) 複数の箇所から入れる道 (14票) スムーズな交通 (12票) 歩行者交通動線 (11票) 自動車交通動線 (08票) 路線バスの連絡性 (07票) 国道との一体整備 (05票) 近くに住宅地がある (02票) マンション (01票) 交通拠点性 (00票) 国道に面している広さ、待ち時間が少ない	(31票) きれいなトイレ (26票) 安全 (22票) 除雪がしっかりとされている駐車場 (15票) 一体的な敷地利用が可能 (10票) 緑があったほうがいい (08票) ほかほか (03票) 出入り口が多い (02票) やわらかな床 (02票) エスカレーター (01票) いい匂い	(33票) 老朽建物地区からの更新 (31票) 空地が点在する状態の解消 (27票) 権利調整が有利 (21票) 行くとオマケがある
Cグループ	(20票) 防犯カメラ駐車場 (10票) 夜遅くまでやっている (09票) Wi-Fi (06票) エスカレーター、エレベーター (04票) 明るい大きめの窓 (03票) 空が見えるアーケード (02票) 冷暖房完備 (02票) 苫小牧信用金庫との連携 (01票) 防災 (01票) 動く歩道 (01票) 既存商業施設との連携 (01票) 可愛い制服オペレーター (00票) ふかふかのイス、段差のない建物、お知らせベル、凹凸のない舗装と駐車場、きれいな受付嬢、すべらない舗装、座敷、防音、24時間、冷たい水と暖かいお茶、接触交通事故がない駐車場	(14票) 渋滞が起きない (13票) 路線バスの連絡性 (09票) 自動車交通動線 (07票) 車と人の分離 (07票) 信号で待たなくて入れる (05票) 歩行者交通動線 (04票) 国道に面している広さ (01票) 交通拠点性 (00票) 国道拡幅との一体整備	(14票) 分煙 (11票) きれい (10票) ひろい (10票) わかりやすい (06票) 安全 (04票) おしゃれな外観 (03票) カッコ良い音楽 (02票) 暖色 (00票) いい匂い、落ち着く、かっこいい、一体的な敷地整備が可能	(17票) 権利関係が有利 (13票) ポイント制 (13票) 空地が点在する状態の解消 (11票) 老朽建物地区からの更新 (06票) Aコープとみかわ店との連携
Dグループ	(21票) きれいなトイレ (18票) デジタルサイネージ発信 (16票) カメラ防犯 (09票) 授乳室 (09票) 相席できるづくり (05票) 常に音楽が聞こえる (04票) 大きい看板、電光掲示 (02票) おしゃれな机とイス (02票) ベビーカー (01票) 苫小牧信用金庫との連携 (00票) 防災無線、既存商業との連携	(19票) 自動車交通動線 (16票) 交通拠点性 (15票) 歩行者交通動線 (14票) 国道に面している広さ (09票) 路線バスの連絡性 (07票) 左折で入れる (06票) ロードヒーティング (02票) アーケード (01票) 国道拡幅との一体整備 (00票) 信号がある、立体駐車場	(17票) おしゃれな外観 (14票) ガラス張り (13票) 日当たり良好 (10票) エスカレーター (10票) 出口がいっぱい (05票) 一体的な敷地利用が可能 (04票) 分煙(タバコ) (04票) エレベーター (03票) 壁が少なく見晴らしが良い (02票) 緑が多い (00票) 六花亭、インフォメーションセンター、やわらか床(怪我しない)、らせん階段	(26票) 空地が点在する状態の解消 (21票) 権利調整が有利 (19票) 老朽建物ちくからの更新 (13票) スタンプ貯まる (11票) 屋上に農園

街区の方向性

グループ発表	講評
B街区 ●理由 ・駅から一直線でわかりやすい、広いので駐車場を広くとれる、環境でAコープとみかわ店裏に緑がる	<p>●B街区が2グループ、C街区が2グループ</p> <p>●B街区のメリットは、将来的な拡張性、駐車場の利便性</p> <p>●C街区のメリットは、広域的な利便性とアピール度が高いが、町道の拡幅と奥行を広げられないかが課題</p> <p>●他の敷地要件について ○維持管理上の点数が高かった ・例えば、きれいなトイレ、除雪がしっかりとできる、凍らない駐車場、防犯、出入り口が広い、分煙対策など</p> <p>○一方で、冒険できることはトライしてみようと感じられた ・例えば、相席できる場所、おしゃれな外観、夜遅くやっているなど</p> <p>●全体として 少なくとも、街区選定の方向性は出たと思う</p>
条件付きでC街区 ●理由 ・外観を派手にすると人を引き付けられやすい ●課題 ・苫小牧信用金庫の駐車場等をつぶして国道237号交差町道の拡幅が必要 ●C街区 ・BとCでもめた ・広く使える、お年寄りが連絡しやすい、子どもを預けて買物できる	
B街区 ●理由 ・4項目を合計してB街区に決定 ・広げること(拡張性)ができるため、駐車場を充実させることが可能 ・国道から外れているため渋滞を避けることができる ●課題 ・心配事として、町内の人にはメリットがあるが、町外の人には無理	
条件付きでC街区 ●理由 ・BとC中心に話した ・B街区は広い計画はできるが、国道から遠く目立ちづらい ・結果としてCとした ●課題 ・現段階のCではちょっと小さい ・奥行をもっと確保し、町道を拡幅することが必要	

拠点施設検討街区

- B街区とC街区を検討街区として設定する
- ・富川市街地内からの連絡性などに優れた街区としてB街区を検討街区として設定する
- ・門別地区本町や日高地区等からの連絡性などに優れた街区として、C街区を検討街区として設定する
- B街区について
[一般駐車場]
・多目的ホールなどのピーク時の利用に対応して、Aコープとみかわ店駐車場や北側空地の活用を検討する
- C街区について
[町道拡幅]
・町道の拡幅は、困難
[路線バスのアクセス]
・町道の拡幅が困難なため、路線バスのアクセスはとおり抜けによる動線とする
・通り抜けとするために、現在の富川郵便局前押しボタン信号機は、町道南26号線との交差点に移設することを前提とする
[一般駐車場]
・多目的ホールなどの利用に対応して、青少年会館跡地の活用を検討する
- 一般駐車場台数について
・多目的セレモニーホールと多目的ホールが同時に使用される時をピークとし、自家用車利用率を5割と設定し、総合町民センター及びスポーツセンターの建物及び駐車場面積から算定すると、駐車台数は125台となる

位置図



パブリックビューイング



コンビニエンスストア



ショップ&グルメ



工房



アトリウム



足湯



ダンススタジオ



室内コンピレーション遊具



多目的ホールイメージ



多目的セレモニーホール（座席設置時）



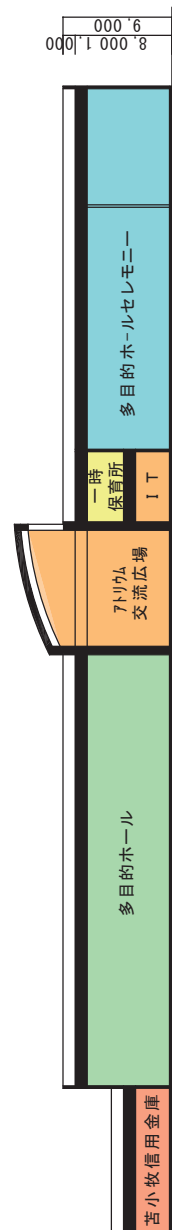
多目的セレモニーホール（座席収納時）



アトリウムイメージ（イルミネーション）

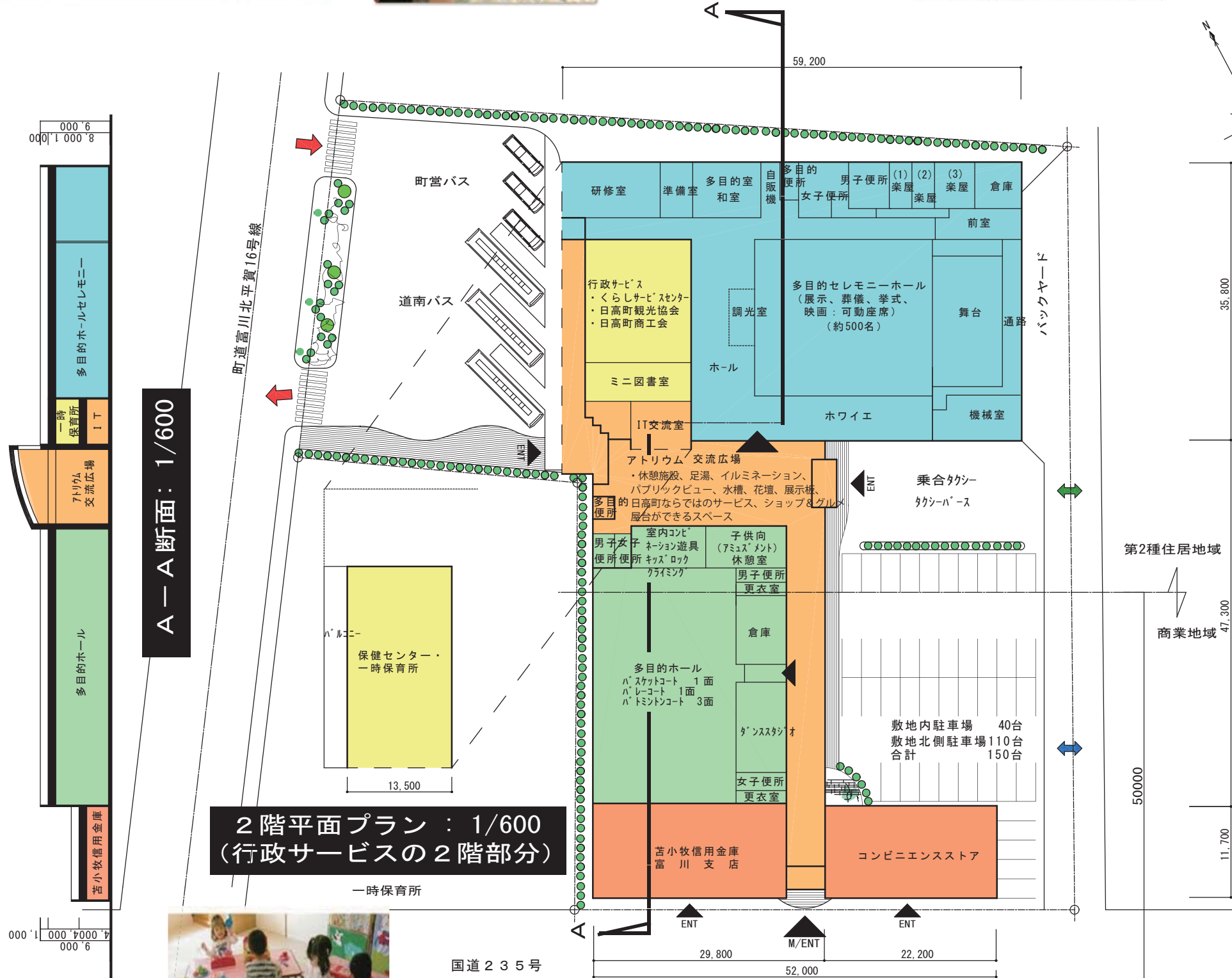


バスターミナルイメージ



A-A断面：1/600

2階平面プラン：1/600
(行政サービスの2階部分)



1階平面プラン：1/600

図35 富川市街地活性化基本構想図
(B街区)(たたき台)

位置図



パブリックビューイング



アトリウム



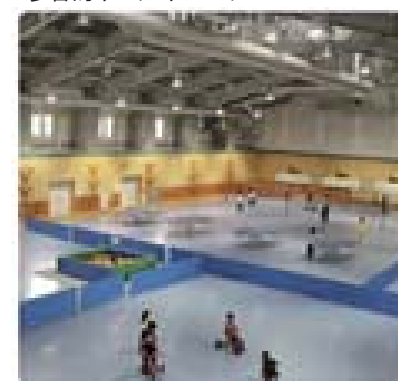
ダンススタジオ



室内コンパニオン遊具



多目的ホールイメージ



多目的セレモニーホール（座席設置時）



多目的セレモニーホール（座席収納時）



アトリウムイメージ（イルミネーション）



バスターミナルイメージ



研修室



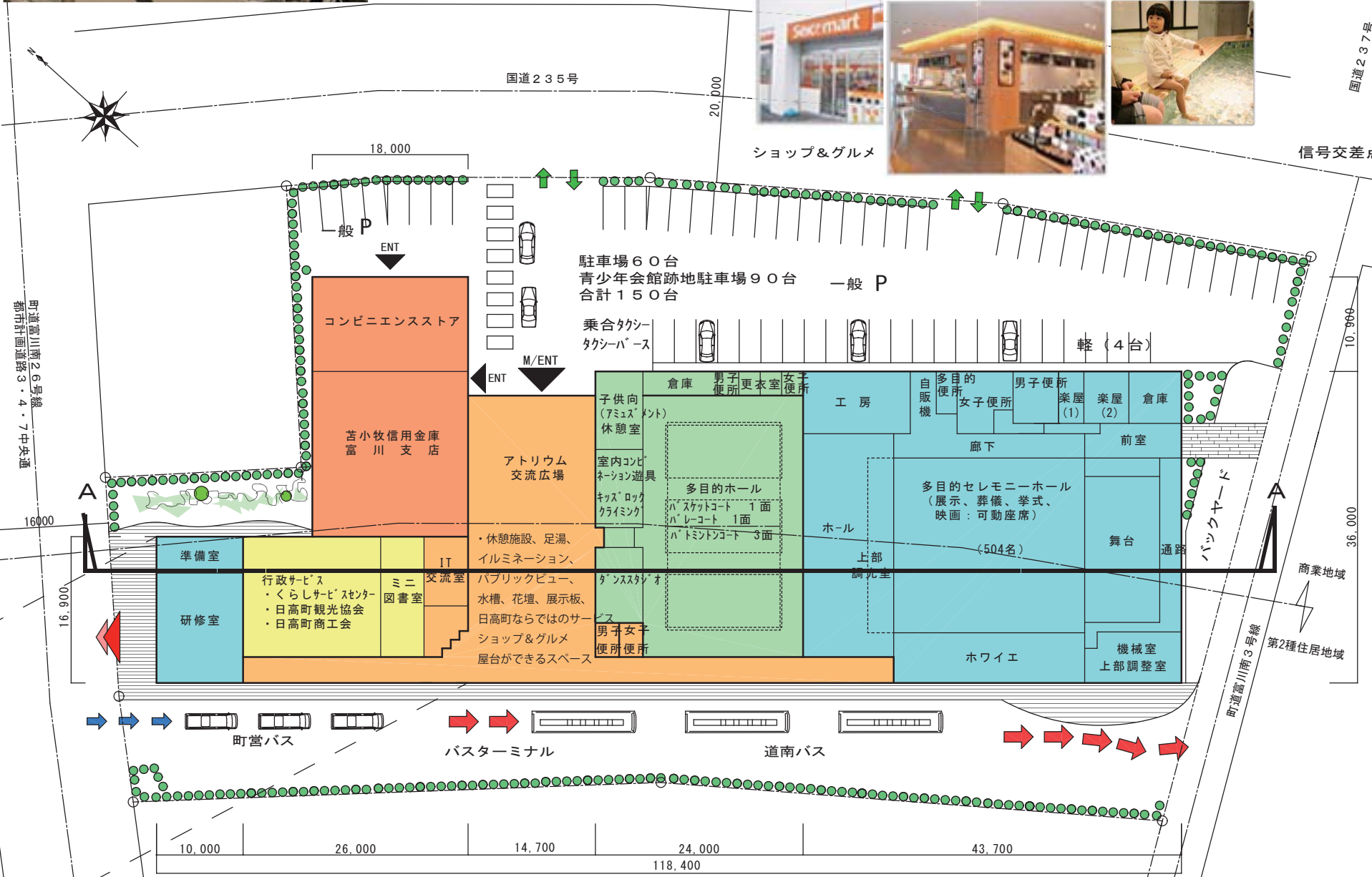
工房



一時保育所

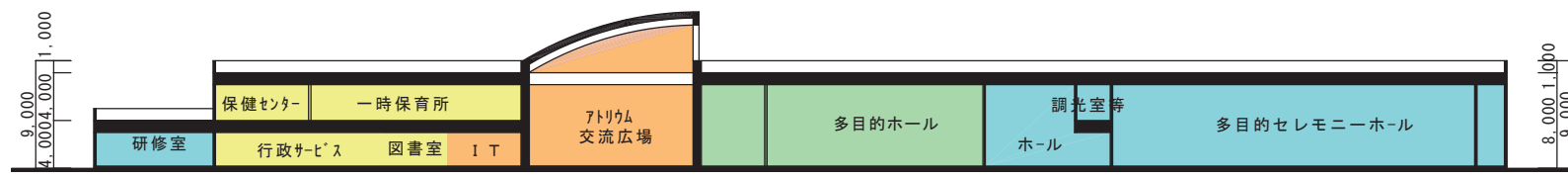


信号交差点（移設）



1階平面プラン：1/600

2階平面プラン：1/600（行政サービスの2階部分）



A-A断面：1/600

図36 富川市街地活性化基本構想図（C街区）（たたき台）

IV-3. 第3回ワークショップ

(1) 日時・参加者

日 時 平成 26 年 12 月 19 日 (金) 午後 6 時 30 分から 9 時 00 分

場 所 富川公会堂 大会議室

参加人数 富川市街地活性化基本構想策定部会員 19 名

講 師 慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究所 村瀬博昭

テーブルマネージャー 小樽商科大学商学部 岡島正幸 田口昭吾

天田微果 嶋田彩花

(2) 検討テーマ

**基本構想図を確認しよう！
拠点施設のコンセプトを考えよう！**

(3) ワークショップの風景



(4) 基本構想図案への質問・要望に対する回答及び反映内容

グループ名 (担当街区)	質 問 ・ 要 望	回 答 及 び 反 映 方 法 (●: 構想図修正等が必要)
Aグループ (B街区)	<ul style="list-style-type: none"> ・土足の範囲（交流広場） ・トイレの配置と大きさ ・コート広さ（バレーボールやバスケットボールが同時にできる広さか？） ・アトリウムから室内遊具で遊んでいる子どもが見えるか ・コンビニエンスストアの正面に駐車場を配置 ・施設（機能）ごとに駐車スペースを確保 ・Aコープとみかわ店への連絡が不便 ・出入り口が不明 ・既存の建物はなくなるかどうか ・会議室が必要 ・交流広場（アトリウム）はもっと大きくていい ・交流広場（アトリウム）は道路から見えて欲しい ・コンビニエンスストアに代替できるものがある（優先低） 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、多目的ホール及び多目的交流施設和室を除き土足可 ・トイレの位置は基本構想図案を参照、トイレ規模は設計等で検討 ・多目的ホールは、バスケットコート1面、あるいは、バレーコート1面、あるいは、バトミントンコート3面のいずれか1種目が使用できる広さで、3種目同時に使用できる広さを有していない ・室内コンビネーション遊具は、アトリウムと子供向休憩室から見えることを想定 ●多目的ホールを90°回転することにより、商業施設をセットバックし、前面に駐車場の配置を検討 ・各施設が兼用できる駐車スペースとすることにより、イベントを含めた土地の有効利用を図る ・建物及び敷地内の主な歩行者動線は、国道とJAをL字で連絡するアトリウム及び通路であり、JAへの連絡性に十分配慮している ●基本構想図に「至JA」など表示して連絡しやすさを表現する ●多目的ホール内から倉庫など各種部屋への出入り口の方向をできるだけ表示する ・青少年会館は対応年数を超過しているため撤去、日高町水・くらしサービスセンター及び公会堂は他の利用を検討している ・研修室が会議室として利用可能 ●多目的ホールの向きを変えることにより、アトリウムを広く確保することが考えられる ●国道沿いに商業施設と併せてアトリウムを配置する ●他の機能の配置が可能かを検討する（後述で直売所を併記）
Bグループ (C街区)	<ul style="list-style-type: none"> ・IT室と図書室を一つにする（ネットカフェ風） ・研修室と行政サービスは交換（行政サービスが目立たない） ・多目的ホール及びセレモニーホールに上階（3階）をつくる ・エレベーターと階段を入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ●IT室と図書室を一つにする ・ネットカフェは商業娯楽ゾーンで別途整理と考えている ・住民の窓口業務として他の機能との兼ね合いに配慮しながら建物の中央にできるだけ寄せて配置している ●行政サービスがアトリウムに広く接するように配置する ・展望スペースの活用を含め、今後とも検討する ●一時保育所への階段及びEVを表示する
Cグループ (B街区)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアの駐車場位置を使いやすい位置に配置 ・邪魔にならない進入 ・アトリウムなど賑やかなものをメイン道路沿いに配置 ・子ども用アイテムのリサイクルショップ ・国道から看板が見えづらいので、B案はない 	<ul style="list-style-type: none"> ●前述のとおり、前面に駐車場の配置を検討 ●前述のとおり、商業施設と併せてアトリウムを配置する ・合併特例債で整備が難しいものについては、他の商業娯楽ゾーンで検討 ・看板の配置について検討していく
Dグループ (C街区)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上の活用をしたい ・商店の誘致をしたい ・常時、人が集まる空間にしたい ・多目的ホール、セレモニーホールをなくしたい ・コンビニエンスストアは近くにあるので直売所にして欲しい ・ビアガーデンに活用したいので駐車場を拡大して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・前述のとおり ・合併特例債で整備が難しいものについては、他の商業娯楽ゾーンで検討 ・アトリウムは、オープンスペースとしての活用や管理について検討することにより、常時、人が集まる空間として考える ・多目的ホールは、建物耐用年数が超過している富川青少年会館で、利用頻度も一定程度確保されており、この代替施設として考えている ・セレモニーホールは、第1回及び第2回部会で必要、かつ、重要と整理されているため、部会全体をとおして必要性を検討する必要がある ●コンビニエンスストアと直売所を併記し、今後とも検討していく ・イベントを含めた駐車場の利用について検討していく

(5) 大切な機能に対する現複合施設機能の有無と反映方法

グループ名	大切な機能	基本構想での取り扱い（1票以上について整理）
Aグループ	[1 位]: 25 票 交流広場 [2 位]: 16 票 空き地の有効利用 スペース的に敷地にこだわり過ぎていて配置に無理がある [3 位]: 14 票 防犯カメラ [4位以下]: 11 票 商業施設 苫小牧信用金庫富川支店とコンビニエンスストアの営業時間にはずれがある 09 票 外部から見える（活気が伝わる） 00 票 来店ポイント、駐車場が広い、町外の人向け	<ul style="list-style-type: none"> ・アトリウムを交流広場として対応していく ・空地は駐車場としての活用を含め検討していく ・設備は設計等で検討 ・苫小牧信用金庫富川支店及びコンビニエンスストアで対応 ・国道沿いに商業施設と併せアトリウムを配置する
Bグループ	[1 位]: 29 票 室内コンビネーション遊具 [2 位]: 20 票 ガラス張りカフェ [3 位]: 13 票 ネットカフェ風 [4 位]: 12 票 オープン空間 [5 位]: 10 票 避難所 [6位以下]: 00 票 ソーラー看板、会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年アミューズメント機能として、室内コンビネーション遊具を配置 ・アトリウムの案内コーナーで飲み物販売等を検討 ・ガラスによる区分について検討していく ・ネットカフェは、商業娛樂ゾーンで検討 ・アトリウムをオープン空間として対応していく ・多目的セレモニーホールや多目的ホールで検討していく
Cグループ	[1 位]: 24 票 快適な喫煙所 [2 位]: 16 票 子どもが安全に楽しめる [3 位]: 15 票 避難タワー [4 位]: 08 票 交通整備 [4 位]: 08 票 デジタルサイネージ [6 位]: 05 票 フリースペース [7 位]: 00 票 施設全域にWi-Fi	<ul style="list-style-type: none"> ・設備は設計等で検討 ・拠点施設は子どもが安全に楽しめる建築物として考えている ・多目的セレモニーホールや多目的ホールで検討 ・津波による浸水が想定されないエリアとなっている ・ストリートビューイングでの対応を検討していく ・アトリウムをフリースペースとして対応していく
Dグループ	[1 位]: 25 票 地元商店の直売所 [2 位]: 22 票 室内コンビネーション遊具 [3 位]: 16 票 出先機関（図書館） [4 位]: 13 票 屋上の活用 [5 位]: 10 票 バスの待合兼フリースペース（特定の機能はらない） [6 位]: 03 票 貸事務所 [7 位]: 01 票 フードコート	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアに直売所を併記する ・青少年アミューズメント機能として、室内コンビネーション遊具を配置 ・ミニ図書館として配置機能に位置づけている ・屋上の活用について検討していく ・室内のバス待合スペースに案内看板の設置を検討（発車時刻等） ・アトリウムをフリースペースとして対応していく ・合併特例債で整備が難しいものについては、他の商業娛樂ゾーンで検討 ・アトリウムでの飲食は可能

(6) コンセプトの設定

グループ名	キーワード	コンセプト	基本構想コンセプト (案)
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・親子、子ども、世代間×2 ・安心、安全 ・交流、人が沢山くる ・発展、成長、未来 ・笑顔×2、楽しい 	<p>みんなで、つどう、にぎやか</p> <p>知らない人がいない情報発信基地</p>	<p>笑顔でつながる情報発信基地</p>
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流、元気が出る、若さ、新しい、わくわく、オープニング、よろこび、親子で楽しめる、安心、交流、キラキラ、ほのぼの、情報、みんなで、あふれる、ほっかいどーつながるどーHIDAKAんどー 	<p>人が通路がネットが</p> <p>つながる笑顔キラキラこれでDO?</p> <p>つながる堂HIDAKA. HOKKAIDO. go</p>	
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも、大人も、年寄りも ・ふらっと、楽しめる、用がなくても、行きたい所 ・お家のようなたまり場 		
Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な商店、元気なまち、安心する場所、紀伊国屋書店、助け合い、人が富む、発見、ずっと、LEDで明るく、新鮮、一期一会、バー(お酒)、赤レンガテラス、笑顔、一人でも気軽に、驚き、この空間、ふらっと読書、入りやすい店、もっと、聞いている、会える 	<p>「ずっとある」「だから行く」「何かがある」</p>	

基本構想コンセプト：
笑顔でつながる情報発信基地

位置図



信号交差点
(移設)

研修室



工房



26,000

保健センター・一時保育所

2階平面プラン：1/600
(行政サービスの2階部分)

一時保育所



パブリックビューイング



アトリウム



ダンススタジオ



室内コピケーション遊具



多目的ホールイメージ



多目的セレモニーホール (座席設置時)



多目的セレモニーホール (座席収納時)



アトリウムイメージ
(イルミネーション)



バスターミナルイメージ

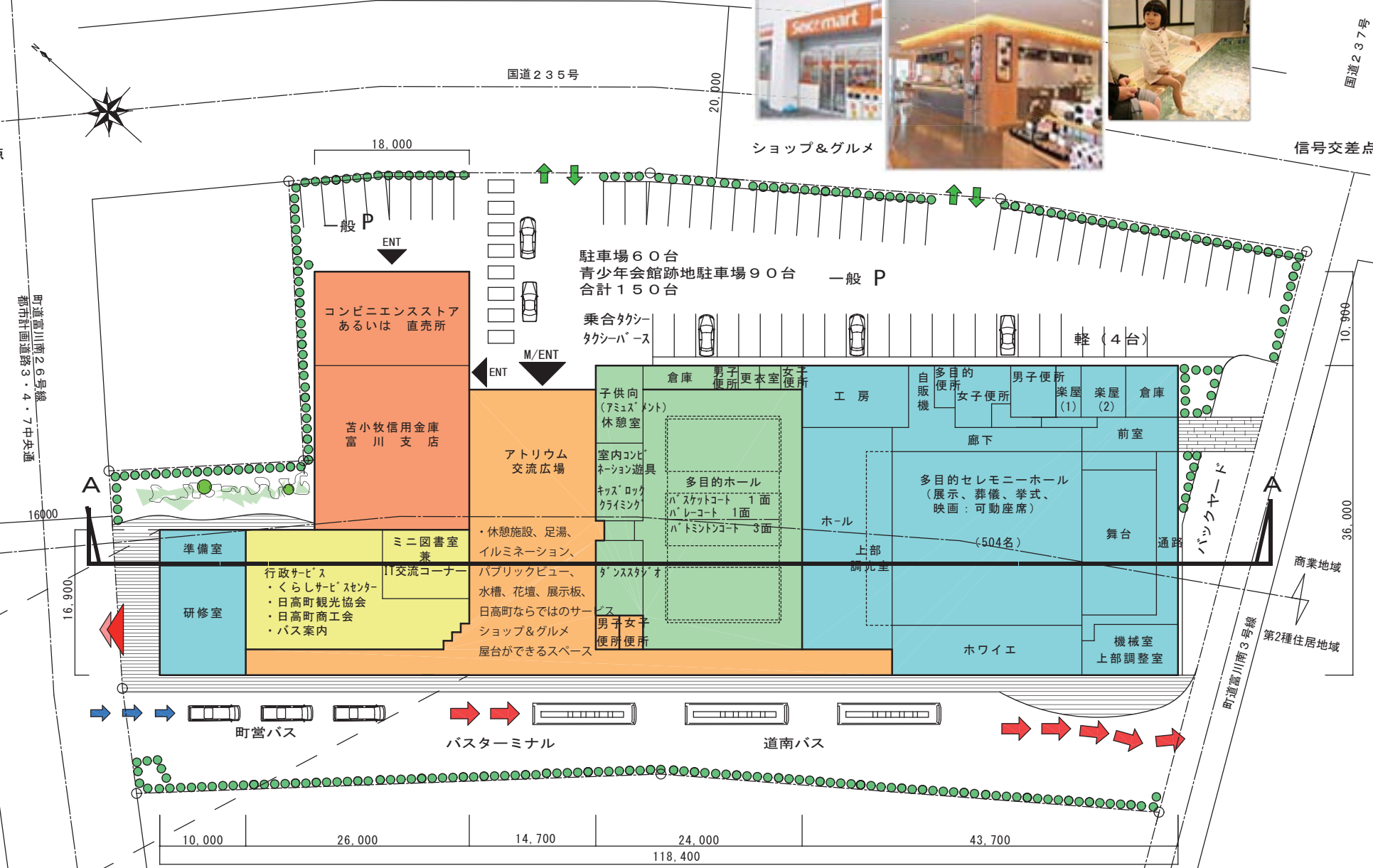


図38 富川市街地活性化基本構想図
(C街区) (素案)

IV－4．検討街区の抽出

部会での検討結果を踏まえた第2回委員会による検討結果から、用地買収や路線バスの連絡などの検討により変更する可能性があるものの、駐車場の拡大が可能なB街区により拠点施設整備構想の検討を進めることとなりました。

V. 重点整備地区の整備基本方針

V-1. 拠点施設の基本コンセプト

都市計画マスタープランでは、「にぎわいと活力をうみだすまち」を富川地区の将来像としています。また、拠点施設の基本コンセプトは、部会によるワークショップ会議で話し合われた複数のコンセプトから設定すると、以下のとおりとなります。

この基本コンセプトを具体化することにより、富川地区の将来像を実現していくものとします。

笑顔でつながる情報発信基地

V-2. 拠点施設の整備方針

拠点施設の基本コンセプトである「笑顔でつながる情報発信基地」を実現するために、部会によるワークショップ会議で検討したコンセプトの様々なキーワードから、次の5つの整備方針を設定しました。

それぞれの整備方針を展開するために必要となる空間を確保し、行政と民間との連携や協働による実現も視野に入れながら拠点施設整備について検討していきます。

なお、5つの整備方針を推進することにより、基本コンセプトである「笑顔でつながる情報発信基地」を実現し、結果的に町外へも日高町富川市街地の情報を発信することになり、さらなる交流・活性化を呼び込むことを目指します。

(1) 交流の拠点

若い力が先導することにより、子ども、親、お年寄りなど幅広い世代、様々な世代間のつながりの輪を広げることができる空間

(2) 集客の拠点

中心市街地の形成及び活性化のために、広く情報発信するとともに、日高町全域から人を集め、中心市街地の他の商業・娯楽ゾーンへ人を回遊・活性化させていく空間

V. 重点整備地区の整備基本方針

V-1. 拠点施設の基本コンセプト

都市計画マスタープランでは、「にぎわいと活力をうみだすまち」を富川地区の将来像としています。また、拠点施設の基本コンセプトは、部会によるワークショップ会議で話し合われた複数のコンセプトから設定すると、以下のとおりとなります。

この基本コンセプトを具体化することにより、富川地区の将来像を実現していくものとします。

笑顔でつながる情報発信基地

V-2. 拠点施設の整備方針

拠点施設の基本コンセプトである「笑顔でつながる情報発信基地」を実現するために、部会によるワークショップ会議で検討したコンセプトの様々なキーワードから、次の5つの整備方針を設定しました。

それぞれの整備方針を展開するために必要となる空間を確保し、行政と民間との連携や協働による実現も視野に入れながら拠点施設整備について検討していきます。

なお、5つの整備方針を推進することにより、基本コンセプトである「笑顔でつながる情報発信基地」を実現し、結果的に町外へも日高町富川市街地の情報を発信することになり、さらなる交流・活性化を呼び込むことを目指します。

(1) 交流の拠点

若い力が先導することにより、子ども、親、お年寄りなど幅広い世代、様々な世代間のつながりの輪を広げることができる空間

(2) 集客の拠点

中心市街地の形成及び活性化のために、広く情報発信するとともに、日高町全域から人を集め、中心市街地の他の商業・娯楽ゾーンへ人を回遊・活性化させていく空間

(3) 魅力創出の拠点

中心市街地を支える若い力と活力を発揮できる場を確保することにより、日高町の新たな魅力や付加価値を創出するとともに、中心市街地の賑わいの相乗効果を先導していく空間

(4) 生活支援の拠点

子育て世帯や高齢者など、富川地区で生活する住民への支援や、商業や観光業など産業支援を行っていく空間

(5) 青少年遊びの拠点

気軽に、遊び感覚で、何かのついでに体を動かすことができる環境を提供することにより、主に若者や子どもにとって魅力を創出していく空間

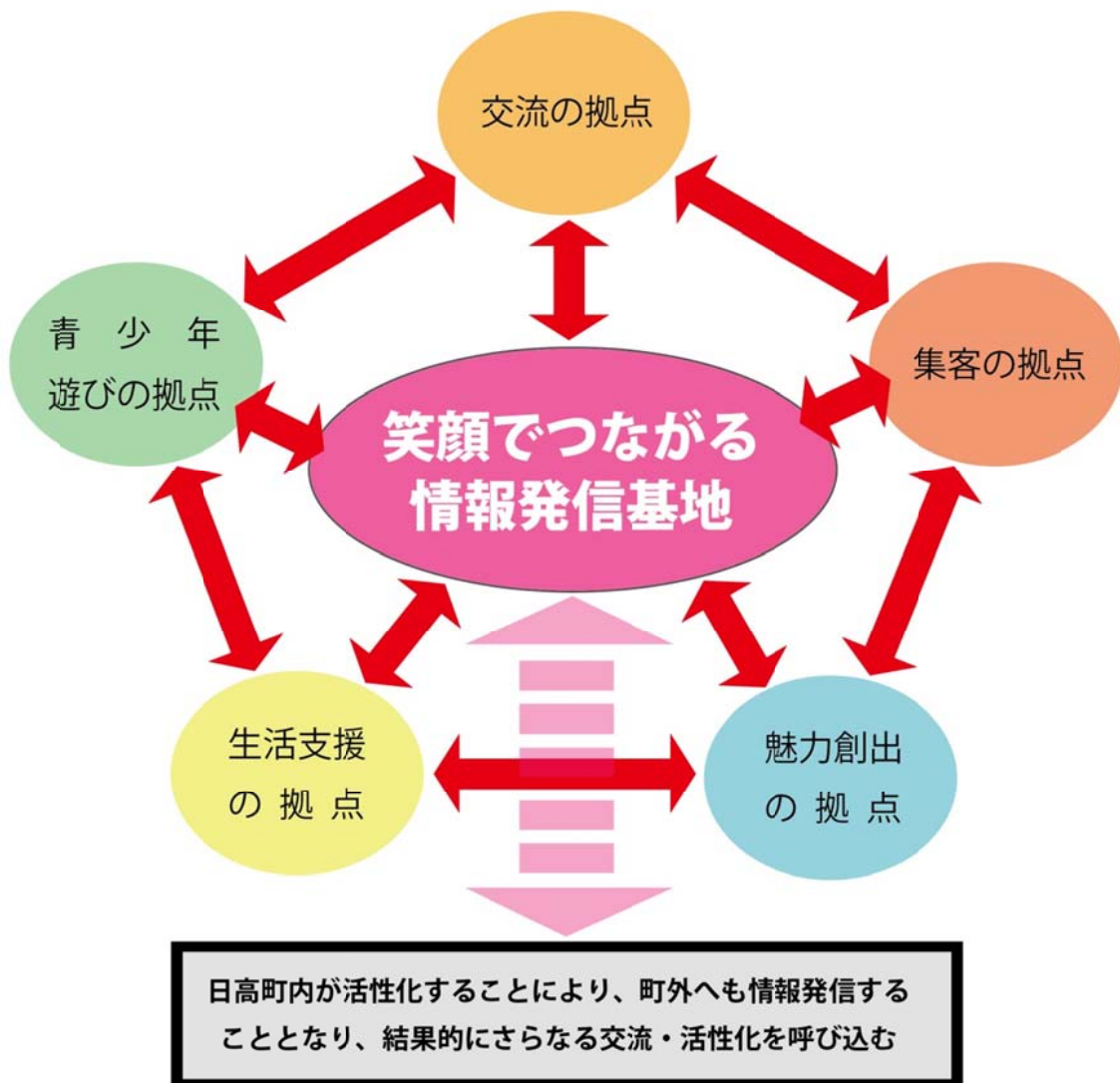


図39 基本コンセプトと整備方針のイメージ

V-3. 機能構成

拠点施設の施設構成は、全町的な交流や活性化を目指し、部会によるワークショップ会議からのまちづくりを担う若い世代の住民目線により設定しました。

先に整理した「拠点施設の整備方針」と、本基本構想にて検討した機能を整理すると以下に示す拠点施設を基本構想として設定します。

今後は、各種機能の適正規模等をさらに精査していくとともに、持続可能な施設運営のためのテナント検討や、地元事業者など民間活力との連携方策を検討していく必要があります。

表 15 設置を検討した機能構成と整備方針との関係

区分	拠点施設の機能と概要	交流の拠点	集客の拠点	魅力想像の拠点	生活支援の拠点	青少年遊びの拠点
公 共	●行政サービス機能 ・役場機能 ・観光及び商工業支援 ・子育て支援など	★	○	○	★	○
	●集会施設機能 ・産業創出 ・イベント開催など	○	★	★	○	○
	●青少年アミューズメント機能 ・多目的室内スポーツ ・室内遊戯広場など	○	★	○	○	★
	●休憩機能 ・アトリウム（休憩施設、パブリックビューイング、IT環境など）	★	★	○	○	○
	●交通ターミナル機能 ・バス、タクシー連絡 ・駐車場など	○	○	○	○	○
民間	●金融サービス商業機能 ・銀行 ・コンビニエンスストア ・直売所など	○	★	○	★	○

★：主体的に機能を担う

○：補完的（従属的）に機能を担う

V-4. 拠点施設の主な機能、配置の考え方

(1) 拠点施設の主な内容

①行政サービス機能

現在の富川市街地の行政サービス機能は、日高町水・暮らしサービスセンターにより住民窓口サービスと上下水道の部署が設置されています。しかし、本施設は幹線道路に面していないため、富川市街地のまちづくりに活かされていない状況です。

また、富川市街地には、全人口の半数近くが居住していることに対し、役場本庁機能は概ね門別地区本町市街地に集約配置されており、子育て世代やお年寄り等の生活支援を考えた場合、人口のバランスに配慮した行政機能の適正配置が望まれます。

さらに、商業面においても富川市街地は、年間販売額や売り場面積の6割前後を保有しており、商業支援機能の適正配置が望まれるとともに、観光振興面においても富川市街地は、日高地区と門別地区の分岐点に位置していることから、山と海の観光資源を支援していく機能の配置が望まれます。

以上を踏まえ、拠点施設に位置づける行政サービス機能を整理すると、以下のとおりとなります。

- ・日高町水・暮らしサービスセンターの内、暮らしサービス
- ・保健センター及び一時保育所
- ・日高町商工会（バス案内含む）、日高町観光協会
- ・ミニ図書館（子育て支援など）
- ・IT交流室（行政情報や特産品を含む商業情報発信など）



日高町水・暮らしサービスセンター



日高町商工会



IT交流室イメージ：砂川市



ミニ図書館（絵本）イメージ：砂川市

②集会施設機能

現在の富川市街地の集会施設機能は、日高町水・くらしサービスセンターに併設する富川公会堂が該当するものの、前述のとおり富川市街地のまちづくりに活かされた配置とはなっておらず、また、現在の施設規模が小さく、地域イベントなどの需要に即さなくなっている状況です。

これとは別に、門別地区には公民館、日高地区には町民センターが設置されているものの、それぞれの地域資源を融合、活用した商品開発、情報発信、6次産業化及び映画などを活用した集客など、今後の日高町の発展に必要な産業振興及び活性化を支援していく施設の立地が望まれます。

その他、これらの地域イベントや展示機能以外の多目的な活用として、冠婚葬祭をも交流の機会と捉え、これを中心市街地の活性化につなげていくことが必要です。

以上を踏まえ、拠点施設に位置づける集会施設機能を整理すると、以下のとおりとなります。

- ・多目的セレモニーホール（展示、葬儀、挙式、映画；可動座席）
- ・研修室、各種工房



多目的セレモニーホールイメージ：座席あり
500席 滋賀県大津市



多目的セレモニーホールイメージ：座席なし
滋賀県大津市



研修室（会議室）イメージ：砂川市



食品工房イメージ：砂川市

③青少年アミューズメント機能

現在の富川市街地の青少年アミューズメント機能は、富川青少年会館が該当するものの、日高町水・くらしサービスセンターに隣接する立地状況であるため、前述と同様に富川市街地のまちづくりに活かされた配置とはなっていない状況です。さらに、青少年会館はRC造であるものの、耐用年数34年に対し10年程度超過している状況です。その他、建物は老朽状況にあるものの、地域の中学生や団体など平成25年度では約5,000人が利用しています。

一方、中心市街地としての新たなまちづくりを考えた場合、日常生活空間に接することで身近で気軽に体を動かすことができる空間や、室内のコンビネーション遊具など子どもにとって魅力ある施設により、一年を通して青少年の遊びの空間を創出していくことが考えられます。

なお、この体を動かす空間については、富川青少年会館と同様に小中学生のスポーツを想定した施設規模とし、様々なスポーツが一度に楽しめる大規模な体育館は、総合体育館がその役割を担います。

以上を踏まえ、拠点施設に位置づける青少年アミューズメント機能を整理すると、以下のとおりとなります。

- ・多目的ホール（バレー、バスケット、テニス及びバトミントンなど）
- ・室内遊戯広場（コンビネーション遊具、キッズロッククライミング、休憩室など）
- ・ダンススタジオ



多目的ホールイメージ：名寄市



ダンススタジオイメージ：横浜市



室内遊戯広場イメージ：京都府



室内遊戯広場イメージ：札幌市

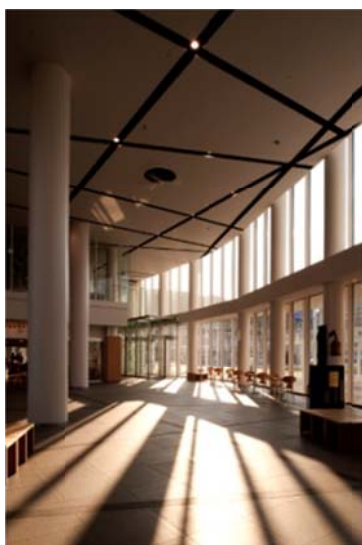
④休憩機能

現在の富川市街地の休憩機能は、国道 235 号沿道に日高町商工会が運営するもんちゃんプラザ（ふれあいひろば）が該当します。当該施設は空き店舗を活用して、無料休憩所やレンタルルームを設置したコミュニティ施設として開設しており、憩いの場や文化・芸術サークル団体へ活用を提供し、平成 16 年度の 5 ヶ月間で約 2,000 人の利用実績となっています。

中心市街地としてのまちづくりには、このような施設を配置することにより、お年寄りでも気軽に外出できる空間を確保するとともに、若者にとっても魅力ある施設配置により、人を滞留させ、様々な世代間のつながりの輪を広げていくことが必要であります。

以上を踏まえ、拠点施設に位置づける休憩機能を整理すると、以下のとおりとなります。

- ・アトリウム（休憩施設、足湯、イルミネーション、パブリックビューイング、水槽、インターネット環境、花壇、展示板、日高町ならではのサービス（ミニショップ&グルメ、屋台ができるスペース、日高町の特産品や地域で唯一生産されているもの：ヨーグルツペなど）



アトリウムイメージ：稚内市



もんちゃんプラザ



足湯イメージ：札幌市



パブリックビューイングイメージ：千葉市



イルミネーションイメージ：札幌市

⑤交通ターミナル機能

国道 235 号沿道は、道南バス 8 路線と町営バス 3 路線が運行し、路線バスの利便性が高いと地域となっています。しかし、路線ごとにバス停留所が異なることや、現地において運行するバス路線や運行時刻を十分に把握できない状況となっており、また、道南バスと町営バスとの乗継ぎがわかりにくい状況となっています。

このため、バス輸送について全体像が把握でき、道南バスと町営バスの乗継ぎ空間を確保することにより、シームレスな公共交通体系を確立していく必要があります。

一方、お年寄りや子育て世代等にとって交通利便性を確保するためには、ハイヤーによるアクセスも配慮していく必要があります。また、近年、乗合タクシーなど予約型バスによる自宅前送迎の連絡及び運行にも配慮していくことが必要です。

その他、拠点施設の整備にあたっては、自家用車駐車を確保していくことが必要となります。

以上を踏まえ、拠点施設に位置づける交通ターミナル機能を整理すると、以下のとおりとなります。

- ・バスターミナル（道南バス、町営バス）
- ・ハイヤー（一般ハイヤー、乗合タクシー）
- ・自家用車駐車場（一般利用、イベント利用）



バスターミナルイメージ：東京都



バスターミナルイメージ：稚内市

⑥金融サービス商業機能

拠点施設に位置づける金融サービス機能は、グルメシティ富川店及びAコープとみかわ店を中心とする商業娯楽ゾーンとの相乗効果による集客力の向上を目指すため、大規模なものは避け、金融施設やコンビニエンスストアなど小規模な施設配置とします。また、水産加工品や農産品などの直売所などを配置し、商業娯楽ゾーンと一体となって富川市街地全体の活性化に寄与するとともに、このことが町外への情報発信及び町外からの集客につなげていくことを目指します。

以上を踏まえ、拠点施設に位置づける金融サービス商業機能を整理すると、以下のとおりとなります。

- ・金融サービス施設
- ・コンビニエンスストア、あるいは、水産加工品や農産品など直売所



苫小牧信用金庫富川支店



直場所イメージ：印西市

⑦その他の機能

前節までに整理した日高町全体の振興のために活用を検討する公共施設として、「日高町水・くらしサービスセンター」、「富川公会堂」、「富川青少年会館」は、災害時の緊急連絡先や屋内避難場所として位置づけられていることから、今後、地域防災計画との調整などを図りながら防災拠点としての機能等を併せて検討していく必要があります。

(2) 施設規模

既存施設及び基本構想の各種機能の面積及び積み上げ根拠は、以下のとおりです。

表 1 6 施設規模の積み上げ根拠

施設機能	既存施設		基本構想	
①行政サービス機能	日高町水・くらしサービスセンター380㎡≒400㎡		くらしサービスセンター：現況と同様の規模	200 ㎡
	内、くらしサービスセンター÷2	200 ㎡	日高町商工会、日高町観光協会：従業員10名程度の規模	100 ㎡
			保健センター：従業員20名程度の規模、診療室等を見込んでいない	200 ㎡
			一時保育所：幼児20名程度の収容が可能	200 ㎡
			ミニ図書館、IT交流室：類似施設と同様の規模	100 ㎡
	●計	200 ㎡	●計	800 ㎡
②集会施設機能	富川公会堂1,352㎡-380㎡=972㎡≒	1,000 ㎡	多目的セレモニーホール(座席500人)、研修室、各種工房など	1,750 ㎡
	●計	1,000 ㎡	●計	1,750 ㎡
③青少年アミューズメント機能	富川青少年会館=572㎡≒	600 ㎡	多目的ホール(現況規模程度)、室内遊戯広場、ダンススタジオなど	800 ㎡
	●計	600 ㎡	●計	800 ㎡
④休憩機能	もんちゃんプラザ 1階面積 120㎡≒	150 ㎡	アトリウム空間	750 ㎡
	●計	150 ㎡	●計	750 ㎡
⑤交通ターミナル機能	/		道南バス(ピーク時台数)	3 台
			町営バス(ピーク時台数)	3 台
			タクシー(乗降スペース+待機3台)	5 台
			行政サービス(35台/2,400㎡ ^{※1})×750㎡	10 台
			★集会施設(150台/2,400㎡ ^{※2})×1,750㎡×0.5 ^{※3}	55 台
			★アミューズメント(150台/2,600㎡ ^{※4})×800㎡×0.5 ^{※3}	25 台
			休憩機能(143台/5,113㎡ ^{※5})×700㎡	20 台
			金融サービス商業(143台/5,113㎡ ^{※5})×500㎡	15 台
			一般駐車場(平常時)	45 台
			一般駐車場(ピーク:★)	125 台
⑥金融サービス商業機能	苫小牧信用金庫富川支店 建築面積235㎡	250 ㎡	金融サービス施設(現況施設と同様の規模)	250 ㎡
			コンビニエンスストア、直売所	250 ㎡
	●計	250 ㎡	●計	500 ㎡
合計	2,200 ㎡		4,600 ㎡	

※1：役場本庁舎面積及び台数から算定
 ※2：総合市民センターの面積及び台数から算定
 ※3：郊外型施設の二分の1の台数を見込む
 ※4：総合体育館の面積及び台数から算定
 ※5：グルメシティ富川店の面積及び台数から算定

表 1 7 施設規模の総括表

施設機能	既存施設		基本構想	
①行政サービス機能	くらしサービスセンター	200 ㎡	くらしサービスセンター、日高町商工会、日高町観光協会、保健センター、一時保育所、ミニ図書館、IT交流室	800 ㎡
②集会施設機能	富川公会堂	1,000 ㎡	多目的セレモニーホール(座席500人)、研修室、各種工房など	1,750 ㎡
③青少年アミューズメント機能	富川青少年会館	600 ㎡	多目的ホール(現況規模程度)、室内遊戯広場、ダンススタジオなど	800 ㎡
④休憩機能	もんちゃんプラザ	150 ㎡	アトリウム	750 ㎡
⑤交通ターミナル機能	なし		道南バス、町営バス、タクシーなど	—
			駐車場(平常時)	45 台
			駐車場(ピーク時)	125 台
⑥金融サービス商業機能	苫小牧信用金庫富川支店	250 ㎡	金融サービス、コンビニエンスストア、直売所	500 ㎡
合計	2,200 ㎡		4,600 ㎡	

(3) 配置の考え方 (B街区)

①国道 235 号沿道の配置

自家用車のアクセス性を確保するために国道 235 号沿道には一般駐車場を配置するとともに、賑やかさを確保するためにアトリウム及び金融サービス商業機能を配置します。

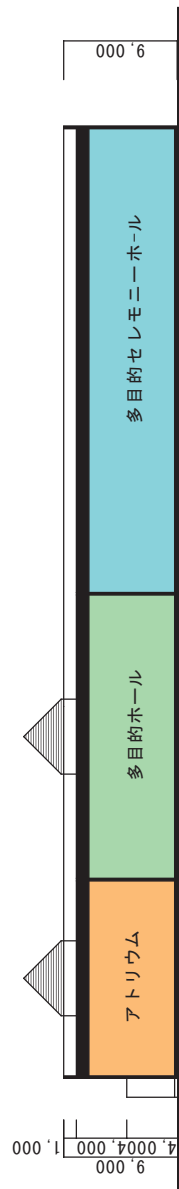
②ターミナルの配置及び国道沿道との連絡

路線バスの国道アクセスは信号交差点が前提となるため、町道富川北平賀 16 号線沿道にバスターミナルを配置するとともに、国道沿道からの連絡に配慮して溜りができるようアトリウムを配置します。

③集会施設機能と青少年アミューズメント機能及び行政サービス機能の配置

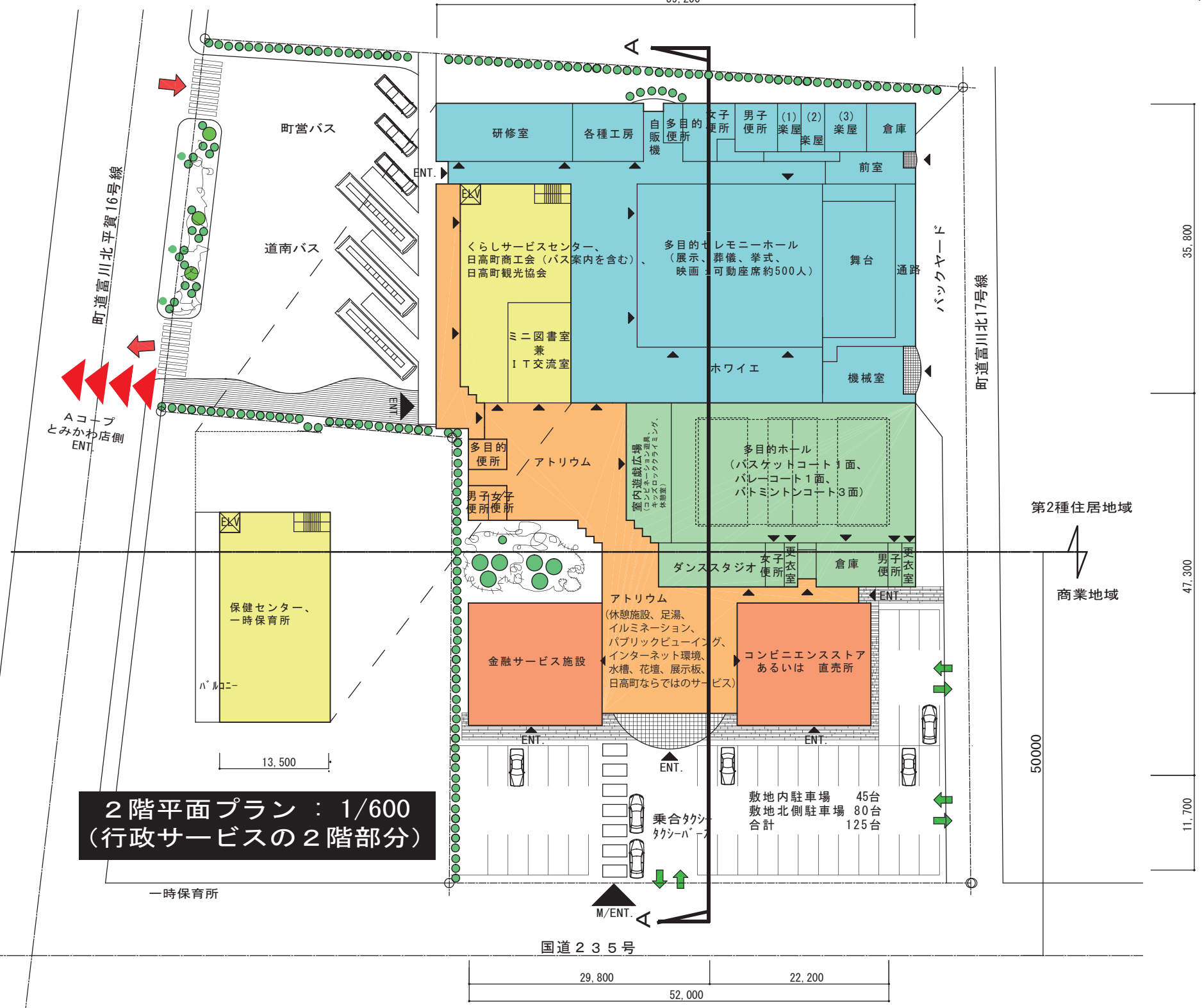
アトリウムに接する最も広い敷地が確保されている北側に集会施設機能及び行政サービス機能を配置し、その南側には青少年アミューズメント機能を配置します。

位置図



A-A断面：1/600

2階平面プラン：1/600
(行政サービスの2階部分)



1階平面プラン：1/600

- < 凡例 >
- 行政サービス機能
 - 集会機能
 - 青少年アミューズメント機能
 - 休憩機能
 - 金融サービス商業機能

図40 富川市街地活性化基本構想図 (B街区)

V-5. 財源・整備手法

拠点施設は様々な機能を有し、整備には多くの費用が必要となります。また、管理運営段階において日高町と民間事業者の連携についても検討が必要なことから、公共施設、民間施設及び駐車場等の共有スペースについて事業主体が協力した適切な役割分担が必要となります。

今回、拠点施設の大部分を占める公共施設については、合併特例債^{※1}を活用しながら日高町が事業主体となって整備を進めることが考えられます。

また、金融サービス商業機能については、公共施設と一体的な建築物として日高町による単独整備や、中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画を作成後に暮らし・にぎわい再生事業^{※2}等を活用していくことが考えられます。なお、日高町が整備を行った場合、近年の地方版総合戦略における位置づけを念頭として、交付金を活用しながらUIJターンによる地域創業者へ、商業スペースを廉価で提供するなどの手法が考えられます。

※1：合併特例債

対象事業費の95%に起債を充てることができ、後年度返済額の約70%が地方交付税の算定基準に上乗せされます。

※2：暮らし・にぎわい再生事業

暮らし・にぎわい再生事業は、認定を受けた中心市街地活性化基本計画の区域において、中心市街地に不足している都市機能（公益施設、住宅、商業等）を導入する取り組みに対して支援を行うことにより、都市機能の集積を図り中心市街地の活性化を図るための事業となっています。

表18 事業スケジュール

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
調査・設計	➡			
建設工事			➡	
運営体制の検討			➡	
供用開始				➡

資料編

(参考) 配置の考え方 (C街区)

検討の経過としてC街区の基本構想を参考までに添付します。

1)国道 235 号沿道の配置

自家用車のアクセス性を確保するために国道 235 号沿道には一般駐車場を配置するとともに、賑やかさを確保するためにアトリウム及びコンビニエンスストア、あるいは、直売所を配置します。

2)ターミナルの配置及び国道沿道との連絡

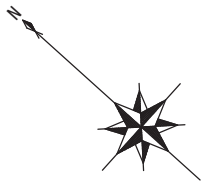
路線バスの国道アクセスは信号交差点が前提となるため、拠点施設の南側にターミナルを配置します。ターミナルへの連絡は、信号を移設することを前提に国道 235 号と富川南 26 号線交差点からとします。ターミナルから国道への連絡は、町道富川南 1 号線を経て国道 235 号と国道 237 号の交差点へ接続するものとします。

一般駐車場（国道沿道）とターミナルの連絡を確保し、にぎやかさを創出するために、できるだけ広くアトリウムを確保します。

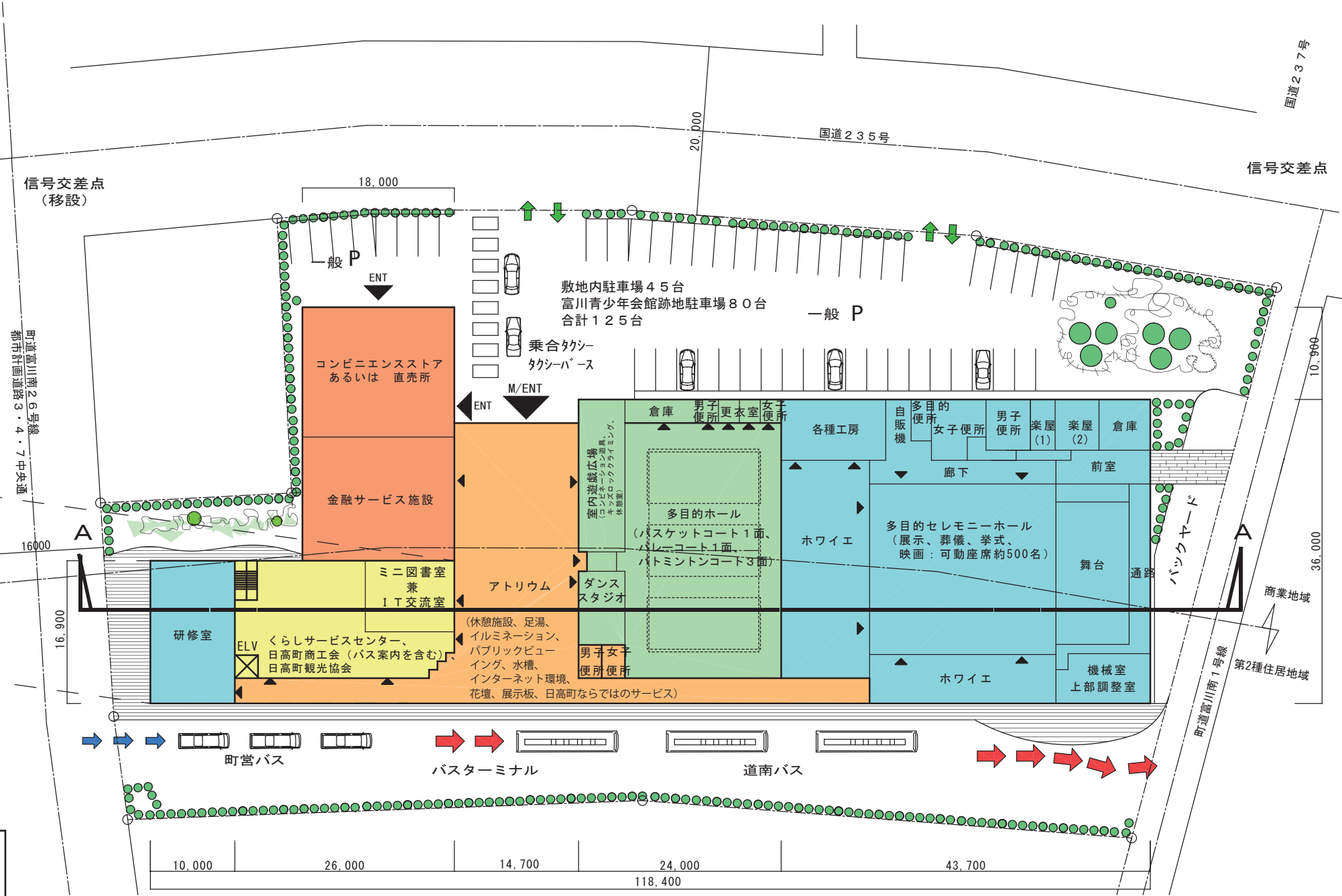
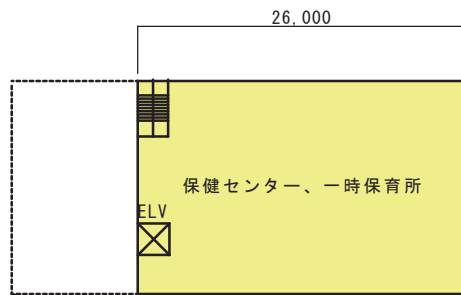
3)集会施設機能と青少年アミューズメント機能及び行政サービス機能の配置

最も敷地が広く確保されている東側に集会施設機能及び青少年アミューズメント機能を配置するとともに、敷地形状が不整形となっている西側に行政サービス機能及び集会施設機能の一部を配置します。

位置図

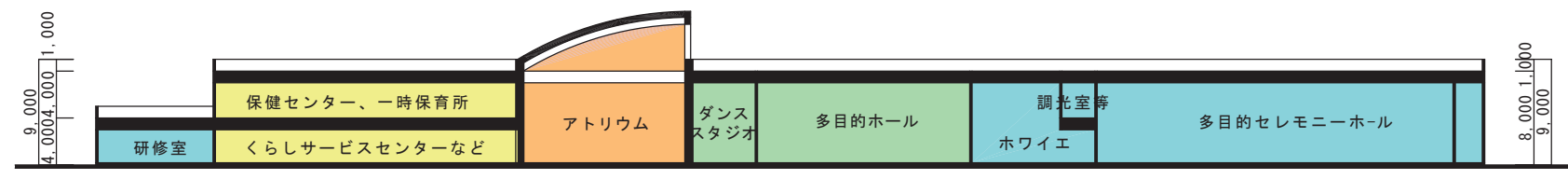


2階平面プラン：1/600
(行政サービスの2階部分)



1階平面プラン：1/600

- < 凡例 >
- 行政サービス機能
 - 集会機能
 - 青少年アミューズメント機能
 - 休憩機能
 - 金融サービス商業機能



A-A断面：1/600

(参考) 富川市街地活性化基本構想図 (C街区)

富川市街地活性化基本構想策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 日高町富川地域を中心とする総合的なまちづくりの基礎となる富川市街地活性化基本構想（以下「基本構想」という。）の策定に向け、幅広い分野から活性化の基本的方向等について検討し、地域の特性や住民の意向を踏まえた計画とするため、富川市街地活性化基本構想策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討し、町長に意見を提出するものとする。

- (1) 基本構想策定に関すること。
- (2) その他基本構想策定にかかる必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 関係団体等の代表
- (2) 町内会及び自治会の代表
- (3) その他町長が指定する者

2 委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

(役員)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選により選出する。

2 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者に出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(策定部会)

第6条 委員会に、策定部会（以下「部会」という。）を置き、次の事項を所掌する。

- (1) 基本構想の原案の作成
- (2) 基本構想策定に係る重点課題の協議
- (3) その他必要事項の検討

2 部会は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱又は任命する部会員30人以内をもって組織する。

- (1) 委員又は関係団体等から推薦を受けた者
- (2) 富川市街地活性化構想検討会議委員のうちから町長が指名する者

3 部会に、部会長及び副部会長を置き、それぞれ部会員のうちから町長が指名する。

4 第3条第2項、第4条第2項及び第3項並びに前条の規定は、部会につい

て準用する。この場合において、これらの規定中「委員」とあるのは「部会員」と、「委員長」とあるのは「部会長」と、「副委員長」とあるのは「副部会長」と、「委員会」とあるのは「部会」と読み替えるものとする。

5 部会長は、部会の検討結果を委員長に報告しなければならない。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、企画財政課に置く。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は委員長が、部会の運営に関し必要な事項は部会がこれを定める。

附 則

この告示は、平成 26 年 8 月 1 日から施行する。

富川市街地活性化基本構想策定委員会委員名簿

委嘱者氏名	所 属 団 体	職 名
たなか たてお 田 中 建 夫	日高町商工会	会 長
かじかわ ひろし 梶 川 博	ひだか漁業協同組合	代表理事組合長
いとう ゆきひろ 伊 藤 幸 寛	富川農業協同組合	組合長
ほんま みつる 本 間 充	門別町農業協同組合	組合長
つかだ ただし 塚 田 忠	日高町門別地区自治会連絡協議会	会 長
みやこし たかお 宮 越 隆 雄	富川自治区連合会	会 長
たかなぎ みよ子 高 柳 久 美 子	チャイルドサポート つくし	代 表
のさわ みゆき 野 澤 み ゆ き	託児サービス ホットタイム	副代表

富川市街地活性化基本構想策定部会部会員名簿

委嘱期間 平成26年10月20日～平成27年3月31日

委嘱者氏名	所属団体	職名	住所
ふくやま じゅんいちろう 福山 潤一郎	日高町商工会青年部	部長	日高町富川北6丁目3-2
いそだ ひろかず 磯田 洋一	//	副部長	日高町富川南2丁目4-23
もちづき とおる 望 月 透	//	副部長	日高町富川東5丁目3-3
たかはし よしのり 高橋 秀徳	//	副部長	日高町富川東2丁目6-12
いしはら まこと 石原 誠	//	理事	日高町富川東5丁目6-7
いそだ いさむ 磯田 勇	日高町建設協会	青年会員	日高町富川東2丁目8-33
たねいち きょうすけ 種市 恭佑	富川農業協同組合	課長	日高町富川東2丁目8-42
にしむら やすし 西村 康	//	係長	日高町富川南1丁目5-5
にった ゆうすけ 新田 裕輔	//	係長	日高町富川西5丁目5-12
いとう たかし 伊藤 貴志	門別町農業協同組合	係長(管理)	日高町富川南4丁目3-9
たちばな かつら 橋 桂良	//	共済係	日高町富川東1丁目4-21
たかはし ひでとも 高橋 秀和	//	畜産係	日高町富川西2丁目7-21

【富川市街地活性化構想検討会議委員】

湯村 篤司	総務課 情報防災グループ	主幹	
若狭 ユカ	産業経済課 商工・観光グループ	主査	
梶 弘幸	管財建築課 建築・公営住宅グループ	主査	
広中 一好	水・くらしサービスセンター 下水道グループ	主幹	
島 尻 守	総務課 人事給与グループ	主査	
作田 裕理	住民課 住民・年金グループ	主査	
花野 真貴子	保健福祉課 介護・保険医療グループ	上席主事	
茂野 良二	税務課 納税・収納対策グループ	主査	
中村 直弘	観光・競馬振興室 観光・競馬グループ	主事	
熊谷 一彦	建設課 管理・土木・都市計画グループ	主査	
江刺 家 優	産業経済課 農政・畜産グループ	主査	
川上 寛明	用地調整室 用地調整グループ	主査	
磯谷 朋範	水・くらしサービスセンター 上水道グループ	上席技師	
福土 康弘	社会教育課 体育・施設管理グループ	主査	
坪島 一成	議会事務局 議会グループ	主査	